ラオス人民民主共和国
国家観光庁

独立行政法人　国際協力機構

東西回廊における実践的な観光開発プロジェクト

プロジェクト事業完了報告書
2011 年 1 月

株式会社　国際開発センター

JICA 月次換算レート（2010 年 12 月）

LAK 1 = JPY 0.010, USD 1 = JPY 84.16

ラオス人民民主共和国
東西回廊における実践的な観光開発プロジェクト

プロジェクト事業完了報告書
目次

略号表
1 序章 1
1.1 背景 1
1.2 プロジェクトの目標 2
1.3 プロジェクトの対象地域 3
2 プロジェクトの実施経過 4
2.1 活動結果（第 1 年次） 4
2.2 活動結果（第 2 年次） 6
2.3 活動結果（第 3 年次） 35
2.4 活動結果（第 4 年次） 65
2.5 カウンターパート研修 69
2.6 プロジェクト目標と成果の達成度 69
3 プロジェクトの管理・運営 71
3.1 実施体制 71
3.2 合同調整委員会（JCC） 71
3.3 プロジェクトチーム 71
3.4 報告書等 72
3.5 供与機材 73
3.6 現地業務費 73
4 結論と提言 74
4.1 妥当性 74
4.2 有効性 74
4.3 効率性 75
4.4 提言 75
付録
Appendix-1 Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO) Ver. 1.0.0
Appendix-2 Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO) Ver. 2.0.0
Appendix-3 Planned and Implemented Work Flow from January 2008 to January 2011
Appendix-4 Summary of Savannakhet Province Tourism Development Plan 2011-2015
Appendix-5 Proposed Priority Tourism Projects in Savannakhet Province 2011-2015
Appendix-6 Proposed Priority Road Improvement Projects for Tourism in Savannakhet
Appendix-7 Extract of Tourism Statistics 2000-2009

略号表

ADB	Asian Development Bank（アジア開発銀行）
ASEAN	Association of Southeast Asian Nations（東南アジア諸国連合）
CIDA	Canadian International Development Agency（カナダ国際開発庁）
EIA	Environmental Impact Assessment（環境影響評価）
EU	European Union（欧州連合）
FIT	Free Individual Tourists（個人観光客）
FY	Fiscal Year（会計年度）
GMS	Greater Mekong Sub-Region（拡大メコン地域）
GOJ	Government of Japan（日本国政府）
GOL	Government of the Lao PDR（ラオス人民民主共和国政府）
GTZ	Deutsche Gesellshaft für Technische Zusammenarbeit（ドイツ技術協力公社）
IDCJ	International Development Center of Japan（一般財団法人 国際開発センター）
IEE	Initial Environmental Examination（初期環境調査）
IFC	International Finance Corporation（国際金融公社）
JCC	Joint Coordinating Committee（合同調整委員会）
JICA	Japan International Cooperation Agency（独立行政法人 国際協力機構）
LNTA	Lao National Tourism Administration（ラオス国家観光庁）
NGO	Non-Governmental Organization
ODA	Official Development Assistance（政府開発援助）
ODOP	One District One Product（一村一品運動）
PCM	Project Cycle Management（プロジェクト・サイクル・マネージメント）
PDM	Project Design Matrix（プロジェクト・デザイン・マトリックス）
PO	Plan of Operations（活動計画表）
PTD	Savannakhet Provincial Tourism Department（サバナケット県観光局）
QIC	Quarantine, Immigration and Custom（入国手続き：検疫・入国審査・税関）
R/D	Record of Discussions（討議議事録）
SNV	Stichting Nederlandse Vrijwilingers（オランダ開発機構）
SWOT	Strengths, Weaknesses, Opportunities and Threats
TOR	Terms of Reference
UNESCO	United Nations Educational, Scientific and Cultural Organization（国連教育科学文化機関）
UXO	Unexploded Ordnance（残留不発弾）
VFR	Visit Friends and Relatives（家族・友人訪問）
WTO	World Tourism Organization（世界観光機関）

1　序章

1.1　背景

ラオスにおいては、観光産業は外貨獲得、所得と雇用の拡大、地域振興等の観点から、経済開発に寄与するものとしての期待が高い。中でも、ルアンパバンとワット・プーが世界遺産として UNESCO に登録されたこと、また豊かな自然が残されていることから希少な動植物も生息し、観光資源開発のポテンシャルを有している。

ラオスが観光開発に力を入れ始めたのは 1986 年に開放経済に移行してからのことである。同年のラオス人民革命党全国会議では、「観光は国の解放を進める上で重要な要素であり潜在的な収入源」と位置づけた。1990 年には 1 万 5 千人に満たなかった入国者数は、2000 年には 73 万人、2006 年には 120 万人に達した 。観光は、電力、鉱物資源の輸出と並び、有力な外貨獲得源としての地位を確立している。

ラオス政府は、急速に拡大する観光産業に対応するため、2004 年に国家観光局を国家観光庁（Lao National Tourism Administration: LNTA）に格上げし、予算の確保に配慮するなど関係組織の強化を図ってきた。しかし、観光インフラが不十分なことに加え、観光に関する情報が整理されておらず、観光プロモーションは大きな課題である。また、増大する観光サービス需要を満たすための組織と人材のさらなる強化が必要となっている。

中部のサバナケット県では 2006 年 12 月に第 2 メコン橋が完成し、タイからラオスへの経済効果をもたらす実践的な観光開発が期待されている。そこで、LNTA 及びサバナケット県で観光関連人材の育成を行い、戦略策定やマーケティング・プロモーション能力を強化するための協力「東西回廊における実践的な観光開発プロジェクト」が要請された。また、サバナケットを、東西回廊を利用した南部地域観光の玄関口とすることも期待される。

以上のような背景に基づき、両国はプロジェクトの概要に合意し、2007 年 11 月 16 日に本プロジェクト実施に係る討議議事録（R/D）を署名した。

JICA は R/D に基づき、2008 年 2 月上旬、一般財団法人国際開発センターの 2 名の専門家から成るプロジェクトチームを現地へ派遣し、本プロジェクトが着手された。なお 2008 年度[1]から、国家観光庁（LNTA）ウェブサイトの構築を支援するため短期専門家 1 名が追加された。

本報告書は、幅広い関係者間での情報と経験の共有を目的とし、JICA プロジェクトチームにより、2008 年 2 月から 2010 年 12 月までの全活動結果を取りまとめたものである。

[1] 日本の会計年度は毎年 4 月から翌年の 3 月末まで、ラオスのそれは毎年 10 月から翌年の 9 月末までである。本プロジェクトは、日本の会計年度に沿って予算が配分され、運営された。

1.2 プロジェクトの目標

R/D で合意された本プロジェクトの目標及び上位目標は以下のとおりである。

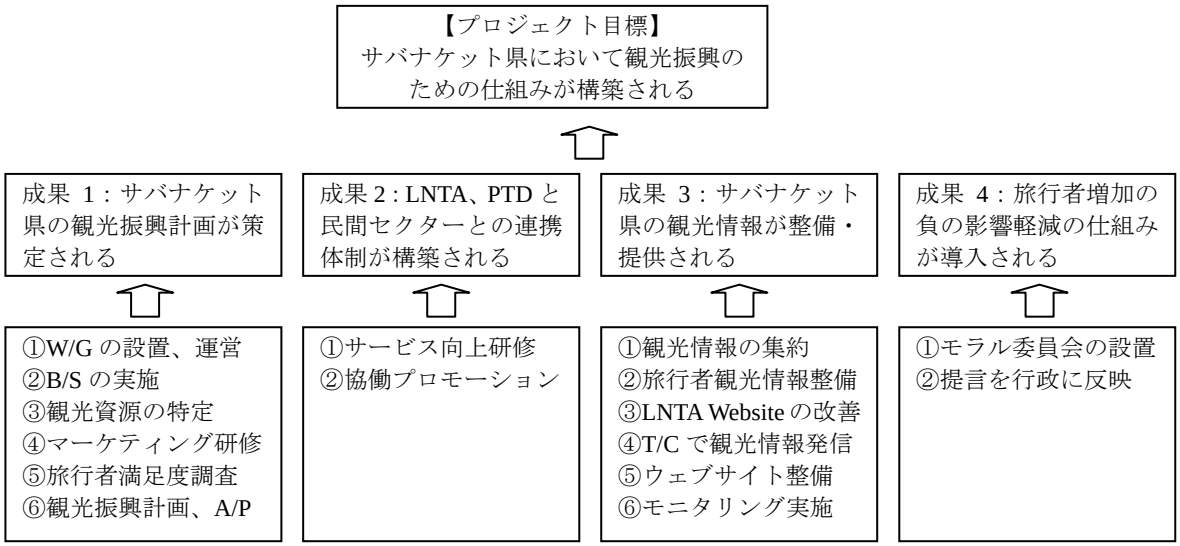
■上位目標
サバナケット県において観光産業が振興する。
■プロジェクト目標
サバナケット県において観光産業振興のための仕組みが構築される。

上記のプロジェクト目標は、以下の 4 項目の成果の実現により達成される。

1. サバナケット県の観光振興計画が策定される。
2. LNTA、PTD の観光関連民間セクターとの連携体制が構築される。
3. サバナケット県の観光情報が整備・提供される。
4. 旅行者増加による負の影響軽減の仕組みが導入される。

また、上記の 4 つの成果は一連の活動の実施を通して実現し、それによってプロジェクト目標を達成するというフレームワークが想定されている。それらの関係を図 1.2.1 に示す。

図 1.2.1 プロジェクト全体の枠組み



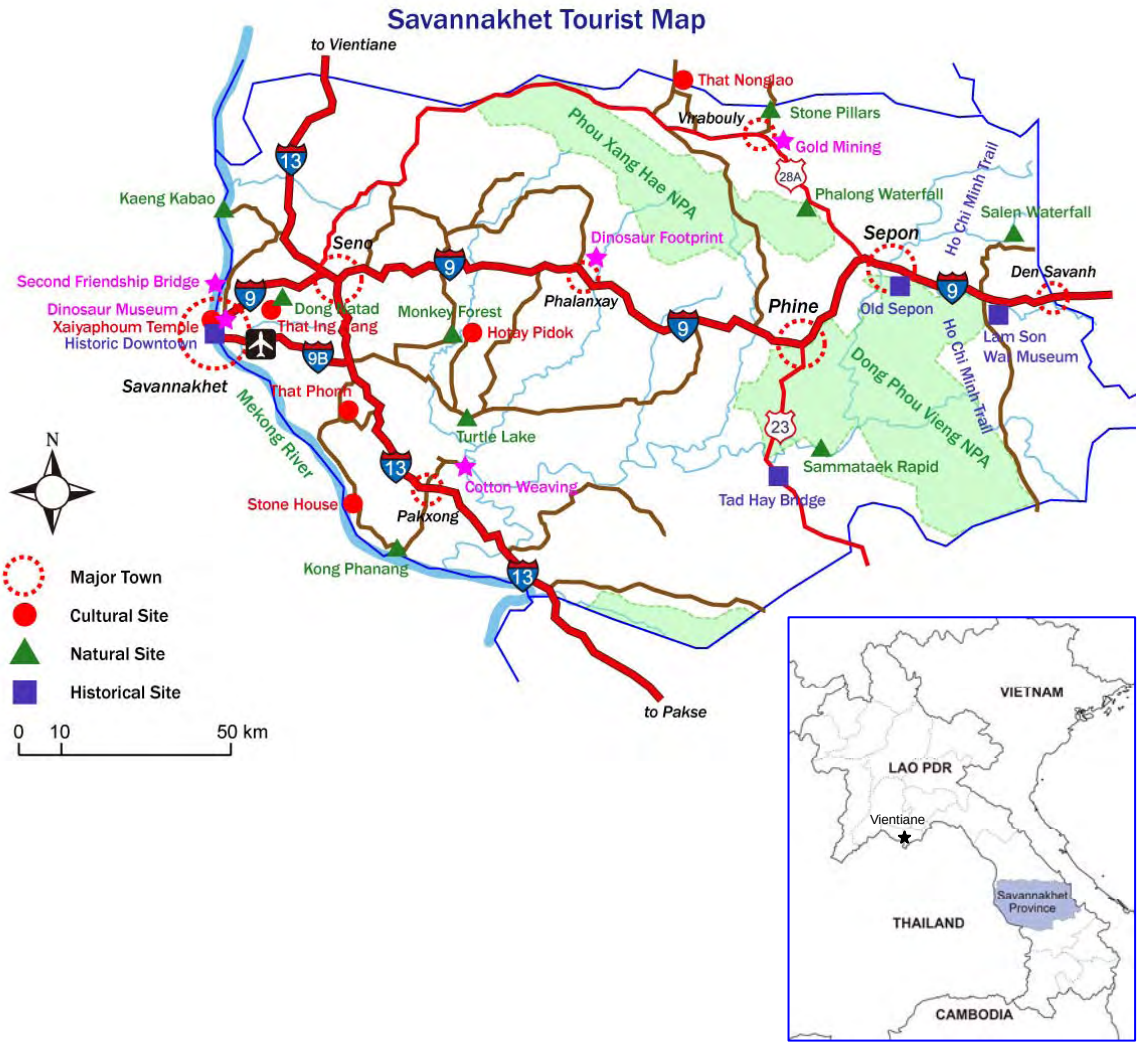
註： 成果 3 の活動である「③LNTA Website の改善」は、第 2 年次よりプロジェクトに追加された。
出典： R/D に基づき JICA プロジェクトチームが作成

これらの枠組みをとりまとめ、日本側、ラオス側で合意した Project Design Matrix（PDM）、およびその活動の流れを示している Plan of Operation（PO）を巻末の Appendix-1（Ver. 1.0.0）および Appendix-2（Ver. 2.0.0）に示す。

1.3　プロジェクトの対象地域

本プロジェクトは、主にサバナケット県を対象として実施した。但し、観光政策や観光サービス向上研修の方針・方法等についての協議は LNTA のあるビエンチャンでも行い、LNTA ウェブサイトの改善は、最終的に全国の半数以上の県観光局の関係スタッフに対し、ビエンチャンやルアンパバンでも研修を行った。

図 1.3.1　プロジェクトの対象地域



出典：　JICA プロジェクトチーム

2　プロジェクトの実施経過

2.1　活動結果（第 1 年次）

■［Task 1］　基本方針、方法及び技術移転方法等の予備的検討

■［Task 2］　インセプションレポートの作成

本プロジェクトの目標を踏まえ、業務実施に関する基本方針、方法、項目と内容、工程、実施体制、手順、実施スケジュール等を検討し、インセプションレポートを取りまとめた。

■［Task 3］　インセプションレポートの説明・協議

2008 年 2 月 14 日、インセプションレポートの説明・協議を行い、合意を確認した。

■［Task 4］　プロジェクト実施体制の確立

LNTA、PTD をはじめとする関係者の役割等を確認し、プロジェクト実施のための組織体制を確定した。また、現地スタッフの雇用、必要な資機材を調達し、サバナケットにプロジェクトの活動拠点を設置した。

■［Task 5］　サバナケット県地元観光資源特定に係る活動

■［Task 5-1］ サバナケット県の観光開発に関するワーキング・グループの設置

県の観光開発に関するステアリング・コミッティ及びワーキング・グループを設置した。

表 2.1.1　ステアリング･コミッティ及びワーキング･グループの構成メンバー

ステアリング・コミッティ（8）
副知事 観光局長 知事室 計画・投資局 工業・商業局 農林局 情報・文化局 公安局
ワーキング･グループ（29）
観光局各課（4） 青年同盟 婦人同盟 技術・環境局 各郡観光コーディネーター（15） Eco-Guide Unit ホテルグループ代表 ゲストハウスグループ代表 レストラングループ代表 旅行代理店グループ代表 ハンディクラフト代表 SNV（オランダ開発機構）

出典：　PTD Savannakhet

ステアリング･コミッティ及びワーキング・グループが設置されたタイミングで、以下の内容のセミナーを開催した。

名称：	サバナケット県「観光開発ワーキング・グループ」設置セミナー
場所：	サバナケット（県庁会議場）
時期：	2008 年 2 月 27 日（水）
期間：	1 日間
目的：	ワーキング・グループ設置の目的、期待される成果、活動内容等についてメンバーで話し合い、認識の共有を図る
参加者：	ステアリング･コミッティメンバー、ワーキング・グループメンバー

また、続くワーキング・グループ会合で観光資源の特定を行う目的で、以下の観光資源共通フォームを参加者に配布した。

表 2.1.2　観光資源共通フォーム

1. 名称：（　　）
2. タイプ：工芸・工芸品、農業・農産、その他特産品、民俗、生活スタイル、伝統芸能、音楽、文化、歴史、宗教、自然・エコ、アドベンチャー、他
3. 所在地：（　　）郡（　　）村
4. 観光開発についての適否・住民の同意：□適、□否（否の場合は、以下の回答は不要）
5. 立地：都市部、農村部、山林、渓谷、他
6. 国道 9 号線／13 号線からの距離と時間：（　　）km、移動手段（　　）で（　　）分
7. 主な訪問者の国籍等：（　　）、（　　）、（　　）
8. 年間訪問者数：（　　）人
9. 年間売上／訪問者の支出等：（　　）キップ
10. 管理者：（　　）、連絡先（　　）
11. 残留不発弾（UXO）の危険性：□安全、□危険あり、□不明
12. その他特記事項：（　　）

■［Task 5-2］ サバナケット及び南部の有望資源を特定するベースライン・サーベイ

既存の観光資源リストのレビュー、SNV 等のパートナーが保有する情報のヒアリング、サイト踏査により、サバナケット県を中心としたベースライン・サーベイを実施した。

■［Task 5-3］ ベースライン・サーベイに基づいたサバナケット県地元観光資源の特定

ワーキング･グループの各メンバーが作成した観光資源共通フォームを用いたワークショップにより、対象観光客セグメントごとに優先順位のついた観光資源インベントリーを作成した。

名称：	第 2 回ワーキング・グループ会合（サバナケット県地元観光資源の特定ワークショップ）
場所：	サバナケット（Savan Saikong Resort 研修室）
時期：	2008 年 3 月 12～13 日（水～木）
期間：	2 日間
目的：	前回セミナーで配布した共通フォームに基づき、対象観光客セグメントごとに優先順位のついた地元観光資源の特定を行う
参加者：	ワーキング・グループメンバー

■［Task 6］　年次報告書（第 1 年次）の作成・提出

第 1 年次の活動結果とその評価をとりまとめ、年次報告書（第 1 年次）を作成・提出した。

2.2 活動結果（第 2 年次）

■［Task 7］ サバナケット県の観光産業のサービス向上の実施準備

下記に記す［Task-8］LNTA 及び PTD 職員を対象としたマーケティング研修、［Task-9］LNTA 及び PTD 職員による観光関連サービス向上研修、［Task-10］観光モラル向上委員会の設置の各活動のための事前準備を行った。

■［Task 8］ LNTA 及び PTD 職員を対象としたマーケティング研修

サバナケット県には潜在的な観光資源が点在するものの、適切なマーケティングの欠如により観光客訪問に結びついていない場合がある。民間セクターとの連携・協働によるマーケティングが必要であるが、それに先立ち、LNTA 及び PTD 職員、郡の観光コーディネーター等が、1）観光マーケティングの意義、2）観光客セグメントの理解、3）潜在的観光客へのアプローチ方法を十分に理解すると共に、認識を共有することが不可欠であった。

LNTA の観光マーケティング部長と選抜された PTD 職員 5 名（サバナケット県における講師）の間で、作成された観光マーケティング研修モデュールに沿って、「観光マーケティング研修講師研修（TOT）」を、2008 年 6 月 19～20 日（木～金）、ビエンチャンにて実施した。

名称：	観光マーケティング研修講師研修（TOT）
場所：	ビエンチャン（Taipan Hotel Meeting Room）
時期：	2008 年 6 月 19～20 日（木～金）
目的：	選抜された PTD 職員が観光マーケティングについて理解を深め、研修講師として養成する
講師：	LNTA 担当部長、JICA プロジェクトチーム
受講者：	PTD 職員 5 名（講師候補）
内容：	1. 観光マーケティングとは？ 2. 顧客は誰か？ 3. 顧客へどのようにアプローチするか？
教材：	［Task7］で作成したマーケティング研修モデュール

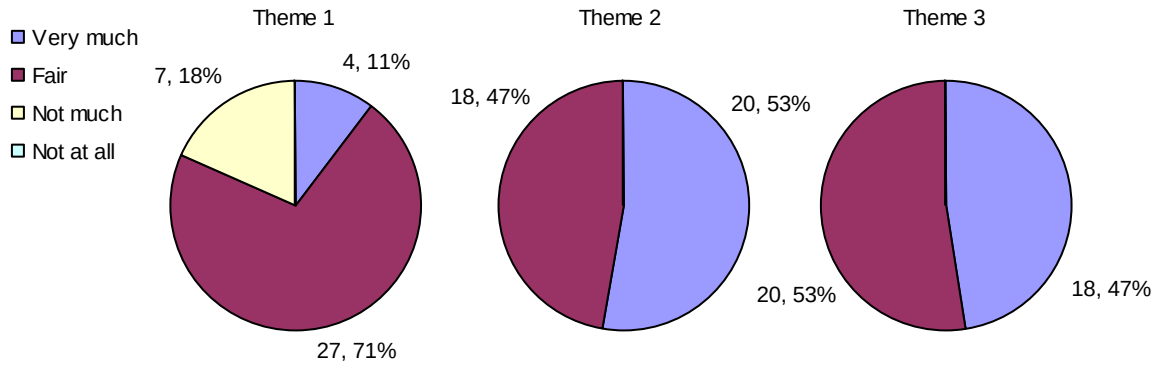
続いて、TOT に参加した PTD 職員 5 名が講師となり、ワーキング・グループを対象とした観光マーケティング研修を、2008 年 7 月 10～11 日（木～金）、サバナケットで実施した。

名称：	観光マーケティング研修
場所：	サバナケット（県林野局会議室）
時期：	2008 年 7 月 10～11 日（木～金）
目的：	ワーキング･グループ・メンバーが、観光マーケティングの意義、観光客セグメントの理解、潜在的観光客へのアプローチ方法について十分に理解すると共に、認識を共有する
講師：	TOT で養成された PTD 職員 5 名
受講者：	ワーキング･グループ（38 名）
内容：	1. 観光マーケティングとは？ 2. 顧客は誰か？ 3. 顧客へどのようにアプローチするか？
教材：	［Task7］で作成し、上記 TOT の結果を反映させたマーケティング研修モデュール

研修では、開始時と終了時に同じレベルの小テスト（10 問）を受講者に対して行った。研修前後の最高正解者は各々9 問と 9 問で変わらないものの、最低正解者は 2 問から 4 問と向上し、正解率も 60.6%から 67.5%と僅かだが上昇した。

3 つのテーマごとの研修受講者の評価を示す。この結果からは、「観光マーケティングとは？」という最初のテーマの理解度がやや低かったことがわかる。その要因は、講義には一般のマーケティング理論が用いられたが、観光商品は他の商品と比べ、物ではなく体験を売ること、商品を持ち運ぶことができないこと等、多くの異なる側面があるという点が十分に踏まえられなかったのではないかと思われる。自らの意思で観光旅行をした経験がない受講者の間で、無形の観光体験を売る、扱うという概念の理解に難しさや混乱が生じたものと想像される。

図 2.2.1　観光マーケティング研修の参加者の理解度（自己評価）



註：　数字は人数と比率（%）を示す
出典：　JICA プロジェクトチーム

■［Task 9］　LNTA 及び PTD 職員による観光関連サービス向上研修

以下の 4 つの観光関連サービス向上研修が実施された。

名称：	観光ガイド研修
場所：	サバナケット（Savan Saikong Resort 研修室）
時期：	2008 年 9 月 22 日～10 月 11 日（月～土）（20 日間）
目的：	有資格観光ガイドの技能更新と新規観光ガイドの養成
講師：	県他機関を中心とした外部講師、LNTA、PTD、JICA プロジェクトチーム
受講者：	有資格観光ガイド（約 10 名）、新規養成観光ガイド候補（37 名：コミュニティガイド 4 名を含む）
内容：	観光ガイド研修プログラムを参照

名称：	飲食サービス研修（1）
場所：	サバナケット（Restaurant Lao Lao Der Meeting Room）
時期：	2008 年 11 月 10 日～11 月 15 日（月～土）（6 日間）
目的：	飲食サービスの技術向上
講師：	タイ・ラスパッド大学講師ら、PTD
受講者：	市内のホテル及びレストラン（26 名）、郡観光コーディネーター（10 名）
註：	タイ領事館の支援により実施された

名称：	飲食サービス研修（2）
場所：	Virabouly District（郡役所会議室）
時期：	2008 年 12 月 26 日～12 月 29 日（金～月）（4 日間）
目的：	飲食サービスの技術向上
講師：	PTD
受講者：	ウィラボリ郡のレストラン及びゲストハウス
註：	銅鉱山会社の支援で実施された

名称：	ハウスキーピング研修
場所：	サバナケット（Restaurant Lao Lao Der Meeting Room）
時期：	2009 年 2 月 5 日～2 月 11 日（木～水）（7 日間）
目的：	ハウスキーピングの技術向上
講師：	LNTA、PTD、JICA プロジェクトチーム
受講者：	サバナケット県内のホテル及びゲストハウス（35 名）
内容：	ハウスキーピング研修プログラムを参照

プロジェクトチームは、特に、PTD の研修運営（準備、記録、モニタリング・評価）の技術指導を行い、経験が蓄積され、効率的・効果的に継続実施されることを意図した。

表 2.2.1　観光ガイド研修プログラム

	Morning	Lecturer	Afternoon	Lecturer
9/22	Opening	PTD	Tourism Development/Promotion	PTD+JICA
9/23	Public Relation	PTD	Hospitality	PTD
9/24	Geography (1)	TTC	Geography (2)	TTC
9/25	History (1)	TTC	History (2)	TTC
9/26	History (3)	TTC	Security Policy	Police Dep.
9/27	History of Tourist Site (1)	PICD	History of Tourist Site (2)	PICD
9/28	Lao Tradition (1)	PICD	Lao Tradition (2)	PICD
9/29	Tourism Policy	PTD	Lao Design	Art School
9/30	Lao Music	PICD	Eco-Tourism	SNV
10/1	International Cooperation (1)	PFAD	International Cooperation (2)	PFAD
10/2	First Aid (1)	Pro. Hospital	First Aid (2)	Pro. Hospital
10/3	Lao Food	Tech. College	Tourism Law	PTD
10/4	Crops and Livestock	PAD	Ancient Animals	PSTED
10/5	Tourism Marketing (1)	PTD	Tourism Marketing (2)	PTD
10/6	Guiding Techniques (1)	LNTA	Guiding Techniques (2)	LNTA
10/7	Guiding Techniques (3)	LNTA	Guiding Techniques (4)	LNTA
10/8	Guiding Techniques (5)	LNTA	Guiding Techniques (6) (Exam)	LNTA
10/9	Practice	LNTA	Practice	LNTA
10/10	Practice	LNTA	Practice	LNTA
10/11	Summary of the Training	LNTA	Certificate	PTD

Note:　TTC: Teachers Training College, PICD: Information and Culture Department, PFAD: Foreign Affaire Department, PAD: Agriculture Department, PSTED: Science, Technology and Environment Department

出典：　PTD Savannakhet

表 2.2.2　ハウスキーピング研修プログラム

	Morning		Afternoon	
2/5	Opening	Tourism Policy	Public Relation	
2/6	Human Relation and Hospitality		Accommodation Services	
2/7	Responsibility of Housekeeping		Demarcation with Other Sections	
2/8	Room Cleaning	Cleaning Bed Room	Cleaning Floor and Bath Room	
2/9	Laundry	Report & Exam	Practice of Bed Room Cleaning	
2/10	Table Cloth	Fruit Carving	Basi with Banana Leaves	Flower Arrangement
2/11	Flower Arrangement	Flower Arrangement	Summary	Closing

出典：　PTD Savannakhet

■［Task 10］　観光モラル向上委員会の設置

観光客の増加に伴う負の影響を最小化させることを目的とし、「観光モラル向上委員会」を設置した。構成メンバーは以下のとおりである。

1. 県観光局（Eco-Guide Unit 代表を含む）
2. 県青年連合
3. 県女性連合
4. 県科学・技術・環境局
5. 県計画・投資局
6. 県農林局
7. 観光警察
8. 県情報・文化局
9. 県産業・商業局
10. Kaysone Phomvihane 郡観光コーディネーター
11. 県法務局
12. 県公安局
13. 県衛生局
14. 県公共事業・運輸局
15. That 村住民リーダー
16. ホテル業者代表
17. ゲストハウス業者代表
18. レストラン業者代表
19. ツアーオペレーター業者代表

観光モラル向上委員会の目的、機能・役割、活動方法等についての認識の共有を図る目的で、以下のセミナーを開催した。

名称：	サバナケット県「観光モラル向上委員会」の設置セミナー
場所：	サバナケット（Savan Banaho Hotel Meeting Room）
時期：	2008 年 8 月 14 日（木）
目的：	観光モラル向上委員会の目的、期待される成果、活動内容等についてメンバーで話し合い、認識の共有を図る
講師：	PTD、JICA プロジェクトチーム
内容：	1. 開会（県観光局長） 2. 委員会の目的と期待される成果（県観光局副局長） 3. ラオスにおける他県と LNTA の対策事例（県観光局副局長） 4. 日本における観光の負の影響対策事例（JICA プロジェクトチーム） 5. サバナケット県における観光に起因する問題点（グループ･ディスカッション） 6. 研修のまとめ（県観光局副局長）、閉会（県観光局長）

セミナーでは、観光の負の影響として以下の問題が把握された。観光と関係ない問題や、負の影響と言えないものもいくつかリストアップされたが、それらは観光モラル委員会の活動には含まれないことから区別している。

表 2.2.3　観光モラル委員会が指摘した観光の負の影響

	問題	理由
社会・文化への影響	セックス・ツーリズム	一部の旅行者はセックス・ツーリズム目的でラオスを訪れ、ラオス人若者も金銭が欲しいためそれに応えている ラオス人少女を人身売買目的で探しに来る外国人もいる
	ホテル、GH での盗撮（ビデオ販売目的）	旅行者の中には、泊まったホテルやゲストハウスに隠しカメラをセットし、販売目的に盗撮する者もいる
	旅行者を狙った窃盗等の犯罪増加	ドラッグの氾濫も要因となり、旅行者の金品を狙う若者が増えている
	物乞いの増加	容易に旅行者から金銭を得られると考え、物乞いが地方からサバナケットの町に来るようになった
	若者の服装への影響	ラオス人若者が旅行者のショート･スカートやショート･パンツを真似る
	旅行者が布教活動を行う	ラオスでは布教活動が禁止されているが、農村に入り、聖書を配布したりする外国人が増えている
	旅行者のレンタル・バイク	レンタル・バイク利用者の中には、買ったドラッグを隠すために使う者もいる
	旅行者が寺院に寝泊りする	バックパッカーの中には寺院で寝泊りする者がいる（これだけでは負の影響とも言切れないが、振舞いの良くないバックパッカーを指すと思われる）
自然・住環境への影響	自然環境へのダメージ	キャリング・キャパシティを超えた訪問者により自然破壊がおきる 観光等の産業振興により都市が拡大し、自然が破壊される
	観光地におけるごみの散乱	ごみ箱がないことから、どこにでも捨てる パックパッカーの中にはマナーの良くない者も多い 田舎ではごみ収集・処分を担当する者がいない 住民の意識が不十分
	観光地における用便	公衆トイレが不備なことから、どこでも用を足す
	森林伐採	木材の販売、加工目的（必ずしも観光だけが原因ではないが、地場産業等で観光との関連強化の可能性もあり残す）
	ハンティング	食用及び市場で売るため（同上）
	草木等の林産品の不法採集	旅行者の中には草木を採集し持出す者も多い
	樹木を傷つけたり燃やす	意図的なケース、無意識に行ってしまうケースの双方がある
経済的な影響	インフレの助長や物価の高騰	ラオス人は外貨で受取ることを好むから（理由には疑問だがその傾向を助長することは事実であろう）
	偽札の流入	旅行者の中には偽札を使う者がいる（観光との影響は強くはないが、多くの外貨が市中に流通していることは偽札の流入を助長していると考えられる）
	トゥクトゥク等が料金をふっかける	トゥクトゥク、ソンテウ等が法外な料金

		を要求し、一般住人にも影響がある
	観光業者が法外な料金を取る	相場を知らない旅行者に法外な料金を要求する業者もいる
除外した課題等	ベトナム人行商人	ベトナム人行商人の中には窃盗をはたらく輩も多い（観光とは関係ない）
	入国審査で必要書類を提出しない旅行者がいる	パスポートやビザが不備の旅行者がいる（負の影響が出ているとは言えない）
	タイ人の多くはベトナムが目的地であり、サバナケットを素通りする	（経済的に非効率であるが、これだけで負の影響が出ているとは言えない）
	外国人投資家	多くの外国人がサバナケット周辺の土地を買いあさっており、農地が減少している（事実であろうが、観光だけの問題ではない）

出典：　Moral Promotion Committee

■［Task 11］　第 1 次観光振興計画の策定

PTD は 2008 年 5 月に「観光開発計画（2008-2010）」を作成し、LNTA 副総裁の立会いの下、5 月 22～23 日に開催された県観光開発戦略会議で発表された。同計画は、1）前期計画（2005～2007 年）のレビュー、2）今期計画（2008～2010 年）の戦略、3）アクションプラン、で構成されている。周遊ルートの開発、観光サービス改善、サバナケット県のブランディング等の重要性が指摘され、エリア的には、サバナケット市内・周辺、国道 9 号線沿線、国道 13 号線沿線が優先エリアとされた。

プロジェクトでは、「観光開発計画（2008-2010）」を考慮しつつ、［Task 5-2］で実施したベースライン・サーベイ、［Task 5-3］地元観光資源の特定の結果を基に SWOT 分析を用い、第 1 次観光振興計画案を策定した。

表 2.2.4　SWOT 分析による観光振興戦略の策定

Strengths	Weaknesses	Promotion Strategies
1. Plenty of tourist services 2. Main roads in good condition 3. Plenty of potential tourist sites not far from the main roads 4. SEZ increase business travelers 5. Rich human resources 6. Safety and willingness of people	1. Lack of on-site tourist facilitation (facilities, signs, interpretation, guides, etc.) 2. Lack of attractiveness and beauty 3. Unknown destination in the target market 4. No appropriate transportation available for most tourist sites 5. No information about tourist sites especially in English 6. Some access roads are difficult in the rainy season 7. Law service standards of tourist services 8. Unclear CIQ procedure 9. No place to buy local products	1. To provide appropriate promotion materials < [W-3, W-4, W-5] 2. To improve tourist facilitation (facilities, signs, interpretation, guides, etc.) < [W-1, W-2, W-4, W-5] 3. To increase media exposure in the target market < [W-2, W-3] 4. To convince tour operators in the target market of Savannakhet as tourist destination < [W-3, W-5]

註：　Opportunities と Threats も把握されたが、この表では省略した
出典：　JICA プロジェクトチーム

策定された観光振興計画案は以下のとおりである。

表 2.2.5　第 1 次観光振興計画案

	Promotion Materials	Site Development	Promotion Activities	Note
Day Circuits from Savannakhet Town				
Savannakhet Town	- Town Walking Map - Brief explanation of places of interest on the verso	- *Not identified yet*	- Half-day tour organized by PTD and voluntary guides - *Exposure in foreign magazines*	- Every Sat-Sun during high season (Nov-Jan) - Language: L, E, T
Savannakhet Suburb	- Bungva, Thad Ing Hang, Dong Natad Map - Brief explanation of places of interest on the verso	- Signs for bike/trek tourists	- *Collaboration with SNV-LENS*	- Language: L, E, T
Champhone Circuit	- Circuit Area Map - Brief explanation of places of interest on the verso	- Signs, interpretation boards for visitors	- FAM Trip organized jointly by PTD, private companies and local community - *Exposure in foreign magazines*	- FAM Trip organized between Nov-Jan - Language: L, E, T
Mekong Riverside Circuit				- *For the next phase*
Tour Circuits along Route No. 9				
Ho Chi Minh Trail Area Circuit	- Site Map featuring Ho Chi Minh Trail combined with natural and cultural resources - Brief explanation of places of interest on the verso	- *Not identified yet*	- FAM Trip organized jointly by PTD, private companies, local community by inviting foreign tour operators	- Tam trip organized between Nov-Jan - *Road Station at Phin is under conception by ADB* - Language: L, E, T
Dinosaur Circuit				- *For the next phase*
Thematic Products				
Foods (Lao, Thai, Vietnam)	- Brochure on foods available in Savannakhet	- N.A.	- Lao Food Festival cosponsored with restaurants in SVK - *Exposure in foreign magazines*	- Each restaurant that participates in the festival will provide at least one campaign dish. - Language: L, E, T
Handicraft and Souvenir	- Brochure on handicrafts and souvenirs available in Savannakhet	- N.A.	- Collaboration with JICA ODOP Project and SNV - *Exposure in foreign magazines*	- JICA ODOP Project will start soon - Language: L, E, T
Culture				- *For the next phase*
Nature				- *For the next phase*

出典：　JICA プロジェクトチーム、PTD Savannakhet

□［Task 17］ 旅行者観光情報の整備（試行）

2008 年 8 月、既存パンフレットの更新を行い、職員間の役割分担と実施能力を確認した。

図 2.2.2　更新した既存の観光パンフレット（英語版 4 種）

出典　　JICA プロジェクトチーム

■［Task 12］ 半期活動報告書（第 1 号）の作成・提出

第 2 年次上半期の活動結果をとりまとめ、半期活動報告書（第 1 号）を作成した。

■［Task **］ 第 1 回合同調整委員会（JCC）の開催

2008 年 9 月 3 日（水）、ビエンチャンに於いて第 1 回合同調整委員会（JCC）を開催した。

名称：	第 1 回合同調整委員会（JCC）
場所：	ビエンチャン（LNTA 会議室）
時期：	2008 年 9 月 3 日（水）
目的：	1. 本プロジェクトの進捗を関係者で共有する 2. PDM の内容が適切であるかどうか協議する
出席者：	Mr. Saly Phimphinith , Director General of Marketing and Promotion, LNTA（議長） ラオス側： Mr. Douangpaseuth Pathatsalang , DDG, Tourism Marketing and Promotion Department Mr. Kettasone Sundara, Director, Tourism Marketing Division Ms. Sengsoda Vanthanouvong, Director, Tourism Promotion Division Ms. Bounmy Khanthivong, Director of PTD Savannakhet Mr. Bountheung Xayavong, Deputy Director of PTD Savannakhet Ms. Phonesouk Phetkongchak, Marketing and Promotion Division, PTD Savannakhet Mr. Kouthong Sommala, Department of International Cooperation (DIC, MPI) 日本側： Mr. Koichi Takei, Deputy Resident Representative, JICA Laos Office Mr. Ryosuke Isobe, Assistant Resident Representative, JICA Laos Office Mr. Mittavisouk Rattana, Assistant Program Officer, JICA Laos Office Mr. Tetsuo Isono, Chief Advisor, JICA Project Team Ms. Darling Sithiveth, Research Assistant, JICA Project Team

会議で討議された主な内容は以下のとおりである。

- サバナケットの観光客がより長く滞在し、より多く支出するための工夫が必要である。
- LNTA 職員により LNTA ウェブサイトのコンテンツ編集を進めているところである。
- JICA プロジェクトチームからは、PDM の説明と指標の再設定を提案した。

■［Task 13］ LNTA、PTD の観光関連民間セクターとの連携体制構築の実施準備

下記のワーキング･グループ会合を開催し、観光関連民間セクターとの協働プロモーション活動を行うための準備を行った。

名称：	プロモーション活動の計画立案ワークショップ
場所：	サバナケット（Phonpaseud Hotel Meeting Room）
時期：	2008 年 9 月 12 日（金）
目的：	第 1 次観光振興計画に基づき、観光関連民間セクターとの協働プロモーション活動を立案する
講師：	PTD、JICA プロジェクトチーム
参加者：	ワーキング・グループを中心とした官民の代表者
内容：	1. 県観光開発計画（2008-2010）（県観光局副局長） 2. サバナケット観光についての SWOT 分析（JICA プロジェクトチーム） 3. 第 1 次観光振興計画（案）（JICA プロジェクトチーム） 4. 協働プロモーション活動についての討議 5. 各観光周遊ルートとテーマ別プロダクトのタスクフォースメンバーの公募 6. ワークショップのまとめ（県観光局副局長）

ワークショップでは、具体例を示しながら、パンフレット、ポスター、観光サイトへの道路標識、サイトにおける説明看板（Interpretation Board）等の観光客誘致ツールを説明し、それらの制作や協働プロモーション実施のためのタスクフォースを組織した。

下記の 5 つの周遊観光ルートと 2 つのテーマの計 7 つの観光プロダクトを選定した。

1. Savannakhet Downtown（サバナケット旧市街のウォーキング・ツアー）
2. Savannakhet Outskirts（サバナケットから 20 km 圏で、自転車、バイク、トゥクトゥクで手軽に遊覧が可能）
3. Champhone Circuit（サバナケットから南東 50～60 km の日帰り圏で、トゥクトゥクや自動車を使う必要があるが、文化財、サル保護区等を手軽に楽しめる）
4. Mekong South Circuit（サバナケットから南 50～60 km の日帰り圏で、トゥクトゥクや自動車を使う必要があるが、文化財、手工芸、メコン川の景観等を楽しめる）
5. Ho Chi Minh Trail（東西回廊沿いのサバナケット県東部地域で、世界的に知名度の高い Ho Chi Minh Trail が南北に走り、主に、歴史と自然景観を楽しめる）
6. Savanh Food（サバナケットの地元料理）
7. Handicrafts & Souvenirs（サバナケットの特産品）

協働プロモーションでは、これらの観光プロダクトについての観光客誘致ツール、観光客が体験するための実用的なパンフレット類を制作し、下記のターゲット観光客を誘致するために効果的な媒介者（メディアや旅行業者）を対象とした FAM Trip（体験旅行：商品説明会に相当する）等を企画・実施することとした。

表 2.2.6　7 つの観光プロダクトの想定ターゲット観光客

観光プロダクト	想定するターゲット観光客
1. Savannakhet Downtown	国際観光客：大メコン圏を旅行する FIT、サバナケットを訪れるビジネス客 地域観光客：サバナケットを訪れるタイ人週末観光客 国内観光客：サバナケットを訪れるラオス人、在住外国人
2. Savannakhet Outskirts	国際観光客：大メコン圏を旅行する FIT、サバナケットを訪れるビジネス客 地域観光客：サバナケットを訪れるタイ人週末観光客 国内観光客：サバナケットを訪れるラオス人、在住外国人
3. Champhone Circuit	国際観光客：大メコン圏を旅行する FIT、サバナケットを訪れるビジネス客 地域観光客：タイからの企画ツアー、サバナケットを訪れるタイ人週末観光客 国内観光客：サバナケットを訪れるラオス人、在住外国人
4. Mekong South Circuit	国際観光客：大メコン圏を旅行する FIT、サバナケットを訪れるビジネス客 地域観光客：タイからの企画ツアー、サバナケットを訪れるタイ人週末観光客 国内観光客：サバナケットを訪れるラオス人、在住外国人
5. Ho Chi Minh Trail	国際観光客：大メコン圏を旅行する FIT、ベトナムへの DMZ ツアー客 地域観光客：タイからベトナムを訪れるタイ人観光客 国内観光客：現代史に関心のあるラオス人、在住外国人
6. Savanh Food	全ての国際観光客、地域観光客、国内観光客
7. Handicrafts & Souvenirs	全ての国際観光客、地域観光客、国内観光客

註：　DMZ ツアー：Demilitarized Zone（南北ベトナム境界の非武装地帯を指す）ツアーで、ベトナム戦争の歴史や戦跡を見学するツアー

出典：　JICA プロジェクトチーム

■［Task 14］ サバナケット県及び南部地域における観光資源の情報の集約

［Task 17］旅行者情報の整備、［Task 21］サバナケット県観光ウェブサイトの整備等で活用するため、［Task 5-2］のベースライン・サーベイの結果を整理し、サバナケット県及び南部地域における観光資源の情報を集約した。

■［Task 17］ 旅行者観光情報の整備

［Task 13]の結果を受け、プロダクトごとのタスクフォースメンバーで会合を開き、プロダクト内容を固めながら、パンフレット（5 つの周遊観光ルート、2 つのテーマプロダクト)、ポスター（8 種類)、観光サイト道路標識、観光サイトにおける説明看板（Interpretation Board)、観光案内標準ファイルを制作した。

特に、パンフレットは、単に観光サイトの紹介ではなく、観光客が行動をおこすための実用的なツールを意図し、モデルルートが明示されたマップ形式とした。その上で、上記で想定したターゲット観光客セグメントに応じた英語、タイ語、ラオス語の 3 ヶ国語を制作した。

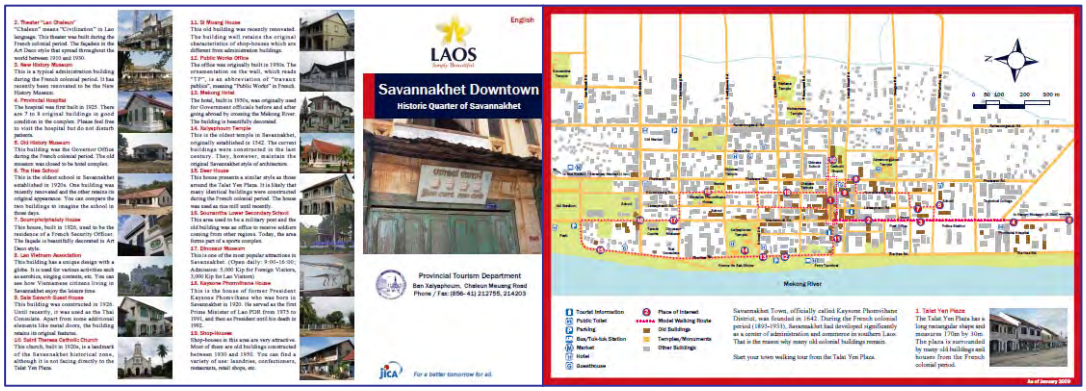
表 2.2.7 旅行者観光情報の制作

	種類	形態	配布先	言語
1	観光パンフレット 1. Savannakhet Downtown 2. Savannakhet Outskirts 3. Champhone Circuit 4. Mekong South Circuit 5. Ho Chi Minh Trail 6. Savanh Food 7. Handicrafts & Souvenirs	A4、3 つ折 カラー	サバナケット： 観光案内所、宿泊施設、レストラン、旅行会社、空港、バスターミナル等 パクセ： 観光案内所	英語：各 6,000 部 タイ語：各 3,000 部 ラオス語：各 1,000 部
2	観光ポスター 1. Historic Downtown 2. That Ing Hang 3. Hotay Pidok 4. Monkey Forest 5. Ho Chi Minh Trail-1 6. Ho Chi Minh Trail-2 7. Stone House 8. Laha Cotton Weaving	A1（紙） カラー A1（ビニル） カラー	サバナケット： 同上 ビエンチャン： 観光案内所、旅行業者、ゲストハウス等 タイ： 旅行会社等 ベトナム： 旅行会社等	英語、タイ語、ラオス語、ベトナム語併記： 紙：各 100 部 ビニル：各 6 部 （但し、紙媒体は 1～6 のみを印刷した）
3	観光サイト道路標識 1. Savannakhet Outskirts 2. Champhone Circuit 3. Mekong South Circuit	スチール製 40×120 cm	主要な交差点・別れ道	英語・ラオス語併記 25 ヶ所、55 本、87 枚
4	観光サイトにおける説明看板 1. Savannakhet Outskirts 2. Champhone Circuit 3. Mekong South Circuit 4. Ho Chi Minh Trail	土台：木製 看板： スチール製 90×180 cm	左記周遊観光ルートの主要な観光サイトの内、情報が入手できたサイト	英語、ラオス語併記 21 サイト
5	民間観光案内所サイン及び観光案内標準ファイル （観光サイト、交通、宿泊、食事等の記載された観光情報ファイル）	サイン： A3 壁用 A5 卓上用 ファイル： A4、モノクロ、40 頁	サバナケット県内各地： 宿泊施設、レストラン、旅行会社、空港（航空会社)、観光サイト等	英語（ラオス語の説明付）：50 部

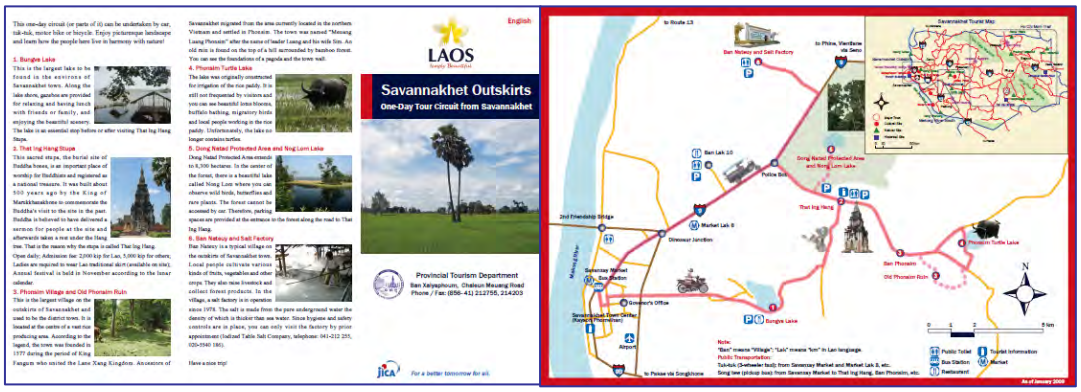
出典： JICA プロジェクトチーム

図 2.2.3　ルート別・テーマ別の観光パンフレット

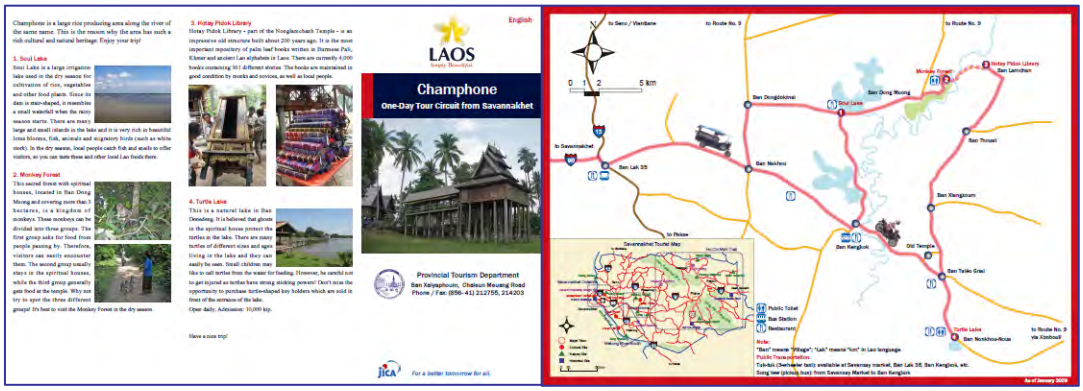
1. Savannakhet Downtown



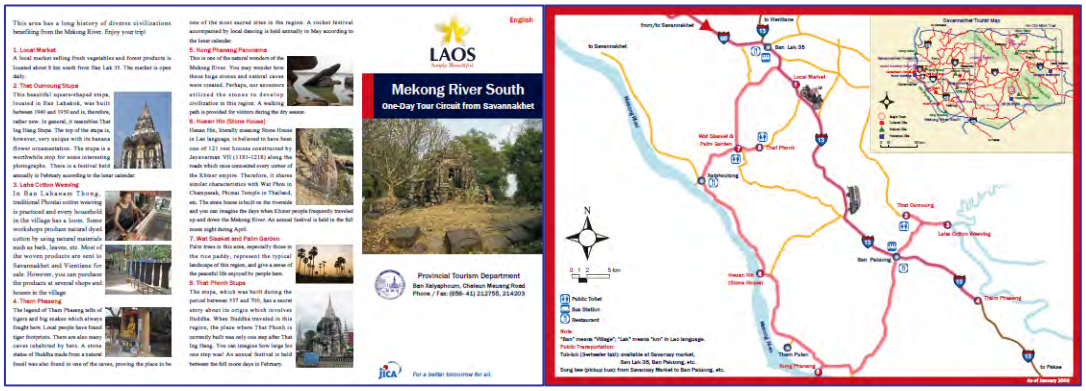
2. Savannakhet Outskirts



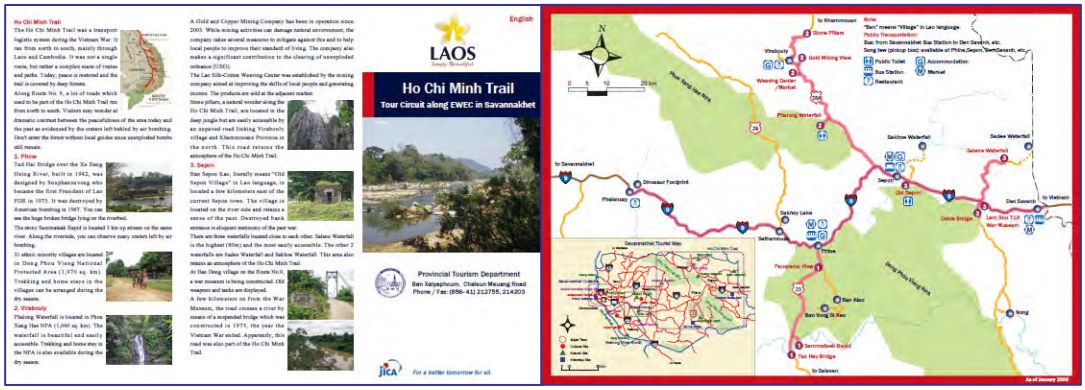
3. Champhone Circuit



4. Mekong River South Circuit



5. Ho Chi Minh Trail



6. Savanh Food

7. Handicrafts & Souvenirs

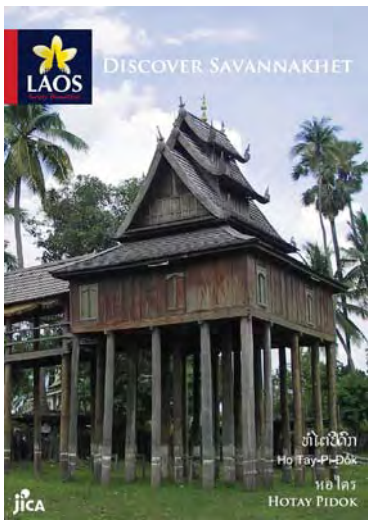
出典：　JICA プロジェクトチーム

図 2.2.4　観光ポスター

1. Historic Down Town

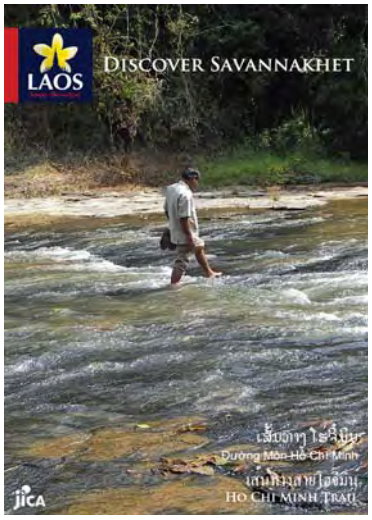
2. That Ing Hang

3. Hotay Pidok

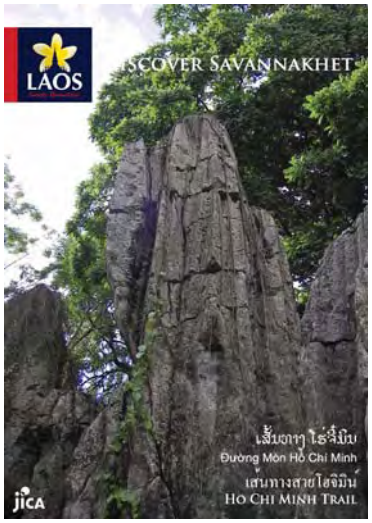


4. Monkey Forest

5. Ho Chi Minh Trail-1



6. Ho Chi Minh Trail-2



7. Stone House

8. Laha Cotton Weaving

出典：　JICA プロジェクトチーム

図 2.2.5　観光サイト道路標識

出典：　JICA プロジェクトチーム

サバナケットを訪れる観光客が、観光ポスター、観光パンフレット、観光サイト道路標識等により、より多くの時間、より広いエリアで観光を楽しんでもらうツールと仕組みを意図したが、それらが潜在的な観光客に効果的に届けられるためには、サバナケットの観光関連業者をはじめとする民間セクターの果たす役割が重要である。

サバナケットには県観光局、Eco-Guide Unit（EGU）、第 2 メコン橋の 3 ヶ所の公的観光案内所があるが、必ずしも全ての観光客が訪れるわけではない。特に、人数が最も多く、潜在的経済効果の高いタイ人観光客が観光案内所を訪れることは極めて稀である。そこで、訪問客がよく利用する、長距離バスターミナル、空港（航空会社）、ホテル、ゲストハウス、レストラン、旅行会社等にも、観光客へのパンフレット類の配布、観光客への観光案内の役割を積極的に担ってもらうことを呼びかけた。

図 2.2.6　民間観光案内所サイン及び観光案内標準ファイル

出典：　JICA プロジェクトチーム

これらの観光パンフレット類及び観光案内標準ファイルは、それらが使用される場所へ配布するだけでは十分な効果をもたらすことができないことから、使用場所への配布に当たっては、それらを実際に使う人たちへ以下の研修を実施した。

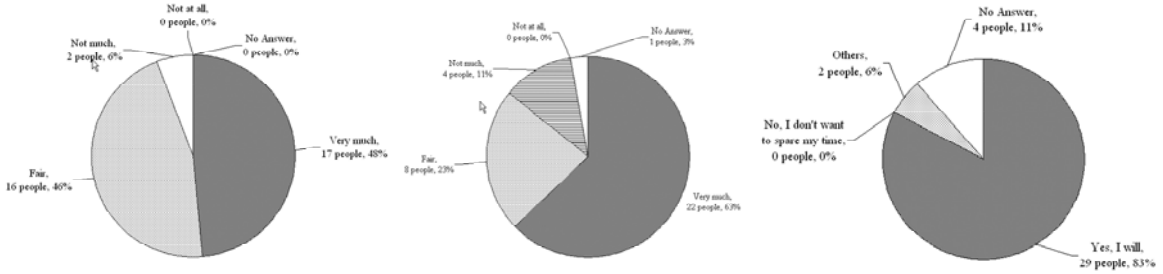
名称：	観光パンフレットの使用方法についてのワークショップ
場所：	サバナケット（Savan Banhao Hotel Meeting Room）
時期：	2008 年 11 月 11 日（火）
目的：	ワーキング･グループのタスクフォースメンバーとの協働により制作された観光パンフレットの使用方法の説明と配布
講師：	PTD、JICA プロジェクトチーム
参加者：	サバナケット市内の観光客を多く受入れる施設（ホテル、ゲストハウス、旅行会社、航空会社、レストラン等）約 30 社
内容：	1. 観光パンフレットの趣旨（県観光局長） 2. 各観光パンフレットの内容（JICA プロジェクトチーム） 3. 観光客へ観光パンフレットの渡し方（サバナケット EGU） 4. ワークショップのまとめ（県観光局副局長）

名称：	観光案内標準ファイルの使用方法研修
場所：	サバナケット（Savan Saikong Resort Training Room）
時期：	2009 年 1 月 13～14 日（火～水）
目的：	PTD により作成された観光案内標準ファイルの使用方法の説明と配布
講師：	PTD、EGU、JICA プロジェクトチーム
参加者：	5 つの周遊観光ルート沿いの 9 郡の観光コーディネーター、Savannakhet Outskirts・Champhone Circuit・Mekong River South Circuit の 3 つの周遊観光ルートの主要観光サイトの村（9 村）、サバナケット県内の観光客を多く受入れる施設（ホテル、ゲストハウス、旅行会社、航空会社、レストラン等約 30 社）
内容：	1. 観光案内標準ファイルの趣旨（県観光局副局長） 2. 観光関内標準ファイルの内容（PTD 観光振興課） 3. 観光案内実習（サバナケット EGU） 4. 観光案内標準ファイルの改訂と費用負担について（グループ･ワーク） 5. 研修のまとめ（県観光局副局長）

観光パンフレット類、観光案内標準ファイル共に、更新や増刷が重要である。観光パンフレットについては、表紙に各観光業者のロゴ等を入れるスペースを用意し、将来的に有償配布にする可能性を探った。観光案内標準ファイルに関しては、改訂は PTD が行うが、利用する観光関係業者（ホテル、ゲストハウス、レストラン、航空会社等）は、アップデートされる情報収集に協力すると共に、改訂版のコピー代の実費を負担することで合意した。

図 2.2.7　観光案内標準ファイルの使用方法研修での参加者の意見

1.使用方法の理解度　　2. 標準ファイルの有用性　　3. 改訂への協力



出典：　JICA プロジェクトチーム

サバナケット市内には観光案内標準ファイルを備えた「民間観光案内所」のサインが見られ始め、多くのホテル、ゲストハウス、レストラン等でパンフレット類と観光案内を提供できるようになったことは画期的な変化である。

■［Task 15］ 官民協働プロモーション活動の実施

サバナケットの官民観光セクターの協働によって観光客を誘致することを目的とし、既述の5つの周遊観光ルートについてFAM Tripを企画、実施した。

FAM Tripは、一般産品における商品展示会に相当するもので、現場体験そのものがプロダクトである観光セクターでは重要なプロモーション手法である。想定するターゲット観光客の誘致に影響をもたらすであろう、メコン圏で事業を展開する旅行会社、タイやベトナムの旅行会社、ビエンチャンやタイのメディア（新聞社、雑誌社、テレビ局等）を招待し、地元のサバナケットからも多くの民間セクターが参加し、実施した。

名称：	FAM Trip 1（その1）
対象：	Savannakhet Downtown と Savannakhet Outskirts
時期：	2008年11月22～23日（土～日）
参加者：	1. タイメディア：Mukdahan Newspaper、Bangkok Post、タイ領事館 2. ビエンチャンメディア：Vientiane Times、Muong Lao 3. サバナケット民間セクター（ホテル、ゲストハウス、レストラン、旅行会社等） 計約40名

名称：	FAM Trip 1（その2）
対象：	Champhone Circuit と Mekong River South Circuit
時期：	2008年12月13～14日（土～日）
参加者：	1. タイメディア：Thai Rat Newspaper、TV7、タイ領事館 2. ビエンチャンメディア：Update Magazine、Discovery Laos 3. タイ旅行会社：Sourasiny、Mukthara 4. ビエンチャン旅行会社：Exotissmo、Green Discovery 5. サバナケット民間セクター（ホテル、ゲストハウス、レストラン、旅行会社等） 計約40名

名称：	FAM Trip 1（その3）
対象：	Ho Chi Minh Trail
時期：	2009年1月17～18日（土～日）
参加者：	1. タイメディア：Mukdahan Newspaper、TV3 2. ビエンチャンメディア：Vientiane Times、Vientiane Mai Newspaper、Xaiyo Magazine 3. タイ旅行会社：Sourasiny 4. ベトナム旅行会社：DMZ Tour 5. ビエンチャン旅行会社：Exotissmo、Green Discovery 6. サバナケット民間セクター（ホテル、ゲストハウス、レストラン、旅行会社等） 計約40名

FAM Trip 1実施の結果、参加したタイの旅行会社はこれまで無かったサバナケット近郊のツアーを送り始めた。また、Vientiane Timesが連続して掲載したサバナケット観光の全面記事に感化されたビエンチャン在住の外国人が訪れ始めた。

一方で、サバナケットの地元民間セクターからの参加者も、5つの周遊観光ルートについての知識が深まり、各観光サイトのコミュニティとの間で相互の面識ができ、地元サバナケットの観光振興に対する意識が高まった。

図 2.2.8　Vientiane Times に掲載された旅行記事

Vientiane Times　Saturday December 6, 2008 | 11

Travel

Walking through Savannakhet's past

The colonial charm of buildings in Kaysone Phomvihane district is luring more tourists to the area.

PHON THIKEO

When you walk the streets of Savannakhet province it's not hard to imagine what life was like there in the early 1900s.

Colonial-style buildings still exist throughout the centre of Kaysone Phomvihane town, giving it an old-world atmosphere and reminding visitors of the French presence that existed there up until the 1950s.

It is this connection with history that local authorities are focusing on in a new tourism campaign designed to attract more visitors to the town.

Provincial Tourism Department Director, Ms Bounmy Khantivong, said tourist surveys had indicated foreigners, particularly Europeans, were interested in the town's 120 colonial-style buildings which have remained largely untouched.

"These buildings are some of the most important attractions in Savannakhet province and we believe their popularity with tourists will only increase in the future," she said.

"We are now considering ways to restore the town's significant buildings while retaining the features that make them special."

The historical buildings are both publicly and privately owned, and include hotels, guesthouses, individual houses, shops, office buildings, a hospital and a school.

Ms Bounmy said Savannakhet had developed as a centre of administration and commerce in the south of Laos in the early 1900s, which led to the construction of many of the buildings which are now attracting tourists.

Buildings which are more than 50 years old are considered to have heritage value, and owners are required to get permission from district authorities before altering them in any way.

Kaysone Phomvihane District Tourism Office Acting Head, Mr Sao Sisouk, said interesting buildings were scattered throughout the district, but 19 of them were located close together in town.

"Many of the old buildings are located around the town's central plaza area and on the four main roads," he said.

"Tourists can spend a couple of hours slowly walking around town looking at the buildings, starting from the plaza area and covering a distance of about 2km."

I took part in a walking tour through the town last month and found it an enjoyable way to see more of a place which is significant to Lao history in many ways. Kaysone Phomvihane district is named after the former Lao president, who was born there in 1920.

I was able to walk past his former house and see the primary school that he attended. I also walked through the provincial hospital grounds, which contains eight buildings which date back to 1925.

Another significant building is Saint Theresa's Catholic Church which was built in 1920, and is currently undergoing restoration. It is located in the heart of the district and is a well-known landmark. I passed it on a Sunday morning and the singing that drifted out through the stained glass windows sounded as sweet as the voices of angels.

Kaysone Phomvihane district's important buildings are highlighted in a new brochure, titled "Savannakhet Downtown: the historical quarter of Savannakhet", which was published through a project funded by Japan's International Cooperation Agency.

The brochure includes a map with a suggested town walking tour and a brief history of the town's important buildings. It is available from local hotels, guesthouses, restaurants and tourism operators.

This building, located in the Savannakhet provincial hospital grounds, dates back to 1925.

Saint Theresa's Catholic Church was built in the 1920s and is currently being restored.

J&C REAL ESTATE

NEW TO LAOS OR MOVING HOUSE?
LET US FIND YOUR DREAM HOME!

J&C understands the needs of the international community. Your time is valuable so we show you only properties that meet your requirements.

Come in and meet with one of our qualified agents today and choose a property that suits you.

Any price, any location. Free pick up service available.

FEEL AT HOME WITH J&C
Please contact 021 244361, 020 5285580, email info@jclao.com
or visit our office at 16/229 Settathirath Street, Si Muang
(next to Mon Petite Cochon)

FEEL AT HOME WITH J&C

Lao Air

ISO 9001: 2000

Effective from 17 April 2008
Vientiane - Phongsaly – Vientiane

Route	Day	Departure Airport	Departure Time	Arrival Airport	Arrival Time	Aircraft
VTE - PSL	Wed	Wattay	09:30	Bounneua	11:00	Cessna
PSL - VTE		Bounneua	11:30	Wattay	13:00	Cessna
VTE - PSL	Sat	Wattay	09:00	Bounneua	10:30	Cessna
PSL - VTE		Bounneua	11:00	Wattay	12:30	Cessna

Vientiane - Samneua - Vientiane

Route	Day	Departure Airport	Departure Time	Arrival Airport	Arrival Time	Aircraft
VTE - SN	Mon	Wattay	09:30	Nathong	10:50	Cessna
SN - VTE		Nathong	11:20	Wattay	12:40	Cessna
VTE - SN	Thu	Wattay	12:00	Nathong	13:20	Cessna
SN - VTE		Nathong	13:50	Wattay	15:10	Cessna
VTE-SN	Sat	Wattay	12:00	Wattay	13:20	Cessna
SN-VTE		Nathong	13:50	Nathong	15:10	Cessna

Vientiane - Xayabouly – Vientiane

Route	Date	Departure Airport	Departure Time	Arrival Airport	Arrival Time	Aircraft
VTE - XYB	Tue	Wattay	14:00	Xayabouly	14:50	Cessna
XYB - VTE		Xayabouly	15:20	Wattay	16:10	Cessna
VTE - XYB	Thu	Wattay	09:00	Xayabouly	09:50	Cessna
XYB - VTE		Xayabouly	10:20	Wattay	11:10	Cessna
VTE - XYB	Sat	Wattay	14:00	Wattay	14:50	Cessna
XYB - VTE		Xayabouly	15:20	Xayabouly	16:10	Cessna

Remark: Flight Schedule would be changed without prior notice.

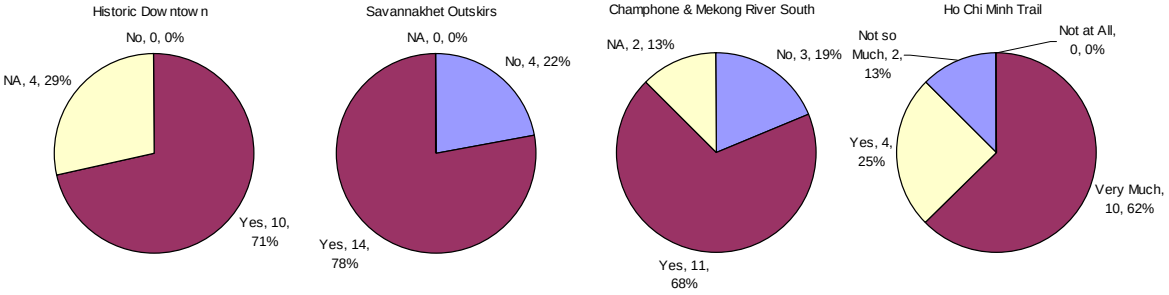
For information please contact:
Tel: (856-21) 513 007, Mobile: (856-20) 6632854 Fax: (856-21) 513 007.
E-mail: info@lao-air.com; www.lao-air.com

出典：　Vientiane Times

今後の県の観光開発計画および観光振興計画に反映させるため、メディアを除く FAM Trip 1 参加者の評価や意見を聞き取った。各周遊観光ルートの商品性に対する参加者の評価は下図のとおりであった。

図 2.2.9　各周遊観光ルートの商品性

「この周遊ルートは観光客に推奨できると思いますか？」

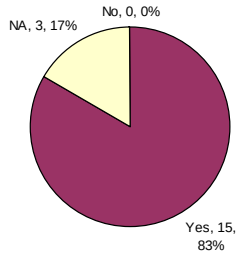


出典：　JICA プロジェクトチーム

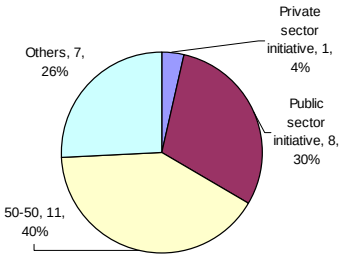
また、官民協働の観光プロモーションについての意見は下図のとおりで、民間がイニシアティブをとるべきという意見は意外と少なく、官民で半々の責任を負いつつ協働すべきという意見が最も多かった。

図 2.2.10 官民協働の観光プロモーションについての意見

「官民の協働は必要ですか？」



「どの様な協働体制が望ましいですか？」



出典：　JICA プロジェクトチーム

Savannakhet Downtown を除く 4 つの周遊観光コースは、大半が未舗装の道路であるが、悪路が観光促進の制約となるという意見はそれほど多くなかったが、観光サイトにおけるトイレの不備が課題であるという意見は予想以上に多かった。

各周遊観光ルートのパンフレットの地図には利用できるトイレの有無を示しているが、観光サイトでは必ずしも実際の場所がわかるわけではない。観光客に対するサインの整備や観光客の受入れ体制をはじめとする観光サイトの改善も並行して進める必要性が示唆された。

■［Task 16］ 旅行者の満足度調査の実施

サバナケットを訪れた観光客の観光サイトや観光サービスに対する評価をヒアリングし、最終的な観光振興計画に生かす目的で、「旅行者満足度調査」を実施した。調査は、Savan Institute of Management への現地再委託で実施した（2008 年 10 月 27 日契約）。

調査の概要は以下のとおりである。

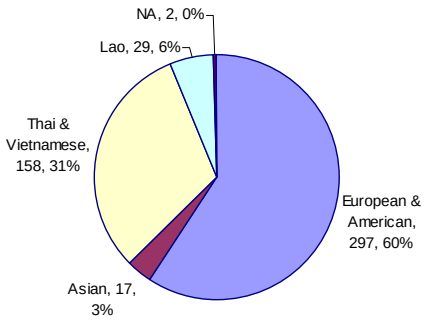
名称：	旅行者満足度調査（Tourists' Satisfaction Survey）
対象：	サバナケットを訪れた観光客（国際観光客、タイ人観光客、在住外国人、ラオス人等） 計 503 人
時期：	2008 年 10 月下旬～2009 年 2 月中旬 （観光客へのインタビューは 2008 年 11 月中旬～2009 年 1 月中旬の約 2 ヶ月間）
調査方法：	質問票に基づき、観光客へインタビュー 原則として、サバナケットでの観光体験を終了した出口調査 バスターミナル、宿泊施設等でインタビューを実施 単純集計と観光客セグメント毎のクロス集計を行う
調査項目：	1. サバナケット訪問の目的 2. サバナケット訪問の頻度 3. 訪問した観光サイトと主要観光サイトの評価 4. サバナケットで最も印象深い観光サイト 5. その他観光サイトに関するコメント 6. 飲食サービスに対する評価 7. 飲食における平均消費額 8. その他飲食に関するコメント 9. 工芸品・みやげものの評価 10. 工芸品・みやげものにおける消費額 11. その他工芸品・みやげものに関するコメント 12. サバナケット訪問の際に利用した観光情報源と評価 13. その他観光情報に関するコメント 14. サバナケット訪問を友人に勧めるかどうか 15. その他の提言・コメント 16. インタビュー観光客の特性（国籍、居住地、年齢層等）

（1） 旅行者満足調査結果のレビュー

インタビュー対象者の出身地：503 人の出身地の内訳は、ラオス 29 人、タイおよびベトナム 158 人、タイとベトナムを除くアジア 17 人、ヨーロッパおよびアメリカ 297 人となっている。実際の訪問客の比率とは異なることを念頭におく必要がある。

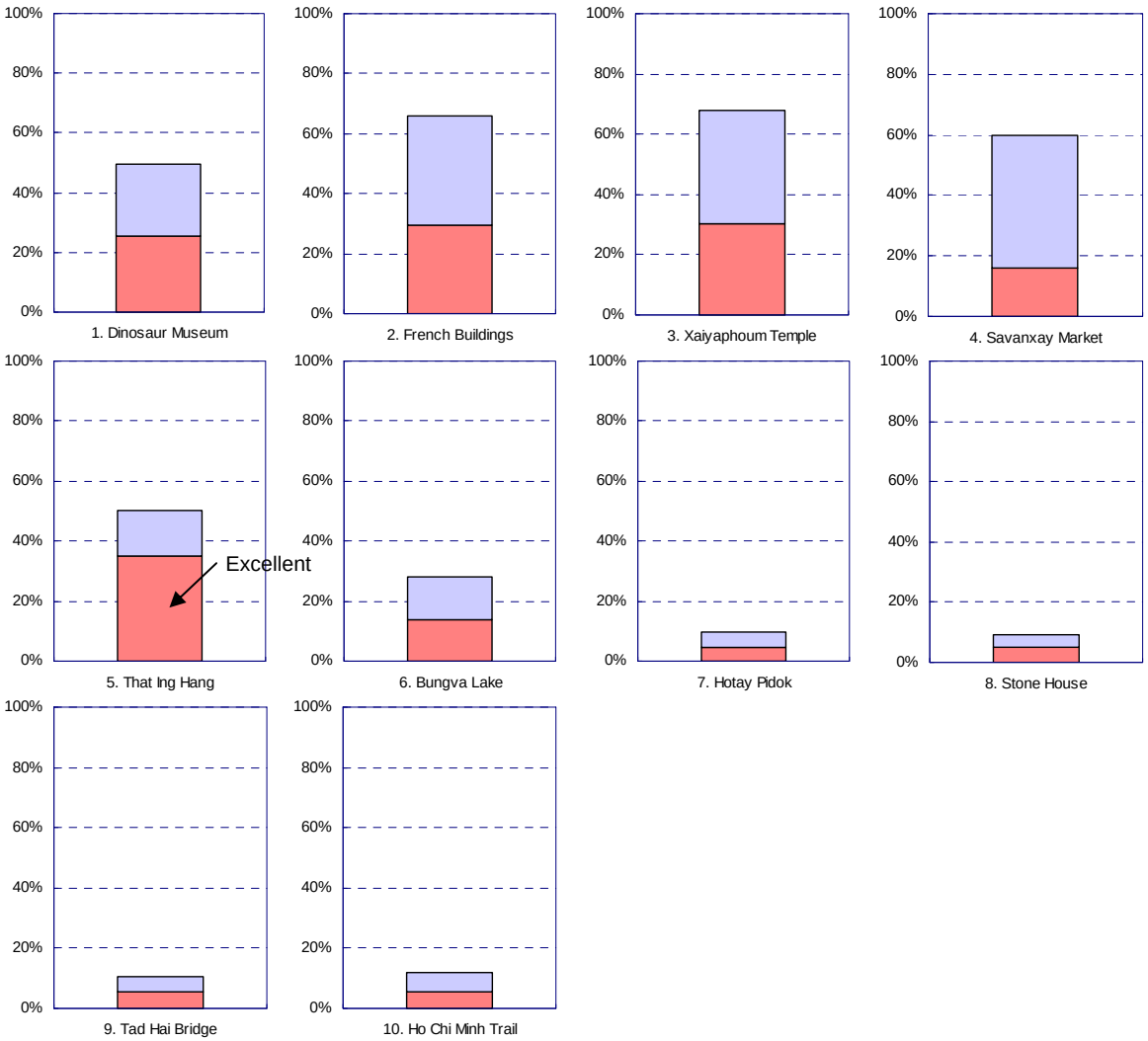
主要観光サイトの訪問と評価：10 ヶ所の観光サイト（図 1.3.1 プロジェクトの対象地域を参照）について、訪問したか否か、またその評価を問うた結果は下図のとおり。

図 2.2.11 インタビュー対象者の出身地



出典： JICA プロジェクトチーム

図 2.2.12 主要観光サイトへの訪問状況と評価



出典： JICA プロジェクトチーム

サバナケット市内の主要サイトである恐竜博物館、コロニアル建築、Xaiyaphoun 寺院、Savanxay Market には観光客の 50～70%が訪れている。土日にも開館しているにも関わらず、恐竜博物館への訪問率が低いのは宣伝不足と考えられる。また、どのサイトも「Excellent」の評価が半数を超えることはないことから、魅力をもたせる努力が必要である。特に、Savanxay Market の評価は予想以上に低かった。

サバナケット郊外の That Ing Hang は、県内で最も知名度の高い観光サイトであるが、観光客の約半数が訪れており、その評価も高い。一方、That Ing Hang への途中にある Bungva Lake への訪問率が 30%程度と低いことは、That Ing Hang へ訪れる観光客の多くが国道 9 号線を通り、それだけを目的に行くことを示している。エリアとしての観光振興が必要である。

サバナケットの町から 50～60 km 圏にある Hotay Pidok や Stone House へ訪れる観光客は、まだ全体の 10%程度に留まっているが、訪れた観光客の少なくとも半数は高い評価をしており、将来的な潜在力があることを示唆している。

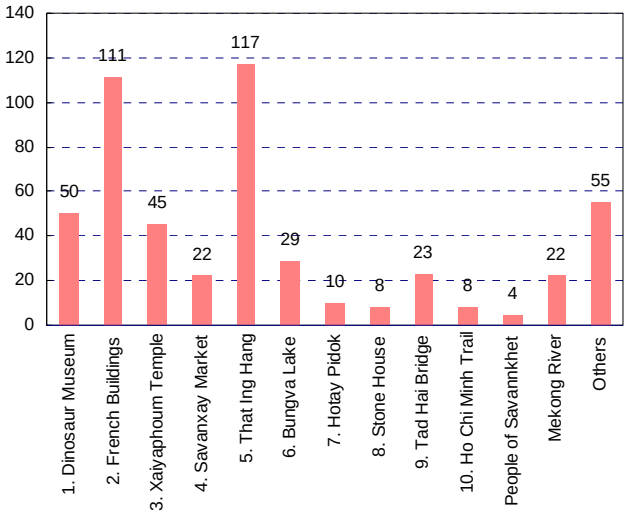
県東部地域にある Tad Hay Bridge、Ho Chi Minh Trail についても、公共交通機関が整っていないにも関わらず、観光客の 10%程度が訪れており、その半数程度は高い評価をしていることは、将来的な潜在力があることを示唆している。

最も印象深い観光サイト：That Ing Hang とコロニアル建築の両者が拮抗する結果となった。出身地別の分析では、タイからの観光客は That Ing Hang に高い評価を与えており、ヨーロッパおよびアメリカからの観光客はコロニアル建築の方を評価する者がより多かった。

サバナケットの観光宣伝は、当面、この 2 つのイメージを主軸として推進していくことが効果的である。

旅行に用いた観光情報源：ガイドブックが最も多く、約 70%の観光客が利用している。「役立つ」という評価も高い。

図 2.2.13 最も印象深い観光サイト



出典： JICA プロジェクトチーム

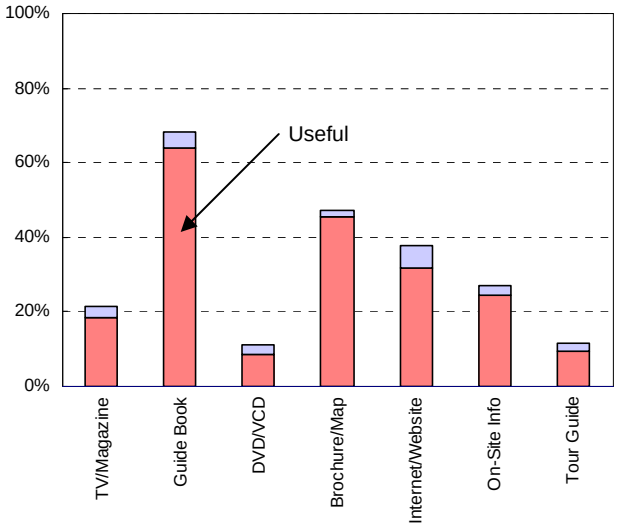
次いで観光案内所等で配布されているパンフレットや地図類が多く、約半数の観光客が利用している。本プロジェクトで作成し、配布したパンフレットも含まれていると考えてよい。「役立つ」という評価はガイドブック以上に高い。

インターネットも 40%弱の観光客が利用しているが、「役立たない」という評価をする比率が少し多い。これは、ニーズに合った情報提供の必要性を示唆している。

また、DVD や VCD といったマルチメディアは、実際には、観光客にあまり利用されていないことが明らかである。これらのマルチメディアは、観光フェアや、旅行企画販売を行う旅行代理店にはアピールするが、観光客自身がデスティネーションを決めたり、旅行情報を収集する際には、ほとんど使われていないことを認識する必要がある。

この結果からは、1）旅行ガイドブック編集者へアプローチ、2）パンフレットや地図類の更新と適所での配布、3）

図 2.2.14 利用した観光情報源とその評価

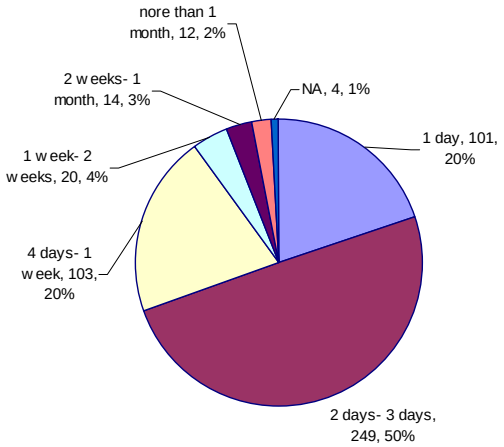


出典： JICA プロジェクトチーム

役に立つ観光ウェブサイトの構築、4）観光サイトでの情報提供、5）テレビや新聞等のメディアをとおした観光情報の発信（第 2 年次の FAM Trip で行ったような）が重要な観光情報の提供チャンネルだと言え、県の観光開発計画に反映させる必要がある。

サバナケットでの滞在日数：冒頭で述べたようにタイ人やベトナム人の回答が少ない点には注意が必要であるが、意外と長く滞在する観光客が多いことが判明した。1 日しか滞在しない者（通過客）は、全体の 20%に留まり、全体の半数は 2～3 日をサバナケットで過ごす。残りの 30%はそれ以上滞在する。

図 2.2.15 サバナケットでの滞在日数

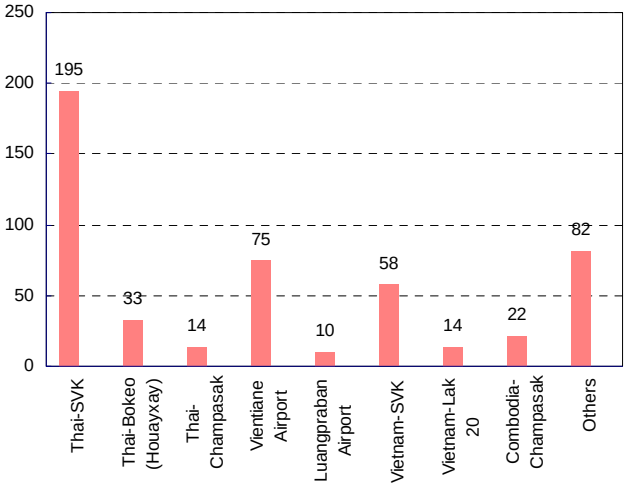


出典： JICA プロジェクトチーム

これにはタイのビザ取得には 2～3 日を要するといった、サバナケットの観光サイト自体の魅力からではない外的要因もあるが、上記で示した市内の観光サイトの高い訪問比率は、これらの数日間滞在する観光客の行動の結果だと理解すべきであろう。サバナケット郊外や、サバナケットの町からの日帰圏観光ルートが、移動手段や観光客の受入れ体制を含めて適正に整備され、宣伝されれば、より多くの観光客が訪れるようになる可能性が高い。

入込み観光客のルート：観光客のルートを推測するため、入国ポイントを確認してみたい。第 2 メコン橋を使いタイからサバナケットへ入国した者が最も多く 195 人（38.8%）であった。また、ベトナムからサバナケットへ入国した者は 58 人（11.5%）であった。この両者で約半数を占め、残りの半数はビエンチャンやチャンパサックを経由してサバナケットに来た観光客である。この比率を国際観光客一般において適用できるものとすれば、サバナケットでの入国者数の約 2 倍の観光客がサバナケットに来ているものと考えられる。

図 2.2.16 入国ポイント



出典： JICA プロジェクトチーム

観光客の支出：サバナケットを訪れる観光客がどの程度の経済効果をもたらすかを推測するため、インタビュー調査では観光客の支出状況も質問した。しかし、観光客の旅行タイプは多様であり、誰もが毎日の支出金額を記憶しているわけではない。むしろ、記憶していないのが普通である。例えば、パッケージツアー参加者に交通費や宿泊費を聞いても回答できないし、

友人らと一緒に車で旅行している観光客に交通費を聞いても回答できないのが当然である。

従って、インタビュー調査では、概念が明確で比較分析が可能な、一日あたりの食事代、サバナケットでの土産品等の買い物の 2 項目についてのみ質問した。その上で、宿泊費を 1 泊あたり 10 ドルと仮定して算出したのが下表に示す観光客支出である。

表 2.2.8　サバナケットの観光客の支出（LAK）

観光客セグメント	平均 滞在日数	一日あたり 食事代	一泊あたり 宿泊費	土産品等の 買い物	一人あたり 合計
ヨーロッパおよびアメリカ	3.00	75,500	85,000	58,800	455,300
アジア（タイ、ベトナム以外）	3.00	48,000	85,000	205,000	519,000
タイおよびベトナム	2.20	96,500	85,000	206,500	520,800
ラオス	3.00	101,000	85,000	326,000	799,000
全体	2.74	82,000	85,000	127,000	499,580

註：　宿泊費は、1 泊あたり 10 ドルと仮定、一人あたりの合計は滞在期間をとおしての合計
出典：　JICA プロジェクトチーム

この結果は、出身地別観光客の支出傾向と、観光客一人あたり少なくともどの程度の経済効果が見込めるかを示している。ヨーロッパおよびアメリカからの観光客は、サバナケットではバックパッカーが多くを占めることから、土産品等の買い物を控える傾向がある。しかし、平均で LAK 60,000 程度の買い物はしていることから、持ち運びに支障のない魅力的な物を創り出せば、経済効果を期待できると同時に、サバナケットの観光宣伝にも寄与する。

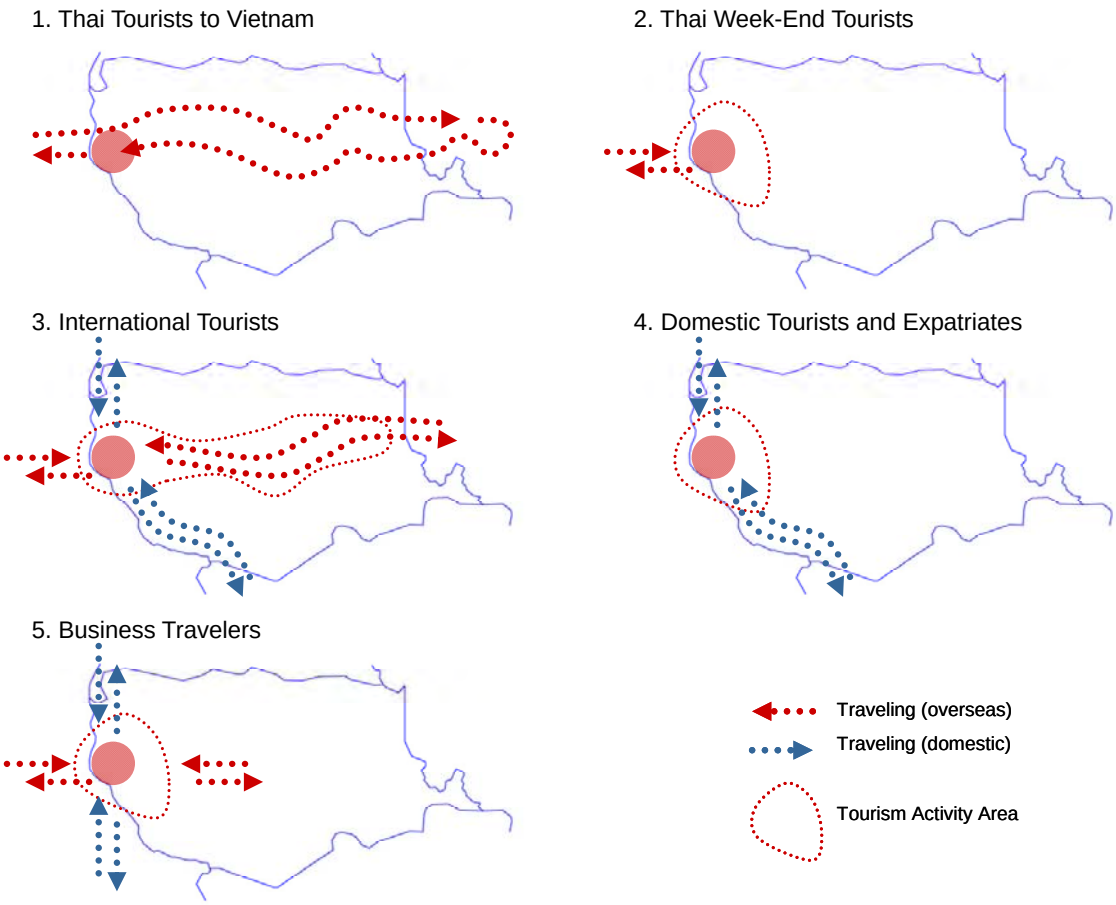
特に、郡部の観光サイトで観光客は、飲料水ボトルを買うくらいしか支出しようがないのが実情である。サバナケット県観光局や郡の観光コーディネーターは、支出に値する観光体験（民謡や芸能を含む）の企画や小物の民芸品開発により、地域コミュニティへ経済効果をもたらす工夫を指導・育成することが求められる。

（2） サバナケットの主要観光客セグメント

旅行者満足度調査の結果をサバナケットの観光開発および観光振興に有効に生かすためには、同時に、サバナケットへの主要な観光客セグメントと行動パターンを認識する必要がある。

サバナケットへの観光客を下図に示すように 5 タイプの主要なセグメントに分類した。

図 2.2.17 サバナケットの主要観光客セグメントとツアールート



出典： JICA プロジェクトチーム

各セグメントの特徴と 2008 年の観光統計[2]に基づいて推計した人数規模を下表に示す。

[2] ラオスとサバナケット県の観光統計（2000-2009）の抜粋を巻末の Appendix-6 に示す。

表 2.2.9　サバナケットの主要観光客セグメントの特徴と人数規模

	観光客セグメント	特徴	推計人数（2008 年）
1	Thai Tourists to Vietnam	✓ 旅行会社が手配したバスでベトナムへ直行 ✓ ベトナム訪問の帰路にサバナケットを訪問 ✓ そのため、1 回の旅行でラオスに 2 度入国する ✓ サバナケットでの滞在は 1 泊ないしは 1 日のみ ✓ That Ing Hang、Savanxay Market、土産品店へ立ち寄る ✓ バスツアーは比較的安価なため、サバナケットでの滞在時間延長は容易ではない	約 82,000 人
2	Thai Week-End Tourists	✓ フェリー、バス、自家用車等、様々な手段で訪問 ✓ 目的は仏教寺院参拝、買い物、親戚訪問等多様である ✓ 期間は日帰りか 1～2 泊程度 ✓ 由緒のある寺院、美しい寺院等を好んで訪問する ✓ タイでは珍しい民芸品、産品も好まれる ✓ カジノ目的の場合は他の観光サイトへ行くことは難しい（2008 年の観光統計ではまだ含まれていない）	約 82,000 人
3	International Tourists	✓ 普通は、サバナケットをデスティネーションとして訪れるのではなく、移動の中継点として滞在する ✓ ビザ取得や休息のため 1～3 泊程度滞在する者が多い ✓ 第 2 メコン橋や Den Savan 国境を陸路で移動する旅行者の多くはバックパッカー等の節約旅行者 ✓ 少数だが、飛行機や旅行会社手配の車で移動する個人旅行者も休息のため滞在する（より短期の滞在）	約 30,000 人
4	Domestic Tourists and Expatriates	✓ ビエンチャンやパクセ等から親戚や友人の訪問のため滞在し、地方の観光サイトにも足を運ぶ ✓ ビエンチャン在住の外国人も南部への旅行の際に短期で滞在する ✓ 土地の名産を味わったり、土産に買うことが多い	約 30,000 人
5	Business Travelers	✓ 国内外からビジネス目的でサバナケットに滞在 ✓ 食事や娯楽を楽しむ ✓ 週末が重なれば近郊の観光サイトへ足を運ぶこともある	N.A.

註：　推計人数規模は 2008 年観光統計といくつかの仮定に基づき JICA プロジェクトチームが算出
出典：　JICA プロジェクトチーム

各観光客セグメントの人数規模の推計方法、仮定条件は以下のとおり：

Thai Tourists to Vietnam	サバナケットにおける 2008 年のタイ人入国者は 308,307 人；その内約 80%が観光ないしは友人・親戚訪問（VFR）目的の入国＝246,645 人；約半数がベトナムへ直行するが彼らは 2 度入国しているので実数は 1/3＝約 82,000 人 （x + 2y = 246,645; x = y）
Thai Week-End Tourists	同様の方法で約 82,000 人
International Tourists	2008 年のサバナケットにおける 2008 年の外国人入国者（タイ、ベトナムを除く）＝15,530 人；旅行者満足度調査の入国ポイントからほぼ同数の旅行者はサバナケット県以外で入国；15,530×2＝約 30,000 人
Domestic Tourists	根拠となるデータがないが外国人旅行者と同数以上とし約 30,000 人
Business Travelers	根拠となるデータがないため推計していない

（3） サバナケット県の観光サイトにおける入込み観光客の推計

上記の主要観光客セグメントの検討結果に旅行者満足度調査の結果を適用し、サバナケット県への観光客がどの地域の観光サイトにどの程度訪れているかを机上で推計してみた。

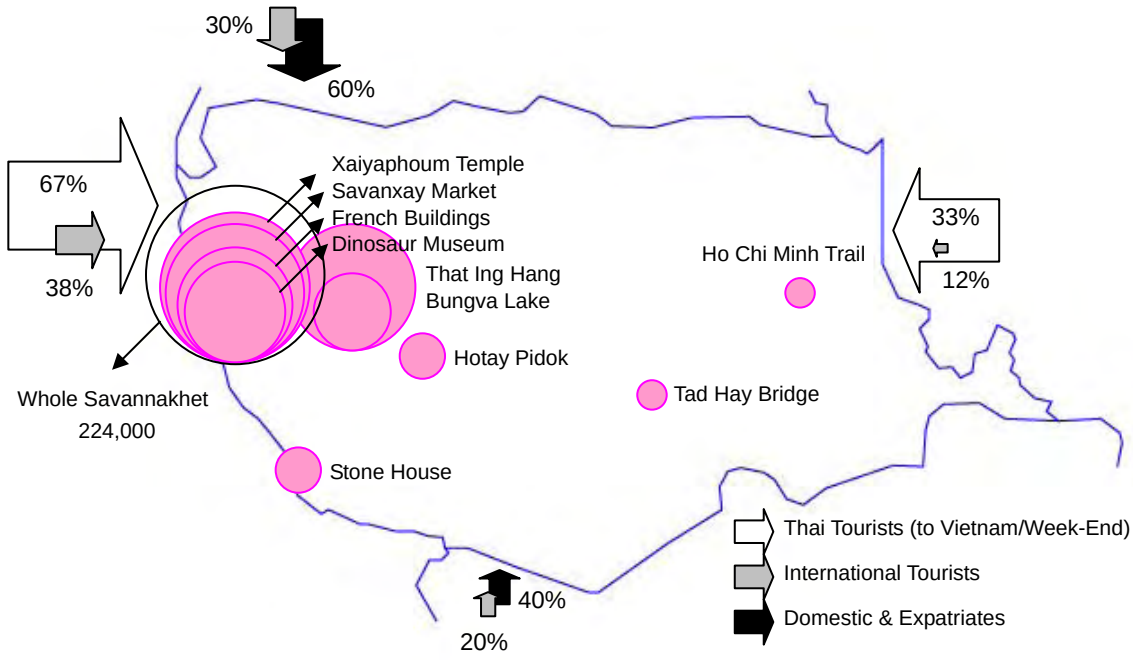
表 2.2.10 サバナケット県の観光サイト入込み観光客数の推計（2008 年）

観光サイト	Thai Tourists to Vietnam	Thai Week-End Tourists	International Tourists	Domestic Tourists and Expatriates	Total
Whole Savannakhet	82,000	82,000	30,000	30,000	224,000
Dinosaur Museum	0	41,000	15,000	15,000	71,000
French Buildings	0	53,300	19,500	19,500	92,300
Xaiyaphoum Temple	57,400	57,400	21,000	21,000	156,800
Savanxay Market	49,200	49,200	18,000	18,000	134,400
That Ing Hang	41,000	41,000	15,000	15,000	112,000
Bungva Lake	0	24,600	9,000	9,000	42,600
Hotay Pidok	0	8,200	3,000	3,000	14,200
Stone House	0	8,200	3,000	3,000	14,200
Tad Hay Bridge	0	0	3,000	3,000	6,000
Ho Chi Minh Trail		0	3,000	3,000	6,000

註： 2008 年観光統計を考慮しつつ、主要観光客セグメントの検討、旅行者満足度調査の結果を基に JICA プロジェクトチームが推計
入国者統計には観光目的以外の者も含まれているが、本推計では、ビジネス（行商を含む）、公用旅行者等を除外している

出典： JICA プロジェクトチーム

図 2.2.18 サバナケット県の観光サイト入込み観光客の推計分布（2008 年）



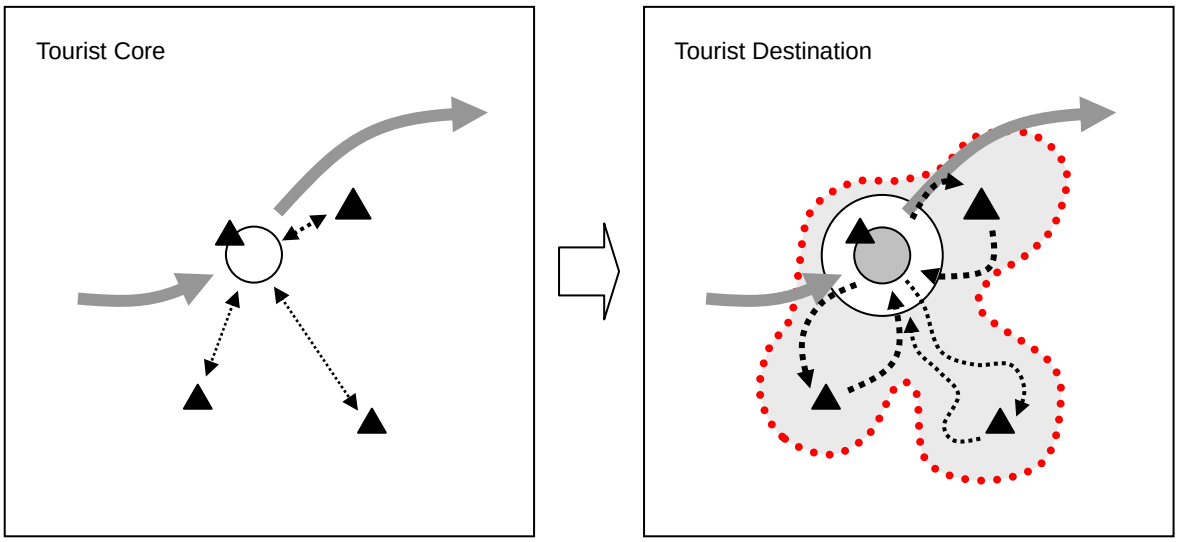
註： 2008 年観光統計を考慮しつつ、主要観光客セグメントの検討、旅行者満足度調査の結果を基に JICA プロジェクトチームが推計
入国者統計には観光目的以外の者も含まれているが、本推計では、ビジネス（行商を含む）、公用旅行者等を除外している

出典： JICA プロジェクトチーム

（4）　サバナケットの観光開発と観光振興の優先的方向性

これらの主要観光客セグメントの分類と人数規模の推計からは、1）タイ人週末観光客、2）国際観光客、3）国内および在留外国人を優先セグメントとして、サバナケットの市内および近郊、サバナケットの町からの日帰り圏の観光開発および観光振興を推進することの優先性が示唆される。サバナケットの町は、どのセグメントにとっても、既に旅行の交差点（Core）となっており、多くの旅行者が頻繁に往来し、滞在している。市内、近郊、日帰り圏の観光サイトを開発・振興することで、豊かな観光サイトやアトラクションを有する観光目的地（Destination）へ変貌させることが必要である。世界遺産レベルの観光資源がなくとも、世界の多くの主要観光地がこの過程を経て成長してきた。

図 2.2.19 観光目的地への発展プロセス



出典：　JICA プロジェクトチーム

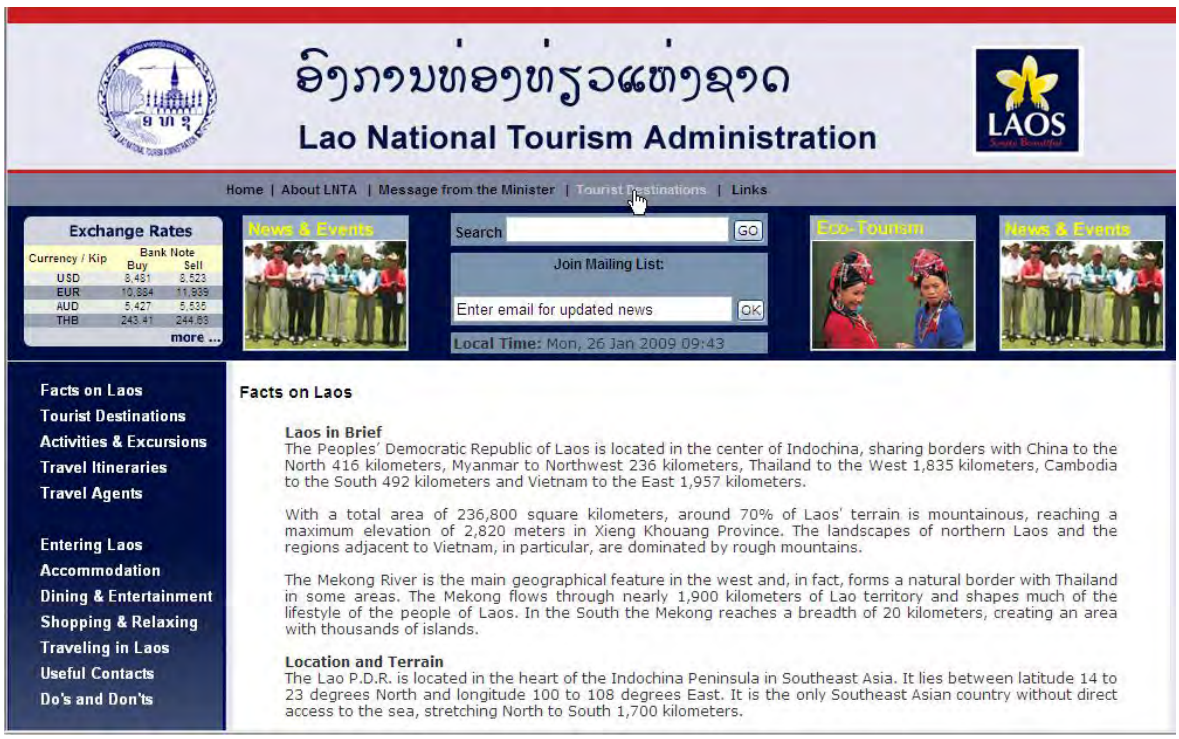
もうひとつは、国際観光客には知名度が高く、関心も高い県東部のホーチミン・ルートを活用した観光サイト開発を段階的に進めることも必要である。ADB プロジェクトによる Phine 郡の観光拠点を生かし、観光サイトへのアクセス手段の準備や観光客の受入れ体制を整えることで、旅行者満足度調査の結果からわかるように、現在 10%程度の旅行者が訪れているサイトへの訪問客を数倍に増やすことは難しくない。

■［Task 30］　国家観光庁ウェブサイトの改善・要員の研修（現地再委託）

第 2 年次から追加された LNTA ウェブサイトの改善に係るコンポーネントは、2008 年 5 月 20 日付けで Cyberia 社と契約し、現地再委託により実施した。プログラム開発を 2008 年 9 月下旬に完了し、その後、要員の研修、LNTA によるコンテンツの修正と更新を経て、新しい LNTA ウェブサイトが 2008 年 12 月から一般公開されている。LNTA ウェブサイトの URL は以下のとおり：

http://www.tourismlaos.org（http://www.tourismlaos.gov.la からもリダイレクト可）

図 2.2.20 観光庁ウェブサイトのインデックス・ページとメイン・ページ



出典： Cyberia Co., Ltd.

■［Task 18］ 年次報告書（第 2 年次）の作成・提出

第 2 年次の活動結果をとりまとめ、年次報告書（第 2 年次）を作成した。

2.3 活動結果（第 3 年次）

■［Task 19］ サバナケット県の観光情報の整備・提供に関する準備実施

第 2 年次に観光パンフレット、ポスター、観光案内標準ファイルを試行配布したホテル（5）、ゲストハウス（5）、旅行会社（Lao Airline を含む）（6）、レストラン（9）、観光関連サービス（4）、その他（Eco Guide Unit、Bus Station、SIM カレッジの 3 組織）を対象とし、2009 年 3～4 月に質問票を用いて利用状況をモニタリングした。

その結果は、後述する 2010 年 1 月に実施した［Task 23］観光情報活用状況のモニタリングにおいて、比較して記述する。

■［Task **］ 第 2 回合同調整委員会（JCC）の開催

2009 年 6 月 10 日（水）、サバナケットに於いて第 2 回合同調整委員会（JCC）を開催した。

名称：	第 2 回合同調整委員会（JCC）
場所：	サバナケット（PTD 内 JICA プロジェクトチームオフィス）
時期：	2009 年 6 月 10 日（水）
目的：	1. 本プロジェクトの進捗を関係者で共有する 2. 前回 JCC で承認された PDM に基づいてプロジェクトの成果を評価する 3. PDM の内容が適切であるかどうか協議する
出席者：	Mr. Saly Phimphinith , Director General of Marketing and Promotion, LNTA（議長） ラオス側： Mr. Soukaseum Bodhisane , Vice Chairman of LNTA Mr. Somchith Inthamith, Director General, DIC, Ministry of Planning and Investment Dr. Souphanh Keomixay, Vice Governor, Savannakhet Province Mr. Bountheung Xayavong, Deputy Director, PTD Savannakhet Mr. Syha Phannavong, Deputy Director, PTD Savannakhet Mr. Somsanouk Budtakhod, Head of Marketing and Promotion Division, PTD Savannakhet Mr. Anousack Prasith, Marketing and Promotion Division, PTD Savannakhet 日本側： Mr. Hiroaki Takashima, Resident Representative, JICA Laos Office Mr. Ryosuke Isobe, Assistant Resident Representative, JICA Laos Office Mr. Soulivanh Souksavath, Assistant Program Officer, JICA Laos Office Mr. Tetsuo Isono, Chief Advisor, JICA Project Team Ms. Darling Sithiveth, Research Assistant, JICA Project Team

JCC の会議に先立ち、参加者は、サバナケット市内の観光サイト（Savannakhet Downtown）を約 1 時間体験し、会議に臨んだ。

会議では、サバナケット県観光局からこれまでのプロジェクトの実施経過が報告され、PDM の各指標との比較も説明された。

続いて行われた参加者による討議では、プロジェクトがほぼ順調に進んでいることを各参加者が確認したと共に、いくつかの点で更なる努力が必要だという意見が出された。会議での重な意見は以下のとおり。

- 観光関連産業の組織化はされているものの、実態として観光振興を推進していく体制には至っていない。更なる民間セクターの観光振興への関与が必要である。

- 本プロジェクトは地域観光振興が貧困削減をもたらすことも意図されていた。観光が地域コミュニティへもたらす経済効果に対しても配慮が必要である。
- 観光パンフレットやポスターにより、多くの観光サイトへ訪れる観光客が増えていることは喜ばしいことであるが、これらの観光情報を持続的に制作・更新していく体制を構築することが不可欠である。
- 観光サイトの整備やアクセスルートの整備も重要である。

上記の意見の中には Project Design Matrix（PDM）には含まれていない活動もあるが、相互に関連性が高く、プロジェクトの目標である「観光振興のための仕組みが構築される」のためには不可欠な要素であると考えられた。

サバナケット県の観光産業、とりわけ旅行会社は、整備された国道 9 号線を移動するタイ人観光客の送迎を主要なビジネスとしており、県内の観光サイトを訪れる観光客を主要な顧客と考えていない。これは、アクセスも悪く、観光サイトの受入れ体制も不十分であることから、限られた顧客しか期待できないことに因る。県内の観光サイトの受入れ体制が強化され、アクセスも改善され、多くの観光客が訪問するようになれば、サバナケットを拠点とする観光産業もこれらの観光サイトに目を向けるようになるであろう。限られた観光客の送迎を価格競争で奪い合っている現状では観光振興のための仕組みを構築できる状況にない。

観光サイトの本格的な整備やアクセス道路の整備は本プロジェクトの枠組みではできないが、今後、プロジェクトは、観光サイトの受入れ体制（Tourist Facilitation）の強化を図り、サバナケットを拠点とする民間セクターがビジネスとしても注目するようになり、官・民・地域コミュニティの 3 者の連携強化を目指すことが必要と考えられた。

□［Task 17］ 旅行者観光情報の整備（更新および追加）

観光情報の利用状況のモニタリング、旅行者満足度調査の結果のレビュー、第 2 回合同調整委員会（JCC）の討議等の結果を受け、観光パンフレット等の観光情報の改定と追加を行った。

表 2.3.1 旅行者観光情報の更新および追加

	種類	形態	配布先	言語・作成部数
1	観光パンフレット（更新） 1. Savannakhet Downtown 2. Savannakhet Outskirts 3. Champhone Circuit 4. Mekong South Circuit 5. Ho Chi Minh Trail 6. Savanh Food 7. Handicrafts & Souvenirs	A4、3 つ折 カラー	サバナケット： 観光案内所、宿泊施設、レストラン、旅行会社、空港、バスターミナル等	英語：各 3,000 部 タイ語：各 2,000 部 ラオス語：各 1,000 部
	観光パンフレット（追加） 8. Discover Savannakhet （県全体の観光サイト紹介）	A4、3 つ折 カラー	ビエンチャン（LNTA）、カムアン等	英語：2,000 部 ラオス語：1,000 部
2	観光案内標準ファイル（更新） （観光サイト、交通、宿泊、食事等の記載された観光情報ファイル）	ファイル： A4、白黒、40 頁	サバナケット県内各地： 宿泊施設、レストラン、旅行会社、空港（航空会社）、観光サイト等	英語（ラオス語の説明付）：50 部
3	観光サイトマップ 1. Champhone Circuit	土台：木製 看板：木製 120×180 cm	Turtle Lake、Taleo Old Temple、Hotay Pidok、Monkey Forest	英語、ラオス語併記 4 サイト
4	観光サイト道路標識（追加） 1. Champhone Circuit	スチール製 40×120 cm	Taleo Old Temple 2 ヶ所 Hotay Pidok 2 ヶ所	英語・ラオス語併記 4 ヶ所、6 本、6 枚

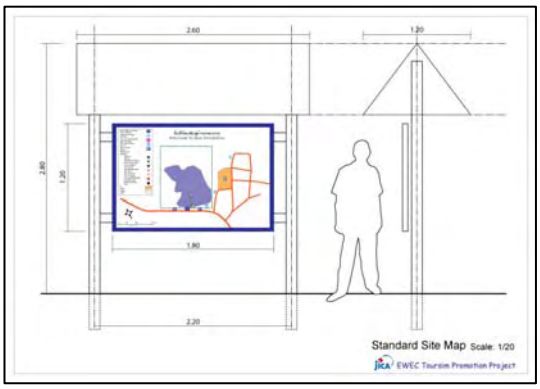
出典： JICA プロジェクトチーム

観光パンフレット：内容の更新を行うと共に、英語版のルートマップにも地名のラオス語表記を加える等の利用者からの意見を反映させた改定を行った。また、観光フェア等で利用する動機付け用のサバナケット県総合観光パンフレットを追加作成した。後者は、JICA プロジェクトチームの技術指導の下、サバナケット県観光局職員が主体となって制作した。

観光案内標準ファイル：サバナケット県観光局職員らによって、2009 年 3 月～5 月にかけて情報の更新作業が進められ、5 月末にはこれまで配布された各組織に改訂版が届けられた。

観光サイトマップ：観光サイトの受入れ体制の強化の一環として、Champhone 周遊観光ルートの 4 つの観光サイトで、住民らによる観光サイトマップの制作を開始した。JICA プロジェクトチームとサバナケット県観光局でサイズや凡例等の基本要素を検討した上で、各サイトの村が、眺望の良い地点、飲食サービス、民芸品活動等を主体的に調査し、観光サイトマップを制作した。マップは、第 2 年次に制作した観光サイト説明看板（Interpretation Board）に隣接して設置された。

図 2.3.1 観光サイトマップ



出典： JICA プロジェクトチーム

■［Task 20］ ツーリスト・センターを利用した観光情報の発信

2009 年 9 月の時点で、基本的な観光情報として、追加・更新分を含む観光パンフレット、ポスター、観光案内標準ファイルの 3 種類が作成された。

サバナケット県内の公的な観光案内所は、第 2 メコン橋観光案内所、サバナケット県観光局観光案内所（ラオス国および中央 5 県観光案内所を兼ねる）、Savannakhet Eco-Guide Unit 観光案内所（SNV の支援により設置されトレッキングの運営も行っている）の 3 ヶ所である。

しかし、これらの公的な観光案内所を訪れる観光客は、サバナケットへの訪問客の限られた一部である。多くの訪問客は、観光情報に接することなく旅立ってしまう可能性も高い。PTD は、より多くの訪問客へ観光情報を提供し、サバナケット県の観光を体験して楽しんでもらうと同時に、時間と金を費やしてもらうことを目的として、民間の観光関連産業にも観光情報の発信の協力を呼びかけた。2009 年 9 月時点で、これらの観光情報の発信は下表に示すように、多くの組織に広がっていた。

表 2.3.2 観光情報の発信

	組織	箇所数	パンフレット	ポスター	観光案内標準ファイル
	第 2 メコン橋観光案内所	1	✓	✓	✓
	サバナケット県観光案内所	1	✓	✓	✓
	EGU 観光案内所	1	✓	✓	✓
	ホテル（市内）	6	✓	✓	✓
	ゲストハウス（市内）	6	✓	✓	✓
	ゲストハウス（郡部）	2		✓（一部）	✓
	レストラン（市内）	6	✓	✓（一部）	✓
	レストラン（郡部）	1		✓	✓
	旅行会社（市内）	4	✓	✓	✓
	観光関連サービス（市内）	2	✓	✓	✓
	観光サイト（郡部）	10		✓	✓
	その他（市内）	2	✓	✓	✓
	LNTA 観光案内所（ビエンチャン）	1	✓	✓	
	カムアン県観光案内所	1	✓		
	チャンパサック県観光案内所	1	✓		

出典： PTD Savannakhet、JICA プロジェクトチーム（2009 年 9 月）

また、後述する［Task 21］サバナケット県観光ウェブサイトの整備において、LNTA ウェブサイトからも、最新版の観光パンフレット、観光案内標準ファイルの電子ファイルをダウンロードできるようになっている。

□［Task 9］　LNTA 及び PTD 職員による観光関連サービス向上研修（反復実施）

（1） 観光マーケティング研修およびフロントデスク研修

第 2 年次に実施した LNTA 及び PTD 職員による観光関連サービス向上研修の定着を図るため、以下の観光関連サービス向上研修を実施した。

名称：	観光マーケティング研修
場所：	サバナケット（Restaurant Lao Lao Der 会議室）
時期：	2009 年 7 月 23 日～7 月 24 日（木～金）（2 日間）
目的：	サバナケット県観光関連産業幹部社員のマーケティング能力と意識の向上
講師：	LNTA、PTD、JICA プロジェクトチーム（現地傭人を活用）
受講者：	サバナケット県内の旅行会社、ホテル、ゲストハウス、レストランの幹部社員（27 名）
内容：	観光マーケティング研修プログラムを参照

名称：	フロントデスク研修
場所：	サバナケット（Restaurant Lao Lao Der 会議室）
時期：	2009 年 8 月 10 日～8 月 14 日（月～金）（5 日間）
目的：	サバナケット県内のホテルおよびゲストハウスのフロント業務の技術向上
講師：	LNTA、PTD、ラオス国立大学観光・ホテル経営学部 SV、JICA プロジェクトチーム
受講者：	サバナケット県内のホテル及びゲストハウス（30 名）
内容：	フロントデスク研修プログラムを参照

観光マーケティング研修は、PTD が熱望するサバナケットの観光関連産業によるツアープログラムの企画を具体的なテーマとして実施した。LNTA の観光マーケティング・プロモーション局とも調整を図り、前提となるラオスの観光振興政策に関するレクチャーも行った。

表 2.3.3　観光マーケティング研修プログラム

Date	Time	Subjects	Lecturers	Note
7/23	Morning	Opening General Tourism Policy	Ms. Bounmy Khantivong Mr. Saly Phimphinith	PTD LNTA
	Afternoon	Marketing Analysis Product Development Group Exercise 1	Mr. Bounteung Xayavong Mr. Viraphan Rasphone	PTD JICA Project Team PTD+JICA Project Team
7/24	Morning	Presentation and Discussion Pricing Selling Arrangement	 Mr. Bounteung Xayavong Mr. Viraphan Rasphone	 PTD JICA Project Team
	Afternoon	Group Exercise 2 Presentation and Discussion Summary and Evaluation Closing	 Ms. Bounmy Khantivong	PTD+JICA Project Team LNTA, JICA Project Team PTD

出典：　PTD Savannakhet、JICA プロジェクトチーム

観光マーケティング研修では具体的な観光ツアープログラムの作成演習を盛り込み、3 つのグループに分かれた参加者は、1）サバナケット市内観光、2）サバナケットからの日帰り観光、3）国道 9 号線沿いの観光ツアー、の 3 種類のツアープログラム案を作成した。

表 2.3.4　観光マーケティング研修の演習成果品

Group 1 (Savannakhet City Tour)		
Day 1	09:00 – 09:30	Pick up tourists at Friendship Bridge
	09:30 – 11:30	That Ing Hang
	11:30 – 12:00	Departure That Ing Hang and pass Bungva Lake
	12:00 – 13:30	Lunch at Lao Lao Der Restaurant
	13:30 – 14:30	Dinosaur Museum
	14:30 – 16:00	Vat Xaiyaphoum (Take picture, Basi from monk)
	16:00 – 17:00	City Tour (French old houses)
	17:00 – 18:30	Check-in Nanhai Hotel
	18:30 – 20:00	Dinner at Nanhai Hotel (Traditional dancing and entertainment)
Day 2	07:00 – 08:00	Breakfast at Nanhai Hotel
	08:00 – 09:30	Thonglahasinh (Cotton Weaving Atelier)
	09:30 – 10:30	Dao Heuan Duty Free Shop
	10:30 – 11:00	Free time
	11:00 – 13:30	Lunch at Lao Lao Der Restaurant
	13:00 – 14:30	Savanxay Market
	14:30 – 15:30	ODOP Shop
	15:30	Send tourists to Friendship Bridge 2
Price:		1,640 Baht
Services included:		VIP bus, Guide, Food, Hotel, Commissions

Group 2 (Tour Program along Route No. 9)		
Day 1	08:00 – 11:00	Pick up tourists at Hoontip hotel and drop at Phalanxay
	11:00 – 13:00	Lunch at Dok Keo Restaurant
	13:00 – 14:30	Tad Hay Bridge and Katan ethnic group
	14:30 – 16:00	Samataek Rapid
	16:00 – 17:00	Phine Town and Lao-Vietnam Monument
	17:00 – 18:00	Check-in Sysamphon Guest House and dinner
Day 2	06:30 – 07:30	Breakfast
	07:30 – 09:00	Visit Old Sepon
	09:00 – 10:00	Old mining at Ban Dong village
	10:00 – 12:00	Lam Son Museum and Cable bridge
	12:00 – 13:00	Lunch at Heuy Restaurant (Den Savan)
	13:00 – 14:00	Sakhoy Waterfall
	14:00 – 16:00	Virabouly
	16:00 – 17:00	Stone Pillar
	17:00 – 18:00	Gold Mining Company
	18:00 -	Check-in Guest house in Virabouly
Day 3	06:30 – 07:30	Breakfast
	07:30 – 09:00	Dinosaur Foot Print at Phalanxay
	09:00 – 11:00	Savannakhet
	11:00 – 12:30	That Ing Hang and ODOP shop
	12:30 – 13:30	Lunch at Lao Lao Der Restaurant
	13:30 – 15:00	Savanxay Market
	15:00 – 17:00	Dinosaur museum and Duty Free Shop
	17:00	Send tourists to Friendship Bridge 2
Price:		8-15 persons 8,000 Baht 7,000 Baht (Children) 16-30 persons 7,500 Baht 6,000 Baht (Children) 31-45 persons 6,000 Baht 5,000 Baht (Children)
Services included:		Air-conditioned VIP bus, Drinking water and chilled towel, Candy, Insurance, Accommodation (2 persons in one room), Food, Guide

Group 3 (One-Day Tour to Champhone)	
07:00	Pick up tourists at Friendship Bridge 2
07:30	Go to Champhone
09:00	Sui Lake
09:30	Go to Monkey Forest (30 minutes)
10:00	Visit Monkey Forest
10:45	Go to Hotay Pidok
11:15	Visit Hotay Pidok
12:00	Lunch at local restaurant in Nong Lamchan Village
13:00	Visit Taleo Old temple
13:30	Go to Turtle Lake
14:00	Visit Turtle Lake
15:00	Go to Kengkok village
15:30	Visit Kengkok market
16:30	Go back to Savannakhet
17:30	Send tourists to Friendship Bridge 2
Price:	1,500 Baht (8-10 persons)
Services included:	Van, Guide, Drinking water and child towel, 1 meal, Commissions
Services not included:	Drinks not provided by organizer, Travel insurance

出典：　JICA プロジェクトチーム

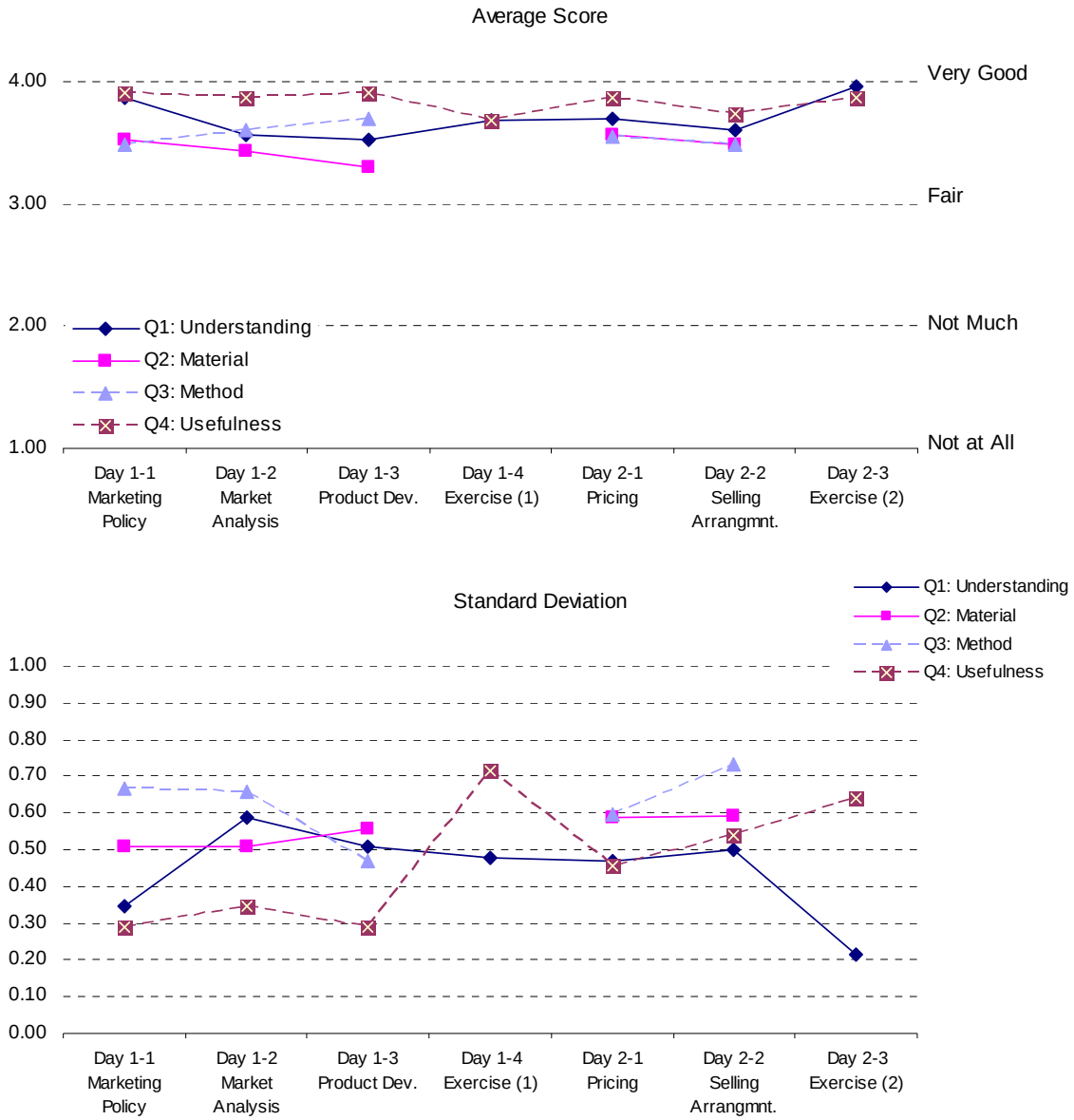
これらの演習成果品を見て気づく点は、第 1 日目にサバナケットの観光市場分析の講義をしたにも関わらず、どのグループも対象としている客がタイ人で、どのグループも第 2 メコン橋に顧客を送迎していることからわかるように、ベトナムへ向かうタイ人観光客の送迎パターンから抜け切れていない。この場合、タイ側で顧客を送り出す仕組みが必要であり、タイの旅行会社の下請けになり兼ねない。

旅行者満足度調査の結果から、Champhone 郡の観光サイトへも、県東部の国道 9 号線沿いのサイトへも国際観光客が訪れており、その半数は高い評価をしている。サバナケットの町を出発地点としてツアープログラムを組むことは可能と考えられる。

次に気づく点は、例えば国道 9 号線のプログラムにも関わらず That Ing Hang や Savanxay Market での買い物の時間を多く割いているように、ツアープログラムが何に焦点を当てているかが明確ではなく、魅力のないものになっている点を指摘できる。That Ing Hang のようなポピュラーな観光サイトには観光客の半数以上が訪れており、他のエリアのツアープログラムに敢えて組み込む必要はないであろう。

成果品は商品化レベルには達していないものの、演習をとおして参加者の理解は高まった。下図に示すように、参加者の理解度は、講義と演習を繰り返すごとに上昇した。

図 2.3.2　観光マーケティング研修の参加者の評価



出典：　JICA プロジェクトチーム

特に、演習-2 における理解度は、1 名を除き全員が Very Good と回答している。しかし一方で、マーケティング理論の講義に関しての有益性は異論が少ないものの、演習の有益性については必ずしもそうではない。観光関連産業の幹部の中にはツアープログラムの企画・販売に前向きではない者もいることが伺われた。

一方、フロントデスク研修は、県内のホテル、ゲストハウスのフロント業務のサービス向上を意図して実施した。

LNTA に併設された観光ホスピタリティ研修センターの講師に加え、ラオス国立大学観光・ホテル経営学部に派遣されている JICA の SV を講師として招き実施した。

表 2.3.5　フロントデスク研修プログラム

Date	Time	Subjects	Lecturers	Note
8/10	Morning	Opening	Mr. Syha Phannavong Mr. Tetsuo Isono	PTD, JICA Project Team
		General Tourism Policy	Mr. Syha Phannavong	PTD
		Public Relations	Mr. Syha Phannavong	PTD
	Afternoon	H1N1 Influenza		Health Department
		Hospitality	Mr. Syha Phannavong	PTD
		Front Desk Work 1	Mr. Katsumi Masuyama	NOUL (JICA SV)
8/11	Morning	Front Desk Work 2	Mr. Katsumi Masuyama	NOUL (JICA SV)
		Front Desk Work 3	Mr. Katsumi Masuyama	NOUL (JICA SV)
	Afternoon	Reservation and Booking	Mr. Katsumi Masuyama	NOUL (JICA SV)
		Practice for Booking	Mr. Katsumi Masuyama	NOUL (JICA SV)
8/12	Morning	Registration and Check-In 1	Mr. Veunxay Malavong	LNTA
		Registration and Check-In 2	Mr. Veunxay Malavong	LNTA
	Afternoon	Guest Communication	Mr. Veunxay Malavong	LNTA
		Check-Out	Mr. Veunxay Malavong	LNTA
8/13	Morning	Front Office Sales & Marketing	Mr. Katsumi Masuyama	NOUL (JICA SV)
		Practice for Complaints	Mr. Veunxay Malavong	LNTA
	Afternoon	Overall Practice (at Dao Savan Hotel)		NOUL (JICA SV)-LNTA
8/14	Morning	English Skill for Front Desk	Ms. Darling Sithiveth	JICA Project Team
	Afternoon	Summary and Evaluation		NOUL (JICA SV)-LNTA
		Closing	Mr. Tetsuo Isono Mr. Syha Phannavong	PTD, JICA Project Team

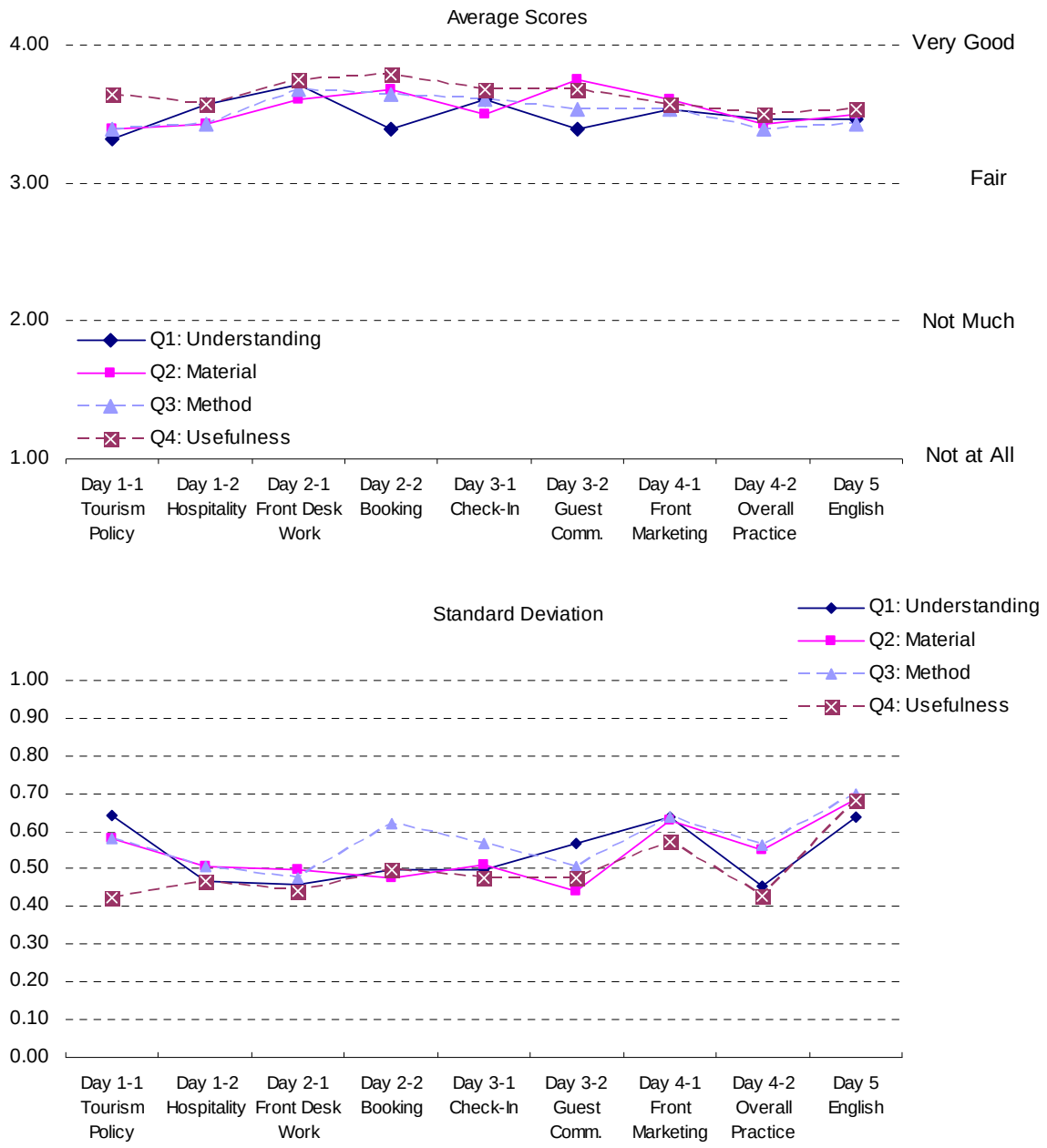
註：　JICA SV: JICA Senior Volunteer

出典：　PTD Savannakhet、JICA プロジェクトチーム

下図に示すとおり、フロントデスク研修に対する参加者の評価は、理解度、有益性共に低くはないものの、参加者のホテルやゲストハウスの立地や客層によってニーズが多様なことから、受け取り方にばらつきが見られた。観光政策やフロント業務に必要な英会話等がこれに該当する。例えば、サバナケット市内のホテルやゲストハウスでは、理解度と有益性共に、英会話は高く評価されたが、郡部のゲストハウスでは必要性がないと見解が分かれた。

一方で、フロント業務、予約受付、チェックイン、ゲスト対応等は、必ずしも自分たちの環境と同じではないはずだが、比較的共通して有益だと受け取られた。予約受付やゲスト対応のように、理解度が少し低いにも関わらず有益性が高いのは、全ての科目で実習を取り入れたことが影響していると思われる。

図 2.3.3　フロントデスク研修の参加者の評価



出典：　JICA プロジェクトチーム

5 日間という短期の研修では即時のサービス向上は期待できないかもしれない。しかし、小グループによる実習を多く取入れた研修は、参加者に仲間としての意識を醸成し、継続的な努力の必要性を学んだ点で意義がある。

PTD は、参加者の継続的なフォローアップや自主的な情報交換の機会創出を支援していくべきであろう。また、LNTA および PTD は、外部からの援助に頼らない研修実施のための財源確保を、真剣に考える段階にきている。

（2） 郡観光コーディネーター研修

観光サイトの受入れ体制（Tourist Facilitation）の強化、美化や環境保全、地域コミュニティの参画推進に対し、郡の観光コーディネーターが適切な管理・調整・指導を発揮できるようになることを目的として、郡観光コーディネーター研修を開催した。

この研修は、第 2 年次で観光開発によるネガティブな問題と対応策を検討してきた観光モラル向上委員会の成果を実地で適用することを意図し、同委員会と合同で開催した。

名称：	郡観光コーディネーター研修（第 3 回観光モラル向上委員会ワークショップを兼ねる）
場所：	サバナケット（Savan Saikong Resort 研修室）
時期：	2009 年 8 月 31 日～9 月 1 日（月～火）（2 日間）
目的：	郡観光コーディネーターの観光サイトの適正な管理・調整・指導能力の向上
講師：	PTD、観光モラル向上委員会（14 名）、JICA プロジェクトチーム
受講者：	サバナケット県 15 郡の観光コーディネーター（15 名）
内容：	観光コーディネーター研修プログラムを参照

表 2.3.6　郡観光コーディネーター研修プログラム

Date	Time	Subjects	Lecturers	Note
8/31	Morning	Opening Tourism Moral Promotion Group Discussion	Ms. Bounmy Khantivong Mr. Bounteung Xayavong	PTD PTD + MPC MPC + Coordinators
	Afternoon	Role of District Coordinators Administrative Issues Discussion	Ms. Bounmy Khantivong Mr. Tinkham + Ms. Sengathit	PTD PTD
9/1	Morning	Project Formation JOCA Project Contest Exercise: JOCA Project Contest Tourism Marketing	Mr. Syha + Ms. Vanvilay Ms. Darling Sithiveth Mr. Bounteung + Mr. Somsanouk	PTD JICA Project Team Coordinators PTD
	Afternoon	Tourism Business Supervision Closing	Mr. Khonphan + Mr. Khonsavan Ms. Bounmy Khantivong	PTD PTD

註：　MPC: Tourism Moral Promotion Committee

出典：　PTD Savannakhet、JICA プロジェクトチーム

この研修の成果は、第 2 回合同調整会議（JCC）で議論となった地域観光振興に寄与することが期待される。

□［Task 13］ LNTA、PTD の観光関連民間セクターとの連携体制構築の実施準備（継続）

第 2 回合同調整委員会（JCC）では、官民の連携体制強化には観光サイトのコミュニティも加えて強化する必要性がある点が指摘された。同委員会の翌日、Champhone 郡の 4 つの観光サイトにおいて、村人代表らを交えて下記のワーキング･グループ会合を開催し、官・民・地域コミュニティの連携体制強化のための意見交換を行った。

名称：	第 6 回ワーキング・グループ会合（観光サイトコミュニティとのワークショップ）
場所：	Champhone 周遊観光ルートの 4 つの村（Done Deng、Taleo Gao、Nong Lamchan、Dongmuang）
時期：	2009 年 6 月 11 日（木）
目的：	官・民・地域コミュニティ間の連携による観光振興の進め方を探る
講師：	LNTA、PTD、JICA プロジェクトチーム
参加者：	LNTA（Vice Chairman, DG of Marketing and Promotion）、PTD、ワーキング・グループを中心とした官民の代表者、各村の住民代表、JICA 事務所、JICA プロジェクトチーム
内容：	1. 各村長から観光客の現状と課題を報告 2. 観光振興が村の経済や産業へもたらす効果を討議 3. 村人らが可能な観光振興策について討議 4. 民間セクターからの要望や意見等

その後、Champhone 郡で、主に観光客の受入れ体制の強化を図るため、下記の観光サイトのコミュニティ支援活動を実施した。

表 2.3.7 観光サイトコミュニティ支援活動

Tourist Site / Village	Specific Activities	Common Activities
Turtle Lake / Done Deng Village	Turtle Feed Development by local experts Training for Turtle Feed Making (06-08/07/09) Village Tourist Map (08/08-09/09/09) Turtle Drawing Contest (08/09-30/09/09)	Identification Survey (24/06/09) Public Awareness Tourist Facilitation by providing signs (Non-verbal communication) - Clean WC - Food Shop - Drink Shop - Handicraft Shop - Local Guide Service
Taleo Old Temple / Taleo Gao Village	Additional Road Signs Village Tourist Map (08/08-09/09/09)	
Hotay Pidok / Nong Lamchan village	Village Tourist Map (08/08-09/09/09) Additional Road Signs Training for Food Service Improvement (10/09)	
Monkey Forest / Dongmuang Village	Village Tourist Map (08/08-09/09/09) Medical Plant Survey (22/08/09) Forest Guide Arrangement	

出典： JICA プロジェクトチーム

これらの支援活動のひとつひとつは小さなものであるが、各村が積極的に観光客の受入れ体制（Tourist Facilitation）を整えることで、観光客の満足度を高め、滞在時間を延ばし、観光支出の増大を図ることが可能である。

各観光サイトでの観光体験が豊かなものになってくれば、サバナケットを拠点とする民間の観光関連産業もビジネスとして注目するようになり、官･民･地域コミュニティの連携体制は、より強化されるであろう。第 3 年次の官民協働プロモーション活動としての FAM Trip 2 では、マーケティング研修の結果を実際に適用して実施することとした。

■［Task 21］　サバナケット県観光ウェブサイトの整備

第 2 年次に構築した LNTA の新ウェブサイトには、サバナケット県をはじめとする各県の紹介ページが含まれているが、内容は既存情報に基づいており、必ずしも最新で十分な情報とはなっていない。しかし、各県がそれぞれ独自のウェブサイトを別々に構築することは、ラオス全体の観光案内としては混乱を招く。LNTA の主導の下、各県が関連するページを更新していく体制を確立することが望ましい。

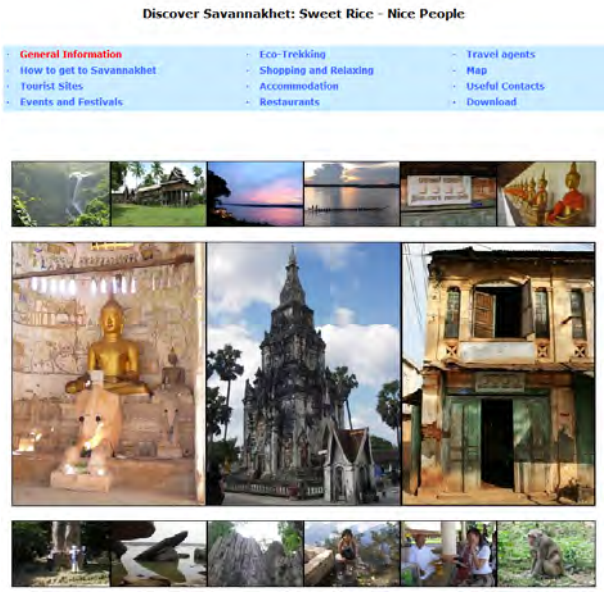
サバナケット県観光ウェブサイトの整備は、上記の趣旨に沿い、サバナケット県観光局職員が LNTA ウェブサイトのサバナケット県に関するページを更新･加筆していく方法を採用した。他県のモデルとなることも期待される。

先ず、観光マーケティング・プロモーション課を中心として、PTD の各セクションから計 5 名を選抜し、それにトレッキング･ツアーを運営している EGU の 1 名を加えた計 6 名に対し、第 2 年次に LNTA のウェブサイトを構築したコンサルタントによる技術研修を実施した。

名称：	観光ウェブサイト研修
場所：	サバナケット（JICA プロジェクトチームオフィス）
時期：	2009 年 7 月 27 日～7 月 29 日（月～水）（3 日間）
目的：	PTD スタッフにより LNTA ウェブサイトの関連ページの更新・加筆を可能とする
講師：	第 2 年次に LNTA ウェブサイトを構築したコンサルタント（Cyberia Co., Ltd.）（2 名）
受講者：	PTD（5 名）、Eco-Guide Unit（1 名）
内容：	画像処理、LNTA ウェブサイトマネージャーの使い方、ファイルのアップロード方法他

研修受講者は、更新・加筆するウェブサイト案を検討し、PTD 局長へのプレゼンテーションを行い、観光シーズンが始まった 2009 年 10 月には LNTA ウェブサイトのサバナケット関連ページの改定・加筆を完成させた。

図 2.3.4　LNTA ウェブサイトのサバナケット県インデックス・ページ



出典：　LNTA ウェブサイト

■［Task 22］ 半期活動報告書（第 2 号）の作成・提出

第 3 年次上半期の活動結果をとりまとめ、半期活動報告書（第 2 号）を作成・提出した。

■［Task 23］ 観光情報活用状況のモニタリングの実施

［Task 20］、［Task 21］で整備された観光情報の活用状況について、継続的なモニタリングを実施した。また、その結果に基づき、必要な改善、更新、追加、増刷等を行った。

（1）制作した観光情報

2010 年 1 月までに制作した観光情報は下表に掲げるとおりである。

表 2.3.8 制作した旅行者観光情報（2010 年 1 月時点）

	種類	形態	配布先	言語・制作部数
1	観光パンフレット （既存エリア別の改訂版） 1. Savannakhet Province 2. Savannakhet Town 3. Route No. 13 4. Route No. 9	A4、3 つ折 カラー	サバナケット： 観光案内所 ビエンチャン： 観光案内所	英語：各 2,000 部
2	観光パンフレット （周遊ルート及びテーマ別） 1. Savannakhet Downtown 2. Savannakhet Outskirts 3. Champhone Circuit 4. Mekong South Circuit 5. Ho Chi Minh Trail 6. Savanh Food 7. Handicrafts & Souvenirs	A4、3 つ折 カラー	サバナケット： 観光案内所、宿泊施設、レストラン、旅行会社、空港、バスターミナル等	英語：各 11,000 部 タイ語：各 6,000 部 ラオ語：各 2,000 部
3	観光パンフレット （県外配布用） 1. General Brochure	A4、3 つ折 カラー	観光案内所（ビエンチャン、タケク、パクセ、ムクダハン、ナコンパノム等）	英語：5,000 部 ラオ語：1,000 部
4	観光ポスター 1. Historic Downtown 2. That Ing Hang 3. Hotay Pidok 4. Monkey Forest 5. Ho Chi Minh Trail-1 6. Ho Chi Minh Trail-2 7. Stone House 8. Laha Cotton Weaving	A1（紙） カラー A1（ビニル） カラー	サバナケット： 上記 2 と同じ ビエンチャン： 観光案内所、旅行業者、ゲストハウス等 タイ： 旅行会社等 ベトナム： 旅行会社等	英語、タイ語、ラオ語、ベトナム語併記： 紙：各 300 部 プラスチック：各 6 部 （但し、紙媒体は 1～6 のみを印刷した）
5	絵はがき 1. Historic Downtown 2. That Ing Hang 3. Hotay Pidok 4. Monkey Forest 5. Ho Chi Minh Trail-1 6. Ho Chi Minh Trail-2 7. Stone House 8. Laha Cotton Weaving	はがきサイズ カラー	サバナケット： 観光案内所、宿泊施設、レストラン	各 200 部
6	観光サイト道路標識（郊外） 1. Savannakhet Outskirts 2. Champhone Circuit 3. Mekong South Circuit	スチール製 40×120 cm	車両による観光客を対象とし、主要な交差点・別れ道	英語・ラオ語併記 29 ヶ所、61 本、93 枚

7	観光サイト案内標識 サバナケット市内	スチール製 20×80 cm	徒歩による観光客を対象とし、主要な交差点	英語・ラオ語併記 42 本、95 枚
8	観光サイトにおける説明看板 1. Savannakhet Outskirts 2. Champhone Circuit 3. Mekong South Circuit 4. Ho Chi Minh Trail	土台：木製 看板： スチール製 90×180 cm	左記周遊観光ルートの主要な観光サイトの内、情報が入手できたサイト	英語、ラオ語併記 21 サイト
9	オンサイト観光マップ 1. Turtle Lake & Village 2. Taleo Temple & Village 3. Hotay Pidk & Village 4. Monkey Forest & Village	土台：木製 看板：木製 120×180 cm	Champhone Circuit の主要サイトの村人が PTD のガイドラインに沿って制作	英語、ラオ語併記 4 サイト
10	サバナケット県観光マップ	枠：木製 看板：ビニル製	主要サイトの写真付サバナケット県内観光地図	英語 1 ヶ所（PTD 外） ラオ語 1 ヶ所（PTD 内）
11	サバナケット市内観光マップ	土台・枠：木製 看板：ビニル製	主要サイトの写真付サバナケット市内観光地図	英語：市内 4 ヶ所
12	民間観光案内所サイン及び観光案内標準ファイル（観光サイト、交通、宿泊、食事等の記載された観光情報ファイル）	サイン： A3 壁用 A5 卓上用 ファイル： A4、白黒	サバナケット県内各地： 宿泊施設、レストラン、旅行会社、空港（航空会社）、観光サイト等	英語（ラオ語の説明付）：50 部
13	LNTA ウェブサイト http://www.tourismlaos.org	-	全国の観光情報を掲載	英語
14	Savannakhet 観光ウェブサイト http://www.tourismlaos.org	-	LNTA ウェブサイト内県別観光情報に構築	英語
15	観光ビジネス・ダイレクトリー	21×11 cm カラー	サバナケット県内のホテル、ゲストハウス、旅行会社、レストランの一覧	英語 PDF 版のみ制作

註：　その他、タイの観光ガイドブック（Sabaidee Pathet Lao）、日本の「地球の歩き方ラオス編」改訂への資料提供・取材協力を行った。

出典：　JICA プロジェクトチーム

図 2.3.5　PTD と民間セクターで制作した観光ビジネス・ダイレクトリー

出典：　JICA プロジェクトチーム

（2）観光パンフレット、ポスター、観光案内標準ファイルの利用状況

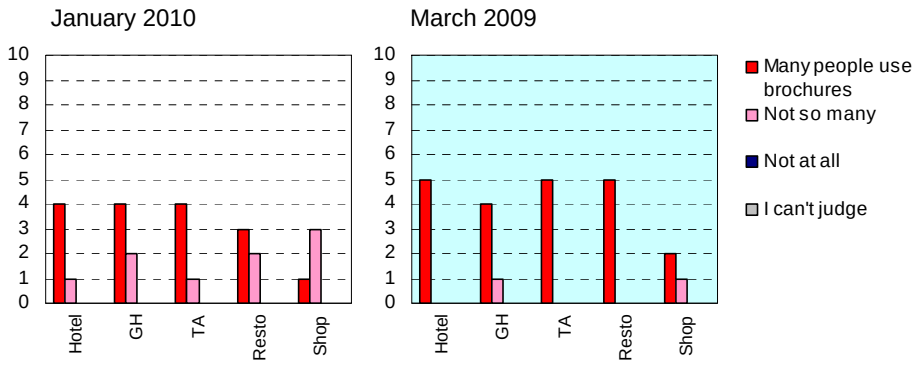
観光パンフレット、ポスター、観光案内標準ファイルは、公的な観光案内所だけではなく、広く民間セクターを巻き込んで、サバナケットを訪れる観光客へ提供している。

それら観光情報の提供を行っているサバナケット市内の 5 軒のホテル、6 軒のゲストハウス、5 社の旅行会社、5 軒のレストラン、5 軒のみやげ物店等の計 26 組織から得られた質問票によるモニタリング結果を、2009 年 3 月と 2010 年 1 月の結果を対比して述べる。

観光パンフレット：

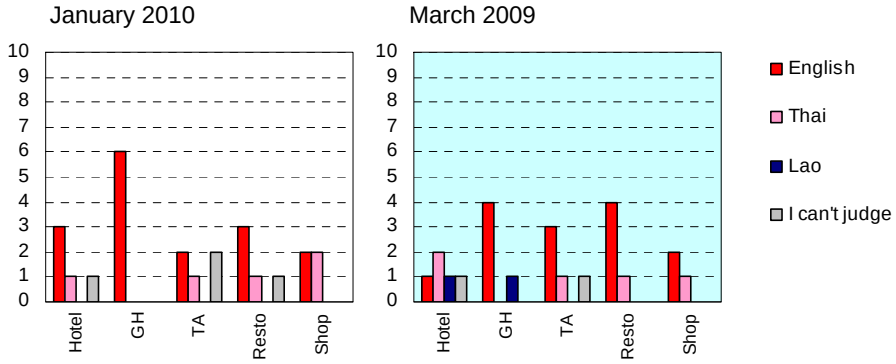
パンフレットの観光客への配布状況は、2009 年 3 月時点に比べてやや低下しているものの、まだ多くのホテル、ゲストハウス、旅行会社でパンフレットを持って行く観光客が多い（21/23→16/25）と感じている。

図 2.3.6　パンフレットの配布状況



英語、タイ語、ラオ語の内、頻繁に利用される言語は、英語が支配的である。但し、タイ語のニーズは、タイ人がよく利用するホテル、旅行会社、みやげ物店で、継続してある。一方、ラオ語のニーズは、ほとんど見られなくなった。

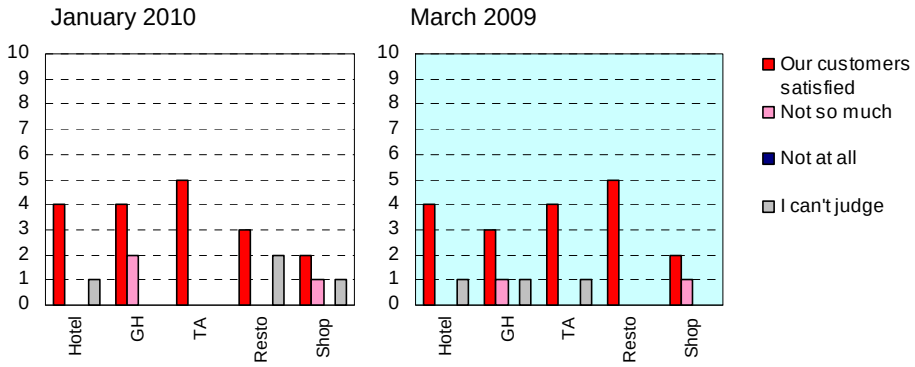
図 2.3.7　パンフレットで利用の多い言語



個別の意見では、フランス語、ドイツ語、スペイン語、ベトナム語等の要望も聞かれたが、PTD 職員の能力を考えると、多様な言語のパンフレットを更新続けることは困難であり、現実的ではない。

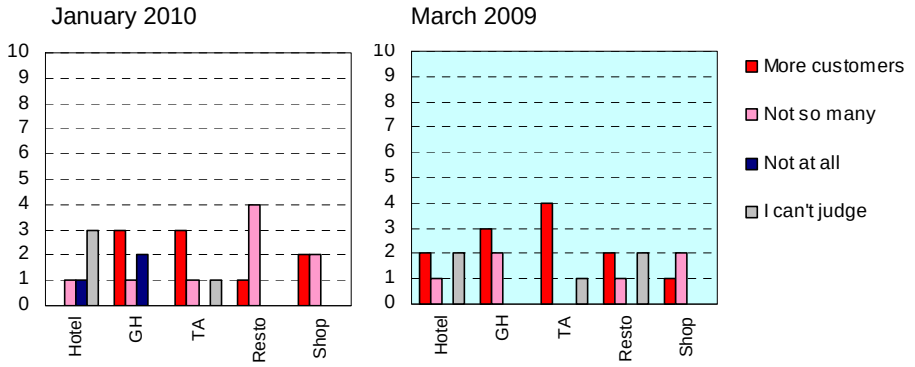
パンフレット利用客の満足度は、2009 年 3 月時点とほぼ同様に高いと言える。レストランでは、「判断できない」という回答が増えた。そう回答した 2 つの店のどちらも地元の固定客が多いことから、客がパンフレットを見飽きてきたとも考えられる。

図 2.3.8　パンフレット利用客の満足度



パンフレットが自分たちのビジネスへ好影響をもたらしているかについては、ホテルではそういう考えが減少してきた。サバナケットでは、ホテルに宿泊する FIT が少ないという現実がそう感じさせてきたと思われる。

図 2.3.9　パンフレットのビジネスへの影響

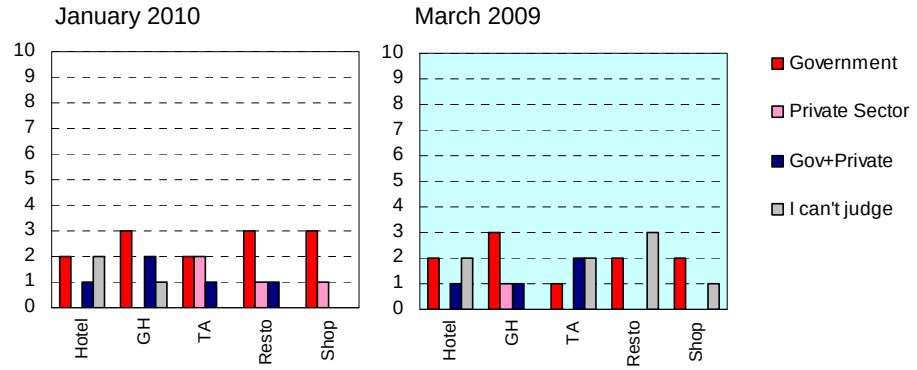


一方、FIT が主な顧客であるゲストハウスでは、2 軒が「影響はない」と考え、3 軒は、客が増えたり、宿泊を延長したりという好影響を感じている。これら 5 軒とも外国の観光ガイドブックに紹介されており、外国人旅行者に知れ渡っているものばかりである。「影響はない」と答えた 2 軒のゲストハウスからも、後述する外国人旅行者を主たる対象としたモニター・ツアー（FAM Trip 2）への参加者がおり、そのために滞在を延長した客もいた。

「影響はない」と答えた 2 つのゲストハウスは、どちらもフロントを従業員任せにしており、滅多にオーナーが顔を出すことがない。恐らく、このようなゲストハウスの経営姿勢の違いが感じ方の違いに影響しているのであろう。

パンフレット制作の費用負担については、依然として政府頼みが半数を占めるが（13/25）、民間セクターや官民協力で負担しても良いという意見（5/23→9/25）が増えてきたことは注目に値する。

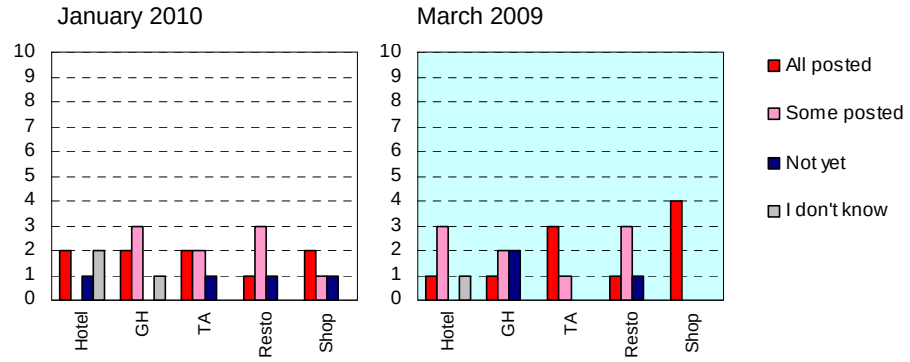
図 2.3.10 パンフレットの費用負担



観光ポスター：

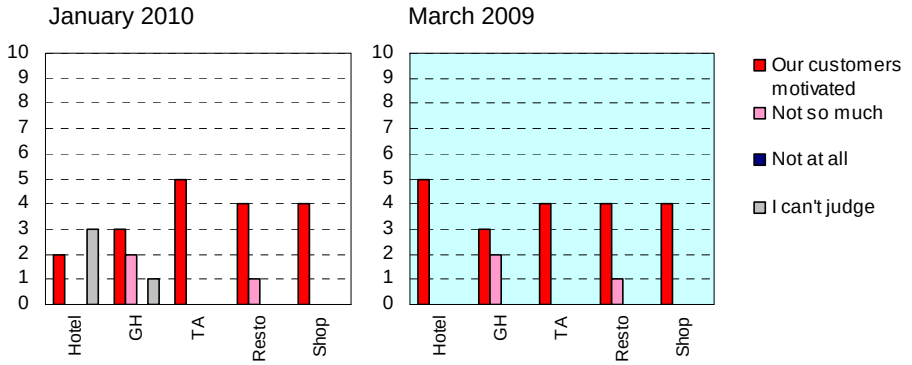
パンフレットの補充とは違い、ポスターは要望がなければ追加や補充をしてこなかった。そのため、破れたり、日光によって退色したため撤去した等の理由で、利用状況はやや下がっている（19/23→18/25）。特に、頻繁に様々な製品のプロモーション・ポスターが配布されるみやげ物店等で、減少が目立っている。

図 2.3.11 ポスターの利用状況



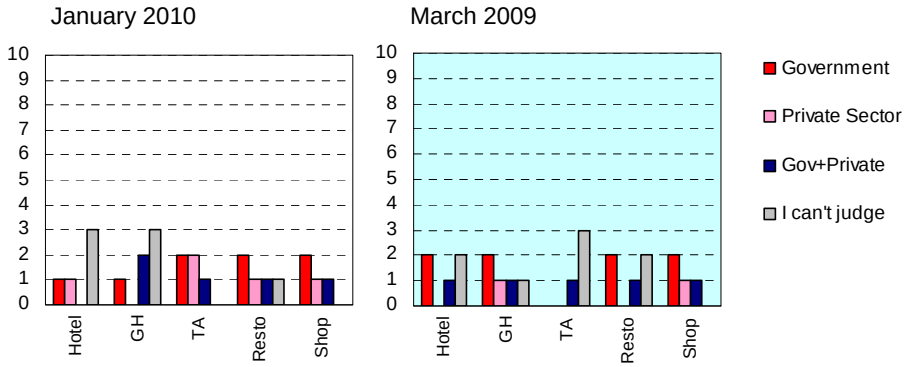
ポスターによる観光客への誘致効果を感じている度合いは、ポスターを貼っているホテルが 2 軒と減少したことから、ホテルでは減少した。しかし、ゲストハウス、旅行会社、レストラン、みやげ物店では相変わらず高い。

図 2.3.12 ポスターによる動機付け効果



ポスター制作の費用負担についても、パンフレットと同様、まだ政府頼みは多いが（8/25）、民間セクターや官民協力で負担しても良いという意見（7/23→10/25）が増えている。

図 2.3.13 ポスターの費用負担

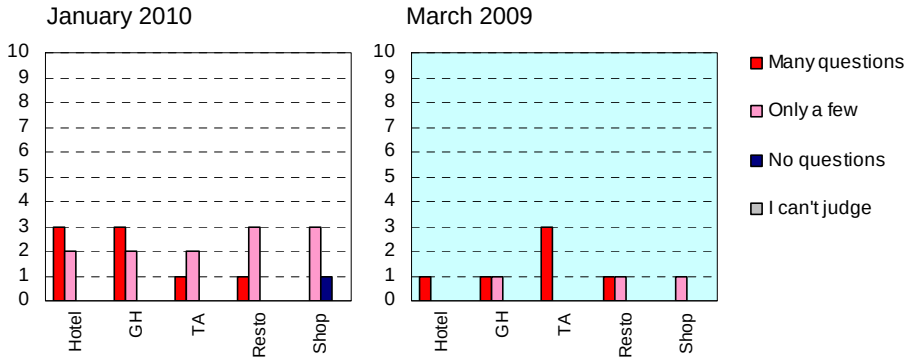


観光案内標準ファイル：

観光案内標準ファイルは、バスの時刻表やフライト・スケジュール、観光サイトの案内とアクセス、イベントのカレンダー、ホテルやゲストハウスのリストと値段、レストランのリストと種類のように、観光客にとって役立つ情報をクリアファイルにまとめた冊子である。

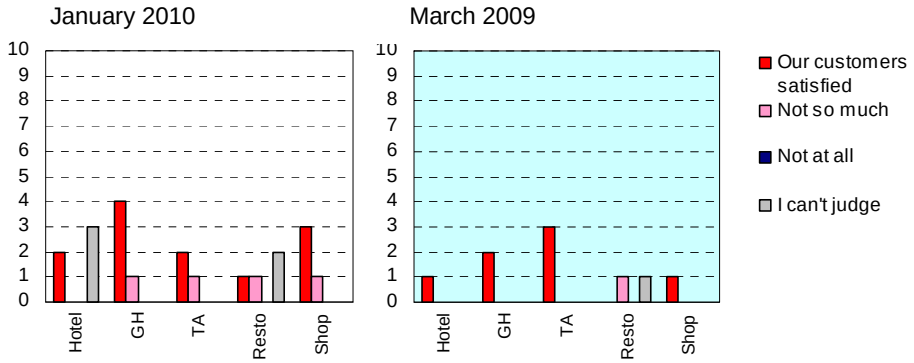
観光案内標準ファイルの配布を受け、質問票に回答した 21 組織の内、20 組織は顧客から何らかの質問を受け、ファイルを用いて案内をしている。2009 年 3 月時点よりも配布先は増えているが、特に、宿泊施設の客が案内を求めることが多いことがわかる。

図 2.3.14 顧客から観光案内を求められるケース



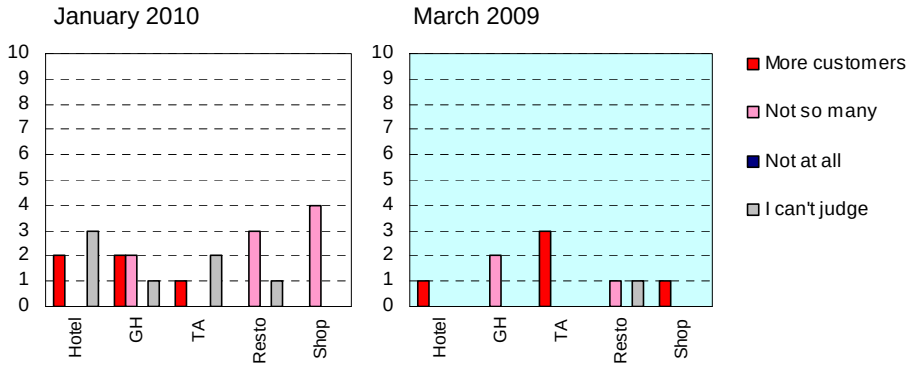
観光案内標準ファイルを用いて案内を受けた顧客の満足度は、特にゲストハウスで顕著に高くなっている。「それほどでもない」と回答したゲストハウスは、パンフレットでも「影響がない」と回答した所で、経営姿勢の問題であろう。

図 2.3.15 観光案内標準ファイルによる顧客の満足度



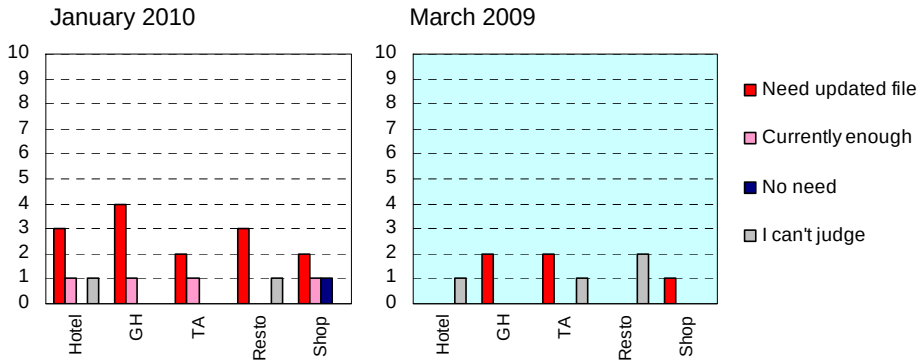
観光案内標準ファイルを用いた案内によって、顧客が増える等のビジネスへの好影響を感じている度合いは、ホテルとゲストハウスで増えている。

図 2.3.16 観光案内標準ファイルによるビジネス効果



PTD が更新している観光案内標準ファイルについて、大半の利用者が継続的に更新されたファイルの必要性を感じている（14/21）。

図 2.3.17 観光案内標準ファイルの更新の必要性

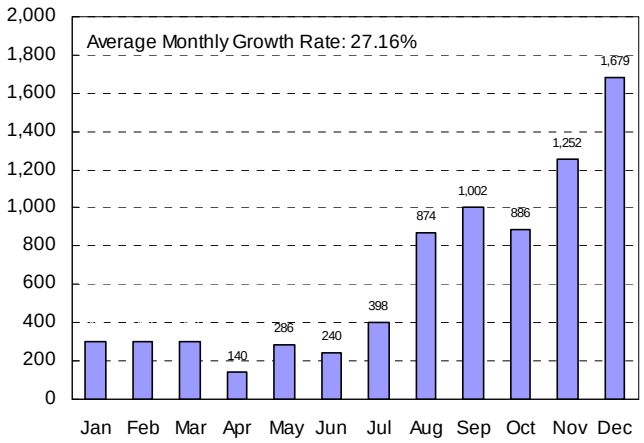


（3）LNTA ウェブサイトの利用状況

2008 年末までに構築・運用を開始したウェブサイトは、2009 年 10 月までには PTD 職員らによって、サバナケット県のページが大幅に改善された。

LNTA ウェブサイトの 2009 年の月別のアクセス状況は、右図のとおりである。2009 年 7 月頃より、アクセス数が順調に増え続け、2009 年の平均月増加率は 27.16%であった。

図 2.3.18 LNTA ウェブサイトの訪問数（2009）

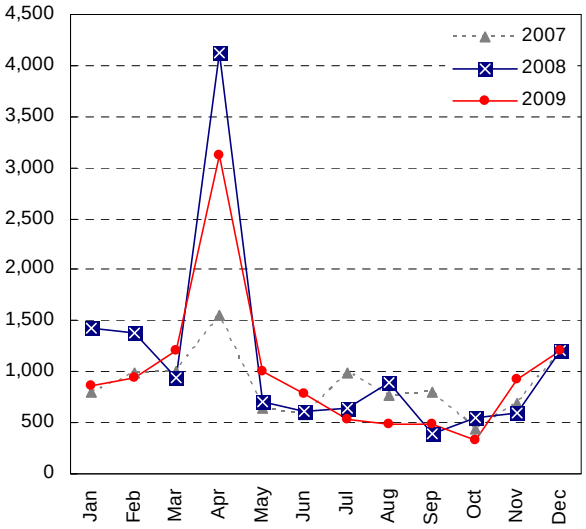


（4）その他の観光情報の利用状況

サバナケットを拠点とした 3 つの観光周遊ルート沿いの観光サイト道路標識、観光サイトにおける説明看板、オンサイト観光マップ等は、訪問客が良く利用しており、後述する官民共同プロモーション活動の一環で行った FAM Trip 2 でも役立つという意見が聞かれた。

但し、これらについては、定量的な分析はされていない。Champhone Circuit の観光サイトの中で、比較的に信頼性の高い入場者数データの取られている Turtle Lake の 2007 年、2008 年、2009 年の月別入場者数を右に示す。

図 2.3.19 Turtle Lake の訪問者数



4 月が突出しているのは、ラオ正月が影響している。しかし、経年で入場者数が増えているとは言えず、これらの観光情報がどの程度、寄与しているかは確認できていない。一方、これらの観光情報の全てが、サバナケットの町から離れた農村や山林部に位置しているにも関わらず、全てが村人らによって維持管理され、機能を果たしていることは特筆に価する。

サバナケット市内に設置された観光サイト案内標識、観光マップ類は、外国人観光客らに頻繁に利用されているのを目にする。観光ビジネス・ダイレクトリーは、当初、ウェブサイト上で公開を始めたが、観光関連産業グループで印刷することを決めた。このように、民間セクターを巻き込んだ観光振興が徐々に進んできていることは確かである。

□［Task 15］ 官民協働プロモーション活動の実施（反復実施）

第 2 年次に実施した官民共同プロモーション活動に引き続き、その定着化を図るため、必要な改善点を盛り込みながら、官民協働プロモーション活動の実施を支援した。

（1）実施した官民共同プロモーション活動

第 3 年次に実施した主な官民共同プロモーション活動は、以下のとおりである。

1. World Eco-Tourism Conference における観光フェアへの出展（15-18/07/2009）
2. That Ing Hang Festival＋国際貿易フェアへの出展（28/11-03/12/2009）
3. Federation of Thai Tourism Associations のサバナケット訪問での紹介（11/13-12/2009）
4. FAM Trip 2 の実施（06-10/01/2010）
5. 中央 5 県観光フェア 2010 への出展（27-31/01/2010）

（2）実施状況

3 つの観光フェアへの出展は、民間と連携した PTD の業務として定着している。しかし、中央 5 県観光フェア 2009（29/01/-01/02/2009 Vang Vieng）で、外国人を含む一般の観光客が最も多く期待される週末を待たずに展示を片付けて帰郷してしまったように、それに従事する PTD 職員は、必ずしも出展の意義・目的を認識しているとは言えない。これは、公務員としてのノルマを果たしているに過ぎず、また、実際の効果が測定されていないことから、民間業者も観光フェアに多くを期待していない。

一方、Federation of Thai Tourism Associations 一行の約 45 名のサバナケットへの訪問は、ラオス航空と Savan Vegas Hotel が両者のプロモーション目的で企画したイベントであったにも関わらず、サバナケットの観光関連業者は、一様に期待をもって訪問を歓迎した。プロモーションのための観光情報、ビジネス・ダイレクトリーの必要性を認識する契機となった。

FAM Trip 2 は、第 2 年次の観光関連業者とメディアをとおしたサバナケットの紹介を目的とした FAM Trip 1 とは異なり、サバナケットを訪れている実際の観光客を対象としたモニター・ツアーとして以下の内容で実施した。

名称：	FAM Trip 2
期間：	06/01/2010～10/01/2010（5 日間）
プログラム：	
Program 1: Champhone:	
	Sui Lake, Monkey Forest, Hotay Pidok, Taleo Old Temple, Turtle Lake and Kengkok Market
Program 2: Xayphouthong:	
	Stone House, Stone House Village, Mekong River Cruise, That Phone, That Phone Village and School
対象者：	サバナケットを訪れている実際の観光客、サバナケットの観光関連業者（2009 年 7 月の観光マーケティング研修参加者を優先）、サバナケット在住外国人（余席がある場合）
参加者：	外国人観光客（延べ約 110 名）、観光関連ラオス人（延べ 19 人）、在住外国人（延べ 18 人）
募集方法：	観光案内所、ホテル、ゲストハウス、レストランでチラシによる広告を行い、ホテル、ゲストハウスからの電話または直接、観光案内所で予約を受け付けた

（3）FAM Trip 2 の評価

以下、モニターとなった外国人観光客の評価を基に、FAM Trip 2 の結果の分析を記す。在住外国人と観光関連ラオス人は、外国人観光客とは異なる観光サイトやサービスに対する先入観やニーズがあることから、この分析から除外した。

出身地：

参加した外国人旅行者の有効回答 107 名の出身地（国籍）は、10 ヶ国以上に渡っており、多様な旅行者がサバナケットを訪問している実態が再確認された。フランス、オランダ、カナダが首位の 3 ヶ国を占めた。

性別：

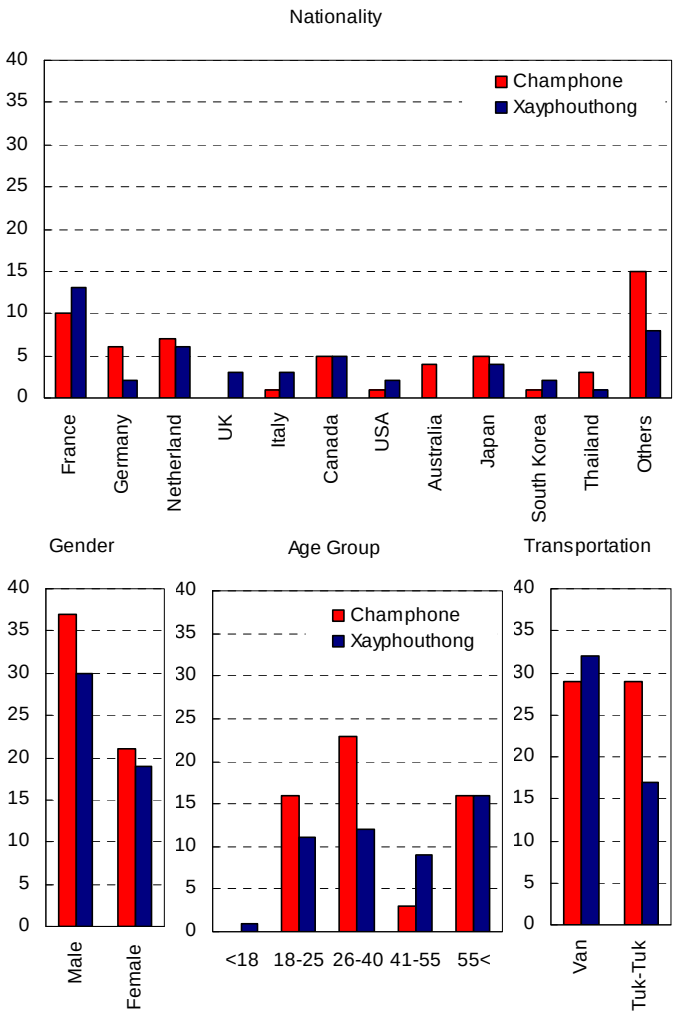
参加した外国人旅行者の内、男性が 62%、女性が 38%を占めた。

年齢層：

働き盛りである 40 代～50 代前半が少ないことは予想されていたが、普段、町中で余り見かけない 56 歳以上のリタイヤ世代が 1/3 弱を占めていたことが特徴的である。

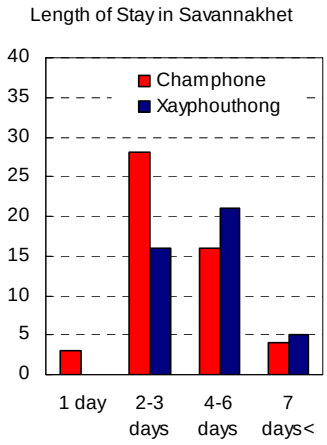
また、バックパッカーの主流を占める 18～25 歳の学生世代よりも、20 代後半から 30 代の一般的には職についている世代の外国人旅行者が上回っていた。

図 2.3.20 FAM Trip 2 参加者の特性



サバナケットでの滞在期間：

参加者のサバナケットにおける滞在期間は、2 日から 6 日間という回答が大半を占めた。平均は 4 日間前後で、ラオスの滞在期間の平均である 20 日間強の約 20%をサバナケットで過ごしている実態が推測される。



交通手段：

参加者自身の特性ではないが、プログラムの満足度や価値（支払っても良い価格）の違いを見極めるため、ミニバンとトゥクトゥク（開放型オート三輪）の 2 つの交通手段を、それぞれのプログラムで交互に運行した。

表 2.3.9　交通手段別の FAM Trip 2 参加者数

	06/01		07/01		08/01		09/01		10/01		合計	
プログラム	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2	1	2
車両	TT	MV	MV	TT	TT	MV	MV	TT	TT	MV	-	-
予約者数	12	13	19	12	19	22	30	16	18	13	98	76
参加者数	10	8	15	13	17	20	22	11	14	15	78	67
外国人旅行者	10	6	14	10	13	14	15	7	6	12	58	49

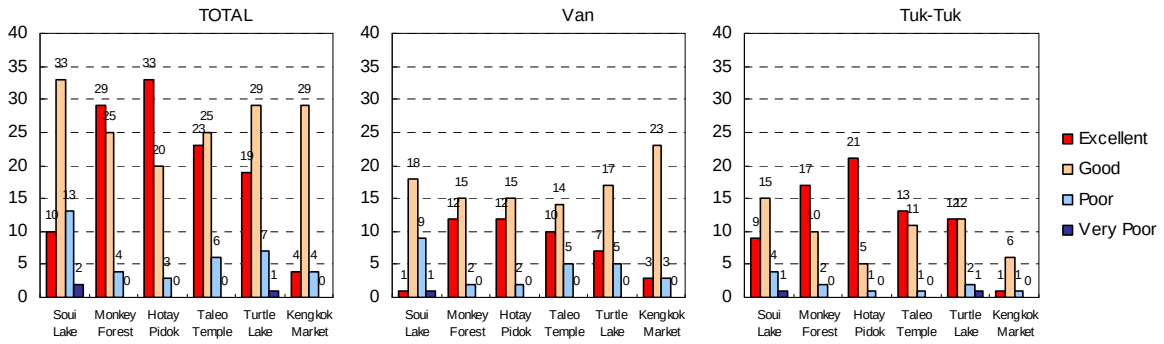
出典：　JICA プロジェクトチーム

図 2.3.21 FAM TRIP 2 の様子

出典：　JICA プロジェクトチーム

観光サイトの評価：

図 2.3.22 Program 1: Champhone の観光サイトの評価

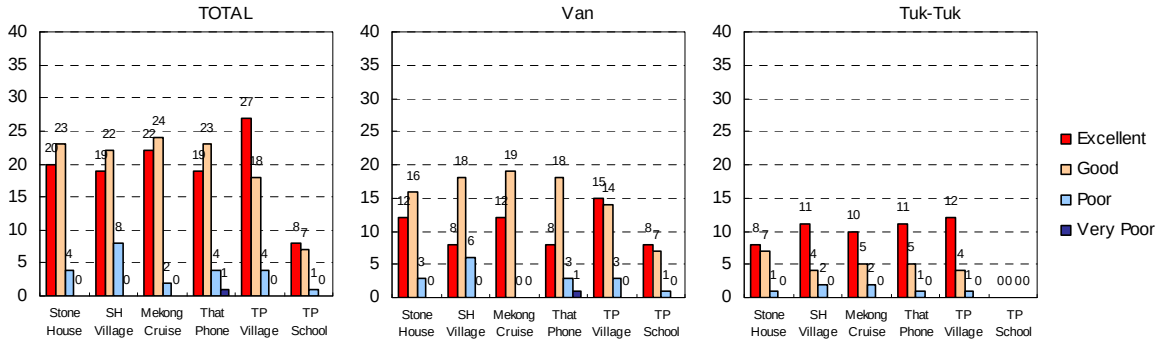


Hotay Pidok は、400 年以上前のヤシの葉に書かれた仏典 4,000 巻以上を保管している寺院の経堂であるが、最も高い評価を得た。次いで、野生のサルを保護している Monkey Forest、仏教寺院にカトリック教会の様式が交じった Taleo Old Temple の順で評価が高かった。

個別のコメントは以下のとおりであった。

Good variety of sites	(10)	More information needed	(8)
Friendly people	(5)	Stops for photo needed	(4)
Nice to feed animals	(4)	A little bit too long	(4)
Good Taleo Old Temple	(3)	Not good to feed animals	(3)
Interesting Market	(2)	Sui could provide boats	(2)
Beautiful Sui and rice fields	(2)	Forced Buddhist rituals	(2)
Beautiful sites and scenes	(1)	Too many old temples	(1)
Helpful interpretation panels	(1)		
Wonderful forest walk	(1)		
Interesting noodle making	(1)		

図 2.3.23 Program 2: Xayphouthong の観光サイトの評価



クメール遺跡 Stone House や現世利益を祈る信者で賑わう That Phone 仏塔を抑え、ヤシの繊維で作るホウキ、ヤシの実から作る Palm Sugar、地下水から作る自然塩等の農村の生活が見られる That Phone 村が、最も高い評価を得た。メコン川を村人のボートで遊覧する Mekong River Cruise は全体で 2 番目の評価であったが、時間的制約によりメコン川の中洲である Sanut 島へ渡るプログラムを中止したことから、中途半端だという意見も見られた。

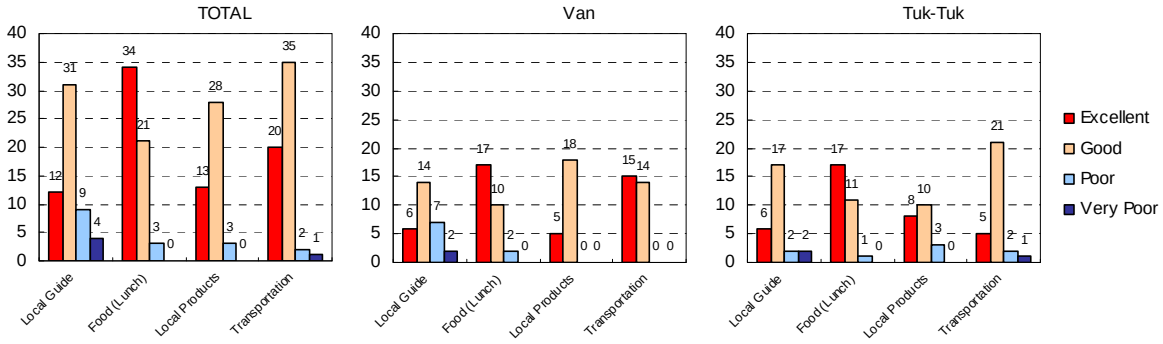
個別のコメントは以下のとおりであった。

A good day trip	(9)	More information needed	(9)
Interesting village workshops	(6)	Cruise needs attractions	(5)
A good break of river cruise	(3)	Long drive to Stone House	(1)
Good choice of visiting sites	(2)	Stone House be restored	(1)

観光サイトの評価で特徴的なことは、どちらのプログラムについても、トゥクトゥクを使った参加者の方が、ミニバンを使った参加者よりも、概して、満足度が高いことである。この結果は、JICA プロジェクトチームにも予想外であったが、その要因は後ほど検討したい。

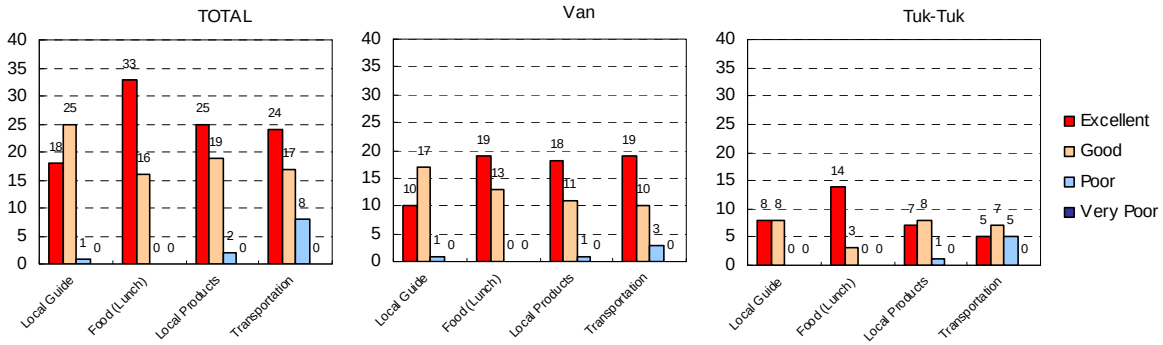
サービスの評価：

図 2.3.24 Program 1: Champhone のサービスの評価



Good lunch	(4)	Guides need more explanations	(14)
Nice and helpful guides	(4)	Guides should speak better English	(5)
Tuk-Tuk fun (Tuk-Tuk user)	(2)	Tuk-Tuk is uncomfortable (Tuk-Tuk user)	(5)
Good transportation (Mini-Van user)	(1)	Hard to communicate with guides	(2)
Good transportation (Tuk-Tuk user)	(1)	Garbage scattered	(1)

図 2.3.25 Program 2: Xayphouthong のサービスの評価



Informative and nice guides	(9)	Guides need more explanations	(3)
Good lunch	(8)	Roads need improvement	(3)
Good transport (Mini-Van user)	(2)	Tuk-Tuk is uncomfortable (Tuk-Tuk user)	(2)
Good dust experience (Tuk-Tuk user)	(1)	More WC needed	(2)
Tuk-Tuk is the best way (Tuk-Tuk user)	(1)	Mini-Van is uncomfortable (Mini-Van user)	(1)
		Mini-Van is not eco-friendly (Mini-Van user)	(1)
		Lack of handicraft to buy	(1)

どちらのプログラムも、昼食の評価が高かった。これは、20009 年 10 月～12 月にかけて、村レベルでの Food Service Training を行った成果と考えられる。実用的な研修を行えば、農村における観光サービスも、外国人観光客が満足するレベルに改善できるということが確認された。

プログラム別では、観光サイトの評価に連動して、Xayphouthong ではローカル産品の評価が高かったが、Champhone では、多くの観光サイトを見て回ったことから、ローカル産品の評価が低く現れた。実際には、Xayphouthong と同じレベルの産品があることから、プログラムの改善によって同程度の満足度を得ることは可能だと考える。

観光ガイドはツアーの重要な要素ではあるが、観光サイトやプログラムの評価への影響を最小限にするため、プロフェッショナルなガイドを用いなかった。そのため、ガイドの説明不足に対するコメントが見受けられるが、一方で、親切さや役立ったという意見も数多くあり、訓練により改善を図ることが可能と判断される。

交通手段に関しては、ミニバンの利用者の方が快適（Excellent）と答えた者が多く、トゥクトゥクの利用者の方が少ないという常識的な結果となっているが、トゥクトゥク利用者にも、各プログラムで 5 名ずつ快適（Excellent）と回答した者がいることには注意が必要である。彼らには、トゥクトゥクにはミニバンにない魅力があったことを示している。

プログラムの価値（支払っても良い価格）：

図 2.3.26 Program 1: Champhone の対価

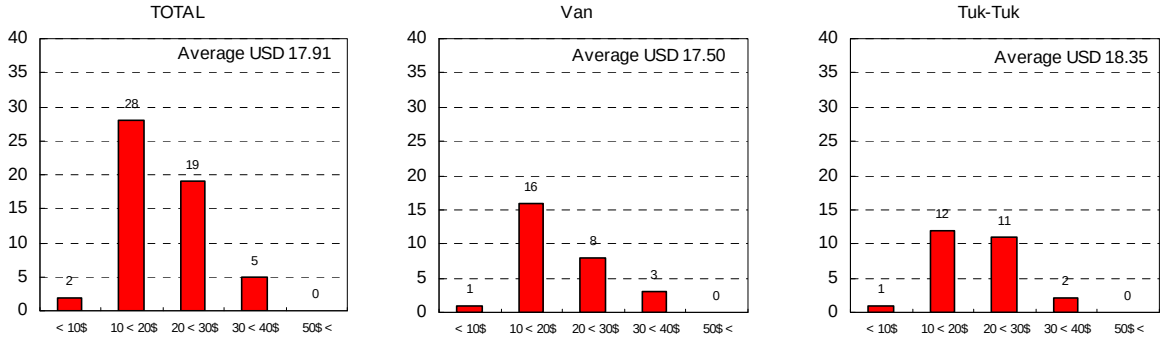
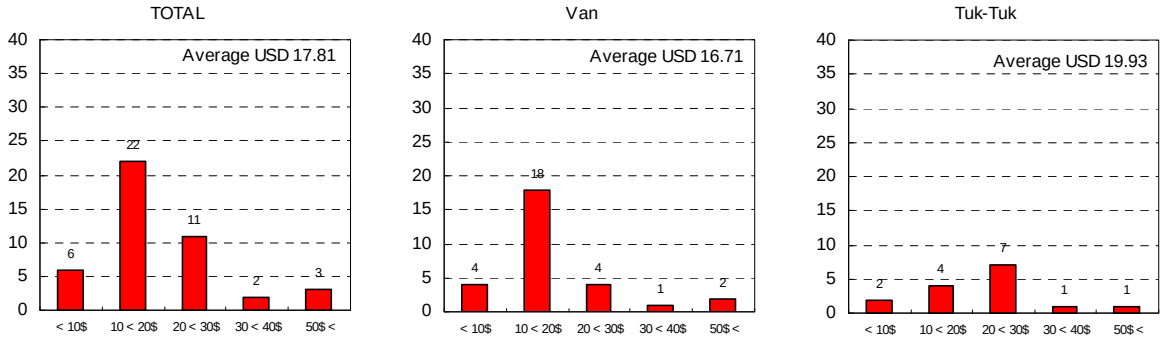


図 2.3.27 Program 2: Xayphouthong の対価



プログラムの価値を、支払っても良い価格として質問した。参加者全体では、Xayphouthong の方が、価格のばらつきが大きい点を除けば、どちらのプログラムとも USD 18.00 を少し下回る平均で共通している。

しかし、交通手段別に比較した場合、観光サイトの評価の差を反映し、トゥクトゥク利用者の方が、概して高い価格を示している。平均価格では、Champhone の場合で USD 1.00 弱、Xayphouthong の場合では USD 3.00 以上の開きがあった。

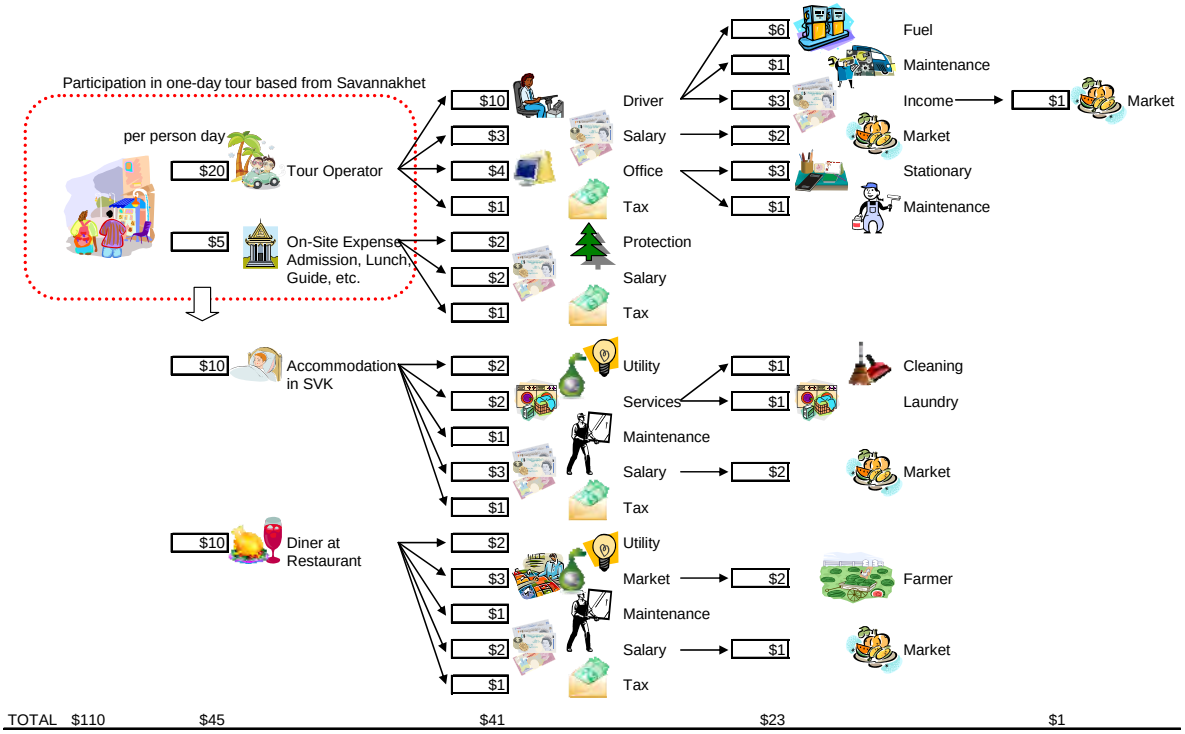
結論：

- 両プログラムとも、毎日 10 人程度の観光客を集めた。これは、関係者の協力が不可欠であるが、ビジネスとして成り立つ可能性を示している。
- サバナケットの訪問客の多くは 2〜6 日間と短期滞在であるが、今回、滞在を延長して参加したり、ビエンチャンから聞きつけて参加した外国人旅行者もいたことから、短期滞在を悲観的に考える必要はない。
- 外国人旅行者の参加者の内、55 歳以上のリタイヤ世代が 3 分の 1 を占めた。彼らは、時間とある程度の金銭的余裕があり、ラオスの歴史、文化、伝統に対する知的好奇心も高いことから、このようなプログラムの対象として有望である。
- どちらのプログラムも、Tuk-Tuk 利用者が、Mini-Van 利用者よりも高い満足度を示した。それを反映し、支払っても良い価格も Tuk-Tuk 利用者の方が高いという逆転現象がおきた。参加者へのインタビューから、その要因は、Tuk-Tuk の方がラオスの農村の生活や景色を、より感じることができたからと判断される。
- 外国人旅行者は、4 人のタイ人 1 組を除き、他は 1 人または 2 人での参加であった。
- Mini-Van は一人当たり USD 20 の単価とすると、8〜10 人は集まらないと利益のあるビジネスとならない。一方、Tuk-Tuk は、同単価で、3〜4 人集まれば、観光サイトの村にも小さな経済効果をもたらしつつ、ビジネスとすることができる。
- 但し、快適な移動を望む参加者もいるため、両方の手段を用意することは必要である。その場合、ミニバンは、主として小グループを対象としたマーケティングを行うべきであろう。
- 観光サイトの歴史や背景の説明を望む声が高いが、観光ガイドの強化には時間を要する。並行して、観光サイトの説明看板を整備・改善する等の現実とのギャップを埋める努力が求められる。
- サバナケットから日帰り圏の農村観光は、外国人旅行者にとって魅力的なツアーであり、農村への経済効果をもたらす可能性も確認されたが、大きな課題は、現在の観光行政と観光ビジネスには、それを継続的に実施する仕組みがない。イベントの形で散発的に外国人旅行者が訪れても、観光サイトの受入れ体制が定常的に強化されることはない。PTD は、真剣に、県内の観光サイトの振興を考える必要がある。
- 次ページの図は、観光客ひとりが USD 20 の日帰りツアーに参加し、現地で USD 5 程度の支出をしたとすると、サバナケットで追加的宿泊も必要となることから、2 次、3 次的な経済効果を含めると、4.4 倍の USD 110 の経済波及効果をもたらすメカニズムを示

している。

- これは、1 日平均 10 人が日帰りツアーに参加したと仮定すると、乾季の 4 ヶ月間（11～2 月）だけでも、USD 13 万（LAK 11 億 7,100 万）の経済波及効果をサバナケット県内にもたらす計算になる。このような控えめな予測値でも、地域観光振興の重要性が十分に理解されるであろう。

図 2.3.28 サバナケットから日帰りツアーのもたらす経済波及効果



出典：　JICA プロジェクトチーム

□［Task 5-1］ サバナケット県の観光開発に関するワーキング・グループ（継続開催）

第 7 回 W/G に先行して、2 月 1～2 日、県観光開発会議が国家観光庁（LNTA）とサバナケット県庁の主催で開催された。同会議には、LNTA、県関連部局、各郡の知事および観光コーディネーター、観光関連産業（ホテル、ゲストハウス、レストラン、旅行会社）代表者が参加し、観光局から 2009 年の活動結果および 2010 年の活動予定の報告、2011～2015 年の観光開発戦略および観光開発計画案の説明に続き、参加者の活発な意見交換が行われた。

2010 年 2 月 3～5 日に、第 7 回 W/G を開催し、今年度の活動結果のレビューを行うと共に、次年度（最終年度）の活動予定についても討議した。

名称：	第 7 回ワーキング・グループ会議
場所：	サバナケット（Champhone Circuit、Xayphouthong 郡、Savan Saikong Resort 会議室）
期間：	03/02/2010～05/02/2010（3 日間）
目的：	第 3 年次の活動のレビュー
参加者：	PTD、W/G メンバー、観光モラル向上委員会メンバー、観光関連民間セクター代表者
内容：	
1 日目：	Champhone Circuit の観光サイトの現状を視察
2 日目：	Xayphouthong 郡の観光サイトの現状を視察
3 日目：	2009 年の活動総括と 2010 年の活動予定（PTD）、FAM Trip 2 の結果と分析（JICA Project Team）、県観光開発・振興計画（2011～2015）の作成演習（Group Work）

3 日目には、第 7 回 W/G の総括として、2011～2015 年の県観光開発・振興計画の作成演習を行った。これは、第 4 年次で行う県観光開発・振興計画策定の予行演習として、W/G メンバーの計画策定能力の水準と弱点を把握する目的で行った。

■［Task 24］ 観光モラル向上委員会の提言を観光関連行政に反映

［Task 10］で設置された「観光モラル向上委員会」は、これまでに旅行者の増加に伴う負の影響の分析とその対策を検討してきた。

2009 年 8 月 31 日には各郡の観光コーディネーターとの合同ワークショップを開催し、それらの結果を共有すると共に、観光コーディネーターをとおして各観光サイトの村へ通達し、観光サイトの美化、不法な観光客相手の商売の取り締まり等に反映させることとした。

2010 年 2 月 3～5 日の第 7 回 W/G も、観光モラル向上委員会と合同で開催し、Champhone 郡、Xayphouthong 郡の観光サイトの実地視察を行い、より具体的な施策の反映を強化した。

■［Task 25］ 年次報告書（第 3 年次）の作成・提出

第 3 年次の活動結果とその評価をとりまとめ、年次報告書（第 3 年次）を作成・提出した。

2.4 活動結果（第 4 年次）

■［Task 26］ サバナケット県の観光アクションプラン、観光振興計画作成の準備

■［Task 27］ サバナケット県の観光アクションプラン、最終観光振興計画の作成

PTD は、本プロジェクトのこれまでの活動結果と提言、SNV による観光開発戦略についての提言を基に、2010 年 5 月までにサバナケット県観光開発計画 2011-2015 のドラフトを作成し、2010 年 5 月 24 日付で県の承認を得た。サバナケット県観光開発計画 2011-2015 の要約を巻末の Appendix-4 に掲載する。

■［Task **］ 第 3 回合同調整委員会（JCC）の開催

2010 年 7 月 6 日（火）、サバナケットに於いて第 3 回合同調整委員会（JCC）を開催した。

名称：	第 3 回合同調整委員会（JCC）
場所：	サバナケット（PTD 内 JICA プロジェクトチームオフィス）
時期：	2010 年 7 月 6 日（火）
目的：	1. 本プロジェクトの進捗を関係者で共有する 2. 前回 JCC で承認された PDM に基づいてプロジェクトの成果を評価する 3. PDM の内容が適切であるかどうか協議する
出席者：	Mr. Saly Phimphinith , Director General of Marketing and Promotion, LNTA（議長） ラオス側： Mr. Kouthong Sommala, Deputy Director, DIC/MPI Dr. Souphanh Keomixay, Vice Governor, Savannakhet Province Mr. Sithon Nantharath, Director, Department of Planning and Investment (DPI) Mr. Bounmy Khantivong, Director, PTD Savannakhet Mr. Vanvilay Phonphachan, Head of Planning and Cooperation Division, PTD Savannakhet Mr. Somsanouk Budtakhod, Head of Marketing and Promotion Division, PTD Savannakhet 日本側： Mr. Masato Togawa, Resident Representative, JICA Laos Office Mr. Moriaki Watanabe, Project Formulation Advisor, JICA Laos Office Mr. Soulivanh Souksavath, Assistant Program Officer, JICA Laos Office Mr. Tetsuo Isono, Chief Advisor, JICA Project Team Ms. Darling Sithiveth, Research Assistant, JICA Project Team

JCC の会議に先立ち、参加者は、サバナケット市内の観光サイト（Savannakhet Downtown）を約 1 時間体験し、会議に臨んだ。会議での主な意見は以下のとおり。

- 議長：サバナケットでは、民間セクターが新しい観光プロダクトやプログラムを創り出す能力が依然として低い。どのように民間セクターを励ますことができるかが課題である。サバナケットはベトナムのホイアンのような観光振興がひとつの方向性と思われる。
- 県計画投資局長：体験ツアーで見た Lin’s Café は小さな投資でも観光アトラクションを創り、観光ビジネスが展開できるという良い具体例である。
- JICA 事務所長：サバナケットの魅力を打ち出している点がよく感じ取れた。自立発展への努力を重ねる必要がある。
- サバナケット県副知事：JICA プロジェクトへの謝辞を述べると共に、策定された県観光開発計画（2011-2015）の実施に向けての支援を要請した。

□［Task 30］ 国家観光庁ウェブサイトの改善・要員の研修（他県への普及）

本プロジェクトによる新しい LNTA ウェブサイトは 2008 年末までに公開され、2009 年 10 月頃には PTD 職員らによってサバナケット県のページが大幅に改善された。一方で、他の地域のページでは、実際に比べて情報量が少ないケースや、情報が古いケースも見受けられた。

サバナケット県における経験を他県に生かすため、下記の内容で普及研修を実施した。また、各回の研修の 2 週間後を目処に各受講者のフォローアップを行い、改善されたページのアップロードまでをサポートした。

名称：	観光ウェブサイト普及研修（その 1）
場所：	サバナケット（JICA プロジェクトチームオフィス）
時期：	2010 年 6 月 3 日～6 月 4 日（木～金）（2 日間）
目的：	LNTA ウェブサイトにおけるサバナケット県ページ改善の経験を他県に普及させる
講師：	LNTA（2 名）、PTD サバナケット（5 名）
受講者：	PTD カムアン（2 名）、PTD チャンパサック（2 名）、PTD サラワン（2 名）
内容：	画像処理、LNTA ウェブサイトマネージャーの使い方、ファイルのアップロード方法他

名称：	観光ウェブサイト普及研修（その 2）
場所：	ビエンチャン（JICafe 会議室）
時期：	2010 年 8 月 12 日～8 月 13 日（木～金）（2 日間）
目的：	LNTA ウェブサイトにおけるサバナケット県ページ改善の経験を他県に普及させる
講師：	LNTA（2 名）、PTD サバナケット（2 名）
受講者：	PTD ビエンチャン市（2 名）、PTD ビエンチャン（2 名）、PTD ボリカムサイ（2 名）
内容：	画像処理、LNTA ウェブサイトマネージャーの使い方、ファイルのアップロード方法他

名称：	観光ウェブサイト普及研修（その 3）
場所：	ルアンパバン（PTD ルアンパバン会議室）
時期：	2010 年 9 月 22 日～9 月 24 日（水～金）（3 日間）
目的：	LNTA ウェブサイトにおけるサバナケット県ページ改善の経験を他県に普及させる
講師：	LNTA（2 名）、PTD サバナケット（2 名）
受講者：	PTD ルアンパバン（4 名）、PTD サヤブリー（2 名）、PTD シエンクアン（2 名）、PTD フアパン（2 名）
内容：	画像処理、LNTA ウェブサイトマネージャーの使い方、ファイルのアップロード方法他

この結果、ウェブサイト研修は全国 17 県の内 11 県をカバーし、受講したほとんどの県では改善したページを作成し、LNTA ウェブサイトにアップロードしている。

□［Task 9］ LNTA 及び PTD 職員による観光関連サービス向上研修（反復実施）

第 2 年次、第 3 年次に観光関連サービス向上研修を実施したが、その定着化を図るため、PTD による自主的な研修運営のモニタリングに重点をおき、下記の 3 種の研修を実施した。

名称：	観光ガイド研修
場所：	サバナケット（Savan Saikong Resort 研修室）
時期：	2010 年 8 月 16 日～9 月 3 日（月～金）（16 日間）
目的：	新規観光ガイドの養成
講師：	県他機関を中心とした外部講師、PTD
受講者：	新規観光ガイド（36 名）
内容：	観光政策、ホスピタリティ、観光サイトの歴史、地理、芸術、文化、救急等

名称：	ハウスキーピング研修
場所：	サバナケット（Dao Savan Hotel & Resort Meeting Room）
時期：	2010 年 9 月 13 日～9 月 18 日（月～土）（6 日間）
目的：	ハウスキーピングの技術向上
講師：	PTD、Dao Savan Hotel & Resort、JICA プロジェクトチーム
受講者：	サバナケット県内のホテル及びゲストハウス（25 名）
内容：	観光政策、ホスピタリティ、宿泊業の基礎知識、ベッドメーキング、活花等

名称：	飲食サービス研修
場所：	サバナケット（Dao Savan Hotel & Resort Meeting Room）
時期：	2010 年 10 月 3 日～10 月 9 日（月～土）（6 日間）
目的：	飲食サービスの技術向上
講師：	PTD、Dao Savan Hotel & Resort、JICA プロジェクトチーム
受講者：	サバナケット県内のホテル及びレストラン（35 名）
内容：	観光政策、ホスピタリティ、レストランの基礎知識、接客と給仕方法、衛生等

□［Task 15］ 官民協働プロモーション活動の実施（反復実施）

第 2 年次、第 3 年次に実施した官民共同プロモーション活動に引き続き、その定着化を図るため、必要な改善点を盛り込みながら、官民協働プロモーション活動の実施を支援した。

□［Task 17］ 旅行者観光情報の整備（更新および追加）

第 2 年次、第 3 年次に実施した旅行者観光情報の整備（更新および追加を含む）につき、特に以下の点に焦点をあて、自主的で継続的な更新体制の定着化を支援した。

- PTD スタッフの間で観光案内標準ファイルの情報更新における担当・責任の明確化
- 観光パンフレットの在庫管理と増刷費用の捻出方法（ウェブサイトを活用した配布による印刷部数の節約も含む）

■［Task 28］　プロジェクト終了後の研修計画作成

［Task 27］で策定されたサバナケット県観光開発計画 2011-2015 のアクションプランにおいて、以下の研修計画が盛り込まれた。

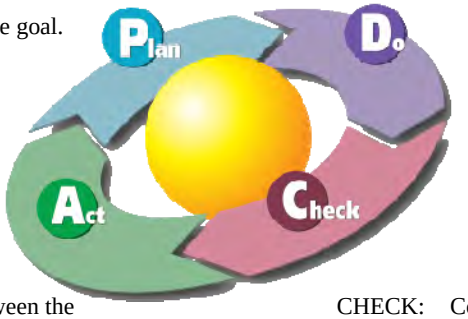
- PTD および郡観光コーディネーターの研修
- 観光サイトコミュニティに対する啓発
- 観光サービス向上研修（観光ガイド、飲食サービス、ハウスキーピング、フロント等）

これらは本プロジェクトでも行われてきた研修であり、実施結果の評価、それを反映した改善を盛り込んで継続していくことが重要である。

図 2.4.1　PDCA サイクル

PLAN: Identify specific purposes.
Define output/ goal.
Design process to achieve the goal.

DO: Implement the process.



ACT: Analyze the differences between the results and expected results.
Determine their cause.

CHECK: Compare the results against the expected results.

出典：　JICA プロジェクトチーム

■［Task 29］　プロジェクト最終報告書の作成・提出

本プロジェクトの内容及び成果を取りまとめ、最終報告書を作成・提出した。

2.5 カウンターパート研修

第 2 年次（2008 年度）、第 3 年次（2009 年度）に本邦でのカウンターパート研修を実施した。

表 2.5.1 カウンターパート研修の概要

	2008 年度	2009 年度
研修名	JO-822251 実践的観光開発	JO-922147 実践的観光開発
研修員氏名	Mr. Vongdeuan Keosulivong, LNTA Mr. Kongphang Thephavong, PTD Savannakhet	Mr. Somkhid Chindamany, LNTA Ms. Sengathit Vongvolalath, PTD Savannakhet Mr. Samlane Phrachomphonh, PTD Savannakhet
研修期間	2008 年 9 月 29 日～2008 年 10 月 8 日	2009 年 9 月 28 日～2008 年 10 月 9 日
研修先	財団法人国際開発センター （埼玉県秩父市、川越市、立教大学他）	財団法人国際開発センター （埼玉県秩父市、川越市、立教大学他）
研修概要	わが国における地域観光振興の事例を通し、行政と民間の協力による地元観光資源を生かした観光プロダクトの開発と運営、プロモーション活動の模範事例を学ぶことで、ラオスの地域観光振興の参考とする。	わが国における地域観光振興の事例を通し、行政と民間の協力による地元観光資源を生かした観光プロダクトの開発と運営、プロモーション活動の模範事例を学ぶことで、ラオスの地域観光振興の参考とする。

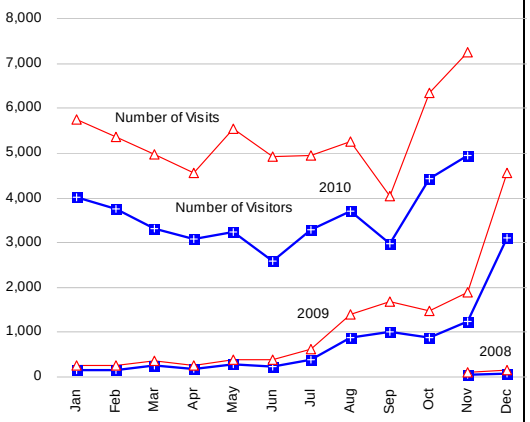
出典： JICA プロジェクトチーム

2.6 プロジェクト目標と成果の達成度

2010 年 12 月時点におけるプロジェクト目標、成果の各指標に対する達成度は、下表に示すとおりである。

表 2.6.1 プロジェクトの目標と成果の達成度

Project Purpose and Outputs	Verifiable Indicator	Situation as of December 2010
Project Purpose: Framework for promotion of tourism industry in Savannakhet is established.	1. 3 tourist information centers are in operation in Savannakhet by end of 2010.	3 tourist information centers at Savannakhet Eco-Guide Unit, PTD and 2nd Friendship Bridge are in operation.
	2. A permanent organization for promotion of tourism industry in Savannakhet is established by end of 2010.	An organization composed of 4 groups of hotels, guesthouses, tour companies and restaurants are established. Business Directory 2009-2010 is published with own tourism promotion fund.
Output 1: The tourism promotion plan is developed.	1. Strategy plan is formulated by middle of 2008.	Tourism Development Plan 2008-2010 was formulated in May 2008. Tourism Development Plan 2011-2015 was formulated in May 2010.
	2. 3 tour circuits/programs are developed based on available resources by middle of 2008.	1 walking tour circuit in Savannakhet downtown, 3 one-day tour circuits based from Savannakhet Town and 1 tour circuit along Route No. 9 are available since middle of 2008.
	3. Annual action plan is prepared every year.	PTD prepares annual action plan every year. It includes marketing and promotion activities, training programs for tourist service improvement and tourism administration, tourist site development researches.
Output 2: Collaboration system between LNTA/PTD and private sector related to tourism sector is established.	1. All of PTD staff and district coordinators receive marketing training by middle of 2008.	A marketing training in which PTD staff, district coordinators and working group members participated, was organized on 10-11/07/2008.
	2. 400 persons of tourism	The total number of participants in tourist service

	industry in Savannakhet receive tourist service training by end of 2010.	training are more than 400 as follows: - Tour Guide (22/09-11/10/2008) :37 - F&B Service (10-15/11/2008): 36 - F&B Service (26-29/12/2008): 20 - Housekeeping (05-11/02/2009): 29 - Local Cookie (06-08/07/2009): 25 - Marketing for Managers (23-24/07/2009): 30 - Front Desk (10-14/08/2009): 30 - District Coordinator (31/08-01/09/2009): 15 - Local Cookie 2 (19-20/12/2009): 25 - Local Food Service (05/11, 21-24/12/2009): 49 - Tour Guide (16/08-03/09/2010): 36 - Housekeeping (13-18/09/2010): 26 - F&B Service (04-09/10/2010): 35 - Local Food Service (27-28/10/2010): 5 shops
	3. Tourism promotion activity is organized every year.	Major tourism promotion activities conducted under the Project are as follows: - FAM Trip 1 (22-23/11/2008, 13-14/12/2008, 17-18/01/2009) - FAM Trip 2 (06-10/01/2010) - FAM Trip 3 (10-12/2010) - Participation in various tourism festivals in and out of Laos
Output 3: Tourism information for Laos and Savannakhet is prepared and provided.	1. 15 types of promotion materials are provided for tourists by end of 2010.	The following promotion materials are available: - LNTA Website - 4 Area Brochures (English) - 5 Tour Circuit and 2 Product Brochures (Lao, English, Thai) - 1 General Brochure (Lao, English, Japanese) - Tourist Information Master File (English) - Business Directory 2009-2010 (English) - On-Site Interpretation Board (21 sites) - Road Direction Sign in 4 Districts (61 posts) - Direction Sign in Savannakhet Town (42 posts) - Tourist Maps in Savannakhet Town (5 maps)
	2. Number of access to LNTA website is increased 20% by end of 2010.	
Output 4: Mechanism to prevent the negative impact caused by tourism development is installed.	1. Public Moral Committee is established by end of 2008.	Public Moral Committee was established in August 2008 and held the first meeting on 14/08/2008.
	2. Committee meetings are held regularly (at least 2 times per year).	Committee meetings were held on 18/02/2009, 31/08/2009 and 03-05/02/2010. Then, the Committee was integrated into the Working Group.

3　プロジェクトの管理・運営

3.1　実施体制

本プロジェクトは、LNTA 観光マーケティング・プロモーション局長が Project Director としてプロジェクトの全体管理に責任をもち、サバナケット県観光局長が Project Manager としてプロジェクト運営に責任をもった。

PTD は、サバナケット県の観光開発について協議し、推進するため、観光セクターに関わる様々な組織・団体を代表するメンバーで構成するワーキング・グループを設置した。また PTD は、観光客の増加がもたらす負の影響を最小化させることを目的とし、観光モラル向上委員会も設置した。

プロジェクトチームは、これらのラオス側実施機関に対して、適切かつ必要な助言を行った。

3.2　合同調整委員会（JCC）

合同調整委員会（Joint Coordinating Committee: JCC）が下記の目的で設置され、少なくとも毎年 1 回、開催された。

1. 合意された R/D の活動計画表（PO）に基づくプロジェクト年間計画の承認
2. 上記の年間計画を含むプロジェクト全体の進捗のレビュー
3. プロジェクトに関連する主要な課題についてのレビュー及び意見交換

表 3.2.1　合同調整委員会の構成

委員長		Director General, Tourism Marketing and Promotion Department, LNTA
委員	ラオス側	Director, PTD Savannakhet
		Deputy Director General, Planning and Cooperation Department, LNTA
		Deputy Director General, Tourism Marketing and Promotion Department, LNTA
		Director General, Department of International Cooperation (DIC/MPI)
		Any other person recommended by Chairperson
	日本側	Resident Representative, JICA Laos Office
		Japanese Experts of the Project
		Any other person recommended by JICA Office
		Officials of the Embassy of Japan may attend the JCC meetings as observers.

出典：　日本側、ラオス側の双方で合意された R/D

3.3　プロジェクトチーム

プロジェクトチームは以下の要員から構成され、3 年間のプロジェクト管理・運営を行った。

1. 総括／観光開発　　磯野哲郎
2. 観光商品開発　　岸並賜（第 1 年次）、
   奥田浩大（第 2～4 年次）
3. 観光ウェブサイト　　戸田陽一郎

また、日本人専門家の不在期間も含め、現地業務費の管理を含むプロジェクト管理・運営を補助する秘書・リサーチアシスタントを現地で雇用した。

4. 秘書・リサーチアシスタント Darling Sithiveth

表 3.3.1 専門家投入人月

	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	合計
投入人月（計画）	3.0	14.0	12.0	8.0	37.0
投入人月（実績）	3.0	14.0	12.0	8.0	37.0
達成割合	100%	100%	100%	100%	100%

出典： JICA プロジェクトチーム

3.4 報告書等

プロジェクトの実施期間をとおし、以下の報告書等を作成・報告し、関係者とプロジェクトの目的、進捗、成果、課題等の共有を図った。

表 3.4.1 作成された報告書一覧

報告書	作成時期	内容	言語
インセプションレポート	2008 年 1 月下旬	プロジェクト目標、実施方法、実施体制、他	和文 英文 ラオス語
年次報告書（第 1 年次）	2008 年 3 月下旬	第 1 年次の活動結果	和文 英文 ラオス語
半期報告書（第 1 号）	2008 年 9 月上旬	第 2 年次上半期の活動結果	和文 英文 ラオス語
年次報告書（第 2 年次）	2009 年 2 月下旬	第 2 年次の活動結果	和文 英文 ラオス語
半期報告書（第 2 号）	2009 年 9 月上旬	第 3 年次上半期の活動結果	和文 英文 ラオス語
年次報告書（第 3 年次）	2010 年 2 月下旬	第 3 年次の活動結果	和文 英文 ラオス語
プロジェクト事業完了報告書	2011 年 1 月上旬	本プロジェクト全体の活動結果 サバナケット県観光開発計画（2011-2015）要約を含む	和文 英文 ラオス語

出典： JICA プロジェクトチーム

3.5 供与機材

カウンターパート機関である国家観光庁マーケティング・プロモーション局およびサバナケット県観光局に対し、下記の機材を供与した。2011 年 1 月時点で、全ての機材は適正かつ有効に利用されている。

表 3.5.1 供与資機材リスト

資機材名	摘要	個数	到着日	設置場所	利用・管理状況
1. Digital Camera	Canon Powershot A650	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好
2. LCD Projector	Canon LV 7265	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好
3. Digital Video Camera	Canon DC 51	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好
4. Laptop Computer	Toshiba Satellite M200 E437T	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好
5. Facsimile Machine	Panasonic KX FT 933	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好
6. Scanner A4	Canon Lide 600F	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好
7. Mono Laser Printer	HP LaserJet P2015 dn	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好
8. Black & White Copier	Canon IR 2016	2	03/03/2008	LNTA, PTD SVK	良好

出典： JICA プロジェクトチーム

3.6 現地業務費

プロジェクトは 4 年次に渡って実施された。各年度の現地業務費の予算と実績は下表のとおりである。現地再委託業務は、第 2 年次の［Task 16］旅行者の満足度調査と［Task 30］LNTA ウェブサイトの改善・要員の研修において現地コンサルタント等を活用した。

表 3.6.1 現地業務費

	2007 年度	2008 年度	2009 年度	2010 年度	合計
各年度の予算（円）	879,000	8,362,000	7,348,000	3,857,000	20,446,000
現地再委託予算（円）	0	6,823,000	0	0	6,823,000
各年度の実績（円）	685,000	6,867,000	6,105,000	2,400,000	16,057,000
現地再委託実績（円）	0	4,688,000	0	0	4,688,000

註： 2007～2009 年度の実績は精算額、2010 年度の実績は 2010 年 12 月上旬における実績額

出典： JICA プロジェクトチーム

4　結論と提言

本プロジェクトの実施経過とプロジェクト目標、成果の達成度に基づき、プロジェクトの妥当性、有効性、効率性の評価を述べる。

4.1　妥当性

本プロジェクトの妥当性は高かったと判断される。

第6次国家社会経済開発計画2006-2010（National Socio-Economic Development Plan 2006-2010）では観光産業が外貨獲得、雇用創出、所得向上のための重要な産業として重視されている他、LNTA は観光戦略 2006-2020（National Tourism Development Strategy for Lao PDR 2006-2020）において観光産業はラオス国民の利益のために重要な役割を果たすと位置づけている。本プロジェクトは、このようなラオスの国家政策と合致し、関係機関や観光関連民間セクター、観光サイトのコミュニティとの協力で実施された。

プロジェクト対象のサバナケット県では、2006 年末の第 2 メコン橋の開通による東西回廊の利用客増大に伴い、タイやベトナムからの地域観光客、メコン地域を旅行する国際観光客が急増している。本プロジェクトは、増大する需要に対応した観光プロダクト、観光情報、観光サービスの改善をとおし、雇用の創出、所得の向上、貧困削減といった観光セクターのもたらす社会経済効果を高めることを意図したことから、対象地域の選定も適切であった。

4.2　有効性

本プロジェクトの有効性は高いと判断される。

本プロジェクトで制作された、観光客が直ちに観光体験を始めることを意図した観光パンフレット、その動機付けとなるポスター、時刻表や博物館の開館時間・料金等の実用的な観光情報を掲載した観光案内標準ファイルをはじめとする観光情報は、3 ヶ所の公的な観光案内所のみならず、サバナケット県内の多くのホテル、ゲストハウス、レストラン、バスターミナル、空港等の民間セクターによっても観光客に提供されている。その結果、定量的な計測はされていないが、観光サイトを訪れたり町を散策する観光客が増えた。間接的には、ホテル、ゲストハウス、レストランの増加がその正のインパクトを裏付けていると考えられる。

観光情報の整備に加え、観光サービス向上研修、FAM Trip の企画・実施や観光博への出展を含む官民協働プロモーション活動、観光開発と観光振興のためのワーキング･グループ活動、観光のもたらすネガティブなインパクトを最小化する観光モラル向上委員会の活動等、本プロジェクトの包括的な活動の結果、それまでビジネス展開に消極的であったサバナケット県の観光関連産業がホテル、ゲストハウス、レストラン、旅行会社の 4 つのグループを組織し、自主財源で観光ビジネス・ダイレクトリーを印刷し、協働プロモーションを推進するまでに意識改革が進んだ。

4.3 効率性

本プロジェクトの効率性は高いと判断される。

本プロジェクト対象のサバナケット県では、2000 年より SNV が欧米人観光客を主な対象として、県内の 3 ヶ所の保存林でのトレッキング・ツアーを主とするコミュニティ・ベース観光開発を支援してきた。その結果、県観光局およびトレッキングを運営する Eco-Guide Unit には、観光開発に対する基本的な認識と経験が備わっていた。本プロジェクトでは、サバナケット県の観光需要と観光資源をはじめとする供給サイドの分析を行い、トレッキング・ツアーと補完的で、かつ観光関連産業や地域コミュニティに裨益する観光プロダクト開発に焦点をおくことができた。

同様に、2009 年 4 月から始まった ADB の支援によるプロジェクトでは、サバナケット県東部の東西回廊沿いの Phine 郡に観光拠点を設置し、3 つの村を拠点としたコミュニティ・ベース観光開発を推進している。そこでは、本プロジェクトにより制作されたものと共通したデザイン、仕様の観光サイト道路標識、観光パンフレット等が採用されている。

また、サバナケット県は、東西回廊で結ばれたタイのムクダハン県、ベトナムのクアンチ県やフエ県と定期的な会議を開き、観光分野での協力を行っている。FAM Trip を含む本プロジェクトで行った官民協働の観光プロモーション活動は、このような既存の地域間協力の枠組みを活用し、タイの旅行業者、新聞・テレビ等のメディアを誘致することができた。

本プロジェクトの日本側の投入は小規模であったが、ラオス側や他のパートナーによる支援との連携および相乗効果は高い水準であった。

4.4 提言

サバナケットは、世界遺産のような国際的に強い吸引力をもつ観光資源がないことから、欧米や日本からサバナケットを目的地として観光客誘致はできないと考えられてきた。

本プロジェクトで 5 つの周遊観光ルートのひとつとして観光促進してきた Champhone Circuit は 2010 年 9 月にラムサール湿地として登録され、2011 年には世界的に知名度の高い Ho Chi Minh Trail 観光に便利な Phine 郡の観光案内所が開設される。また、2009 年から本格操業を開始したカジノも、バンコクやベトナムのホーチミンへ顧客市場を拡大する努力をしている。

このように、サバナケットでも周辺環境の大きな変化がゆっくりと動いている。LNTA および PTD は、常に見直しを行いつつ、観光関連民間セクターと地域コミュニティとの協力の下、サバナケット県観光開発計画 2011-2015 を着実に実施していくことが必要である。

Appendix-1 Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO) Ver. 1.0.0

Project Design Matrix (PDM)

Project Name: Prototype of Attractive Tourism Center in the East West Economic Corridor for Community Empowerment and Poverty Reduction
Duration: January 2008 – December 2010 (36 months) Date: September 3, 2008
Project Area: Savannakhet Province, Lao PDR Version No.: 1.0.0
Target Group: People in Savannakhet Province

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal			
The tourism industry in Savannakhet is promoted.	Number and sales of tourism industry in Savannakhet is increased 20% by end of 2015.	- Statistics of PTD - Interview survey to tourism industry	1. World wide epidemic such as bird flu is not prevalent. 2. Menace discouraging tourism such as terrorism does not break out.
Project Purpose			
Framework for promotion of tourism industry in Savannakhet is established.	1. 3 tourist information centers are in operation in Savannakhet by end of 2010. 2. A permanent organization for promotion of tourism industry in Savannakhet is established by end of 2010.	- Statistics of PTD - Decree or official declaration of the organization.	
Outputs			
1. The tourism promotion plan is developed.	1-1. Strategy plan is formulated by middle of 2008. 1-2. 3 tour circuits/programs are developed based on available resources by middle of 2008. 1-3. Annual action plan is prepared every year.	- Strategy plan document - Project annual report - Interview to LNTA/PTD - Annual action plan document	
2. Collaboration system between LNTA/PTD and private sector related to tourism sector is established.	2-1. All of PTD staff and district coordinators receive marketing training by middle of 2008. 2-2. 400 persons of tourism industry in Savannakhet receive tourist service training by end of 2010. 2-3. Tourism promotion activity is organized every year.	- Project annual report - Interview to LNTA/PTD - Project annual report - Interview to LNTA/PTD - Project annual report - Interview to LNTA/PTD	
3. Tourism information for Laos and Savannakhet is prepared and provided.	3-1. 15 types of promotion materials are provided for tourists by end of 2010. 3-2. Number of access to LNTA website is increased 20% by end of 2010.	- Produced materials - Interview to LNTA/PTD - Access counter record - Interview to LNTA/PTD	
4. Mechanism to prevent the negative impact caused by tourism development is installed.	4-1. Public Moral Committee is established by end of 2008. 4-2. Committee meetings are held regularly (at least 2 times per year).	- Project annual report - Project annual report - Interview to LNTA/PTD	
Activities	Inputs		
1-1. Establish and operate a Working Group in charge of tourism development in Savannakhet (*1). 1-2. Conduct a baseline survey to identify potential tourism resources in Savannakhet and Southern Provinces of Laos to explore their marketing opportunities. 1-3. Based on the baseline survey, identify and make an inventory of tourism resources (*2) in Savannakhet. 1-4 Conduct training for LNTA/PTD staff to be able to develop	<Japan> 1. Short-Term Experts - Chief Advisor/ Tourism Development - Tourism Product Development 2. Training in Japan - Counterpart training in Japan 3. Machinery and Equipment Equipment for Marketing and Promotion - Digital Cameras - LCD Projectors	<Laos> 1. Personnel - Project Director: LNTA, Director General of Tourism Marketing and Promotion - Project Manager: PTD, Director - Counterpart Personnel LNTA: Director of Tourism Promotion Division, Director of Tourism Marketing Division PTD: 2 Deputy Directors - Administrative Personnel LNTA: 1 person from Tourism	

marketing strategies. 1-5. Conduct survey of tourist's satisfaction. 1-6. Action plan for tourism development and tourism promotion plan are made. 2-1. Conduct training for private sector by LNTA/PTD staff to improve service quality. 2-2. Conduct promotion of tourism resources identified in Activity 1-3 with the collaboration of private sector related to tourism. 3-1. Compile information on tourism resources in Savannakhet and Southern Provinces in Laos. 3-2. Create information materials for tourists like brochure and audio visual materials, etc. 3-3. Improve LNTA website. 3-4. Disseminate tourism information utilizing tourist center. 3-5. Launch website of tourism in Savannakhet linked to LNTA website. 3-6. Conduct monitoring on the utilization of information. 4-1. Establish Public Moral Promotion Committee (*3). 4-2. Reflect recommendation of the Committee to tourism related administration.	- Digital Video Cameras - 4WD Vehicle Office Equipment - Computers - Facsimile Machine - Scanner - Monochrome Printers - Monochrome Copy Machines	Marketing and Promotion Department PTD: 1 person - Other personnel 2. Facilities - Office for Japanese experts - Utilities: electricity, water, sewerage, telephone, etc. - Data and Information 3. Operational Cost	Pre-Condition Major stakeholders collaborate with the project.

*1. This working group is expected to conduct activities as follows:
- Tourism promotion plan planning for the areas alongside the National Road No.9.
- Encourage related agencies to review regulations related to tourism if necessary.
- Focus marketing on national and regional, and international audience.
- Collaborate with neighboring countries.

Working group is consisted of PTD and other authority concerned, JICA, representative of local tourism businesses, and other key stakeholders.

*2. Tourism resources which will be identified by baseline survey are considered to be feasible for successful marketing. These include natural, cultural and historical resources, as well as local specialties. For example: agro-tourism, weaving experience, local specialty products and tours.

*3. This committee is expected to conduct activities as follows in full cooperation with concerned parties:
- Maintaining social order,
- Prevention of prostitution,
- Preservation of environment..

Not only LNTA/PTD but other stakeholder such as police, Women's Union, Department of Health, etc. must be included as committee members..

Plan of Operation (PO)

Project Name: Prototype of Attractive Tourism Center in the East West Economic Corridor for Community Empowerment and Poverty Reduction
Duration: January 2008 – December 2010 (36 months) Date: September 3, 2008
Project Area: Savannakhet Province, Lao PDR Version No.: 1.0.0
Target Group: People in Savannakhet Province

Outputs and Activities	2008	2009	2010
1. The tourism promotion plan is developed.			
1-1. Establish and operate a Working Group in charge of tourism development in Savannakhet (*1)			
1-2. Conduct a baseline survey to identify potential tourism resources in Savannakhet and Southern Provinces of Laos to explore their marketing opportunities.			
1-3. Based on the baseline survey, identify and make an inventory of tourism resources (*2) in Savannakhet.			
1-4 Conduct training for LNTA/PTD staff to be able to develop marketing strategies.			
1-5. Conduct survey of tourist's satisfaction.			
1-6. Action plan for tourism development and tourism promotion plan are made.			
2. Collaboration system between LNTA/PTD and private sector related to tourism sector is established			
2-1. Conduct training for private sector by LNTA/PTD staff to improve service quality.			
2-2. Conduct promotion of tourism resources identified in Activity 1-3 with the collaboration of private sector related to tourism.			
3. Tourism information for Laos and Savannakhet is prepared and provided.			
3-1. Compile information on tourism resources in Savannakhet and Southern Provinces in Laos			
3-2. Create information materials for tourists like brochure and audio visual materials, etc.			
3-3. Improve LNTA website.			
3-4. Disseminate tourism information utilizing tourist center.			
3-5. Launch website of tourism in Savannakhet linked to LNTA website.			
3-6. Conduct monitoring on the utilization of information.			
4. Mechanism to prevent the negative impact caused by tourism development is installed.			
4-1. Establish Public Moral Promotion Committee (*3).			
4-2. Reflect recommendation of the Committee to tourism related administration.			

*1. This working group is expected to conduct activities as follows:
- Tourism promotion plan planning for the areas alongside the National Road No.9.
- Encourage related agencies to review regulations related to tourism if necessary.
- Focus marketing on national and regional, and international audience.
- Collaborate with neighboring countries.

Working group is consisted of PTD and other authority concerned, JICA, representative of local tourism businesses, and other key stakeholders.

*2. Tourism resources which will be identified by baseline survey are considered to be feasible for successful marketing. These include natural, cultural and historical resources, as well as local specialties. For example: agro-tourism, weaving experience, local specialty products and tours.

*3. This committee is expected to conduct activities as follows in full cooperation with concerned parties:
- Maintaining social order,
- Prevention of prostitution,
- Preservation of environment..

Not only LNTA/PTD but other stakeholder such as police, Women's Union, Department of Health, etc. must be included as committee members..

Appendix-2 Project Design Matrix (PDM) and Plan of Operation (PO) Ver. 2.0.0

Project Design Matrix (PDM)

Project Name: Prototype of Attractive Tourism Center in the East West Economic Corridor for Community Empowerment and Poverty Reduction
Duration: January 2008 – January 2011 (36 months) Date: Jun 10, 2009
Project Area: Savannakhet Province, Lao PDR Version No.: 2.0.0
Target Group: People in Savannakhet Province

Narrative Summary	Objectively Verifiable Indicators	Means of Verification	Important Assumption
Overall Goal			
The tourism industry in Savannakhet is promoted.	Number and sales of tourism industry in Savannakhet is increased 20% by end of 2015.	- Statistics of PTD - Interview survey to tourism industry	1. World wide epidemic such as bird flu is not prevalent. 2. Menace discouraging tourism such as terrorism does not break out.
Project Purpose			
Framework for promotion of tourism industry in Savannakhet is established.	1. 3 tourist information centers are in operation in Savannakhet by end of 2010. 2. A permanent organization for promotion of tourism industry in Savannakhet is established by end of 2010.	- Statistics of PTD - Decree or official declaration of the organization.	
Outputs			
1. The tourism promotion plan is developed.	1-1. All of PTD staff and district coordinators receive marketing training by middle of 2008. 1-1. Strategy plan is formulated by middle of 2008. 1-2. 3 tour circuits/programs are developed based on available resources by middle of 2008. 1-3. Annual action plan is prepared every year.	- Project annual report - Interview to LNTA/PTD - Strategy plan document - Project annual report - Interview to LNTA/PTD - Annual action plan document	
2. Collaboration system between LNTA/PTD and private sector related to tourism sector is established.	2-1. 400 persons of tourism industry in Savannakhet receive tourist service training by end of 2010. 2-2. Tourism promotion activity is organized every year.	- Project annual report - Interview to LNTA/PTD - Project annual report - Interview to LNTA/PTD	
3. Tourism information for Laos and Savannakhet is prepared and provided.	3-1. 15 types of promotion materials are provided for tourists by end of 2010. 3-2. Number of access to LNTA website is increased 20% by end of 2010.	- Produced materials - Interview to LNTA/PTD - Access counter record - Interview to LNTA/PTD	
4. Mechanism to prevent the negative impact caused by tourism development is installed.	4-1. Public Moral Committee is established by end of 2008. 4-2. Committee meetings are held regularly (at least 2 times per year).	- Project annual report - Project annual report - Interview to LNTA/PTD	
Activities	Inputs		
1-1. Establish and operate a Working Group in charge of tourism development in Savannakhet (*1). 1-2. Conduct a baseline survey to identify potential tourism resources in Savannakhet and Southern Provinces of Laos to explore their marketing opportunities. 1-3. Based on the baseline survey, identify and make an inventory of tourism resources (*2) in Savannakhet. 1-4 Conduct training for LNTA/PTD staff to be able to develop	<Japan> 1. Short-Term Experts - Chief Advisor/ Tourism Development - Tourism Product Development 2. Training in Japan - Counterpart training in Japan 3. Machinery and Equipment Equipment for Marketing and Promotion - Digital Cameras - LCD Projectors	<Laos> 1. Personnel - Project Director: LNTA, Director General of Tourism Marketing and Promotion - Project Manager: PTD, Director - Counterpart Personnel LNTA: Director of Tourism Promotion Division, Director of Tourism Marketing Division PTD: 2 Deputy Directors - Administrative Personnel LNTA: 1 person from Tourism	

1

marketing strategies. 1-5. Conduct survey of tourist's satisfaction. 1-6. Action plan for tourism development and tourism promotion plan are made. 2-1. Conduct training for private sector by LNTA/PTD staff to improve service quality. 2-2. Conduct promotion of tourism resources identified in Activity 1-3 with the collaboration of private sector related to tourism. 3-1. Compile information on tourism resources in Savannakhet and Southern Provinces in Laos. 3-2. Create information materials for tourists like brochure and audio visual materials, etc. 3-3. Improve LNTA website. 3-4. Disseminate tourism information utilizing tourist center. 3-5. Launch website of tourism in Savannakhet linked to LNTA website. 3-6. Conduct monitoring on the utilization of information. 4-1. Establish Public Moral Promotion Committee (*3). 4-2. Reflect recommendation of the Committee to tourism related administration.	- Digital Video Cameras - 4WD Vehicle Office Equipment - Computers - Facsimile Machine - Scanner - Monochrome Printers - Monochrome Copy Machines	Marketing and Promotion Department PTD: 1 person - Other personnel 2. Facilities - Office for Japanese experts - Utilities: electricity, water, sewerage, telephone, etc. - Data and Information 3. Operational Cost	Pre-Condition Major stakeholders collaborate with the project.

*1. This working group is expected to conduct activities as follows:
- Tourism promotion plan planning for the areas alongside the National Road No.9.
- Encourage related agencies to review regulations related to tourism if necessary.
- Focus marketing on national and regional, and international audience.
- Collaborate with neighboring countries.

Working group is consisted of PTD and other authority concerned, JICA, representative of local tourism businesses, and other key stakeholders.

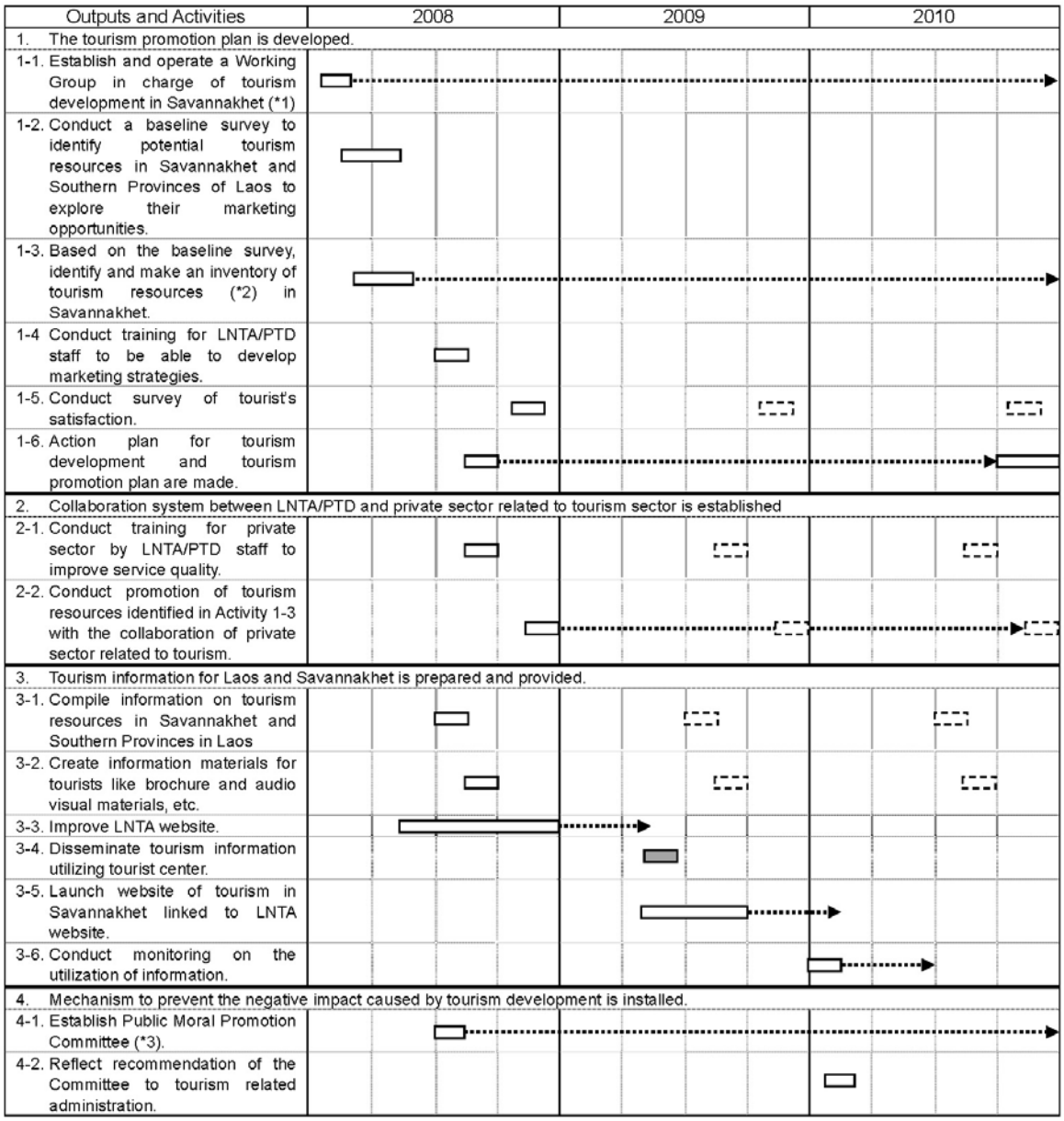
*2. Tourism resources which will be identified by baseline survey are considered to be feasible for successful marketing. These include natural, cultural and historical resources, as well as local specialties. For example: agro-tourism, weaving experience, local specialty products and tours.

*3. This committee is expected to conduct activities as follows in full cooperation with concerned parties:
- Maintaining social order,
- Prevention of prostitution,
- Preservation of environment.

Not only LNTA/PTD but other stakeholder such as police, Women's Union, Department of Health, etc. must be included as committee members.

Plan of Operation (PO)

Project Name: Prototype of Attractive Tourism Center in the East West Economic Corridor for Community Empowerment and Poverty Reduction
Duration: January 2008 – January 2011 (36 months) Date: June 10, 2009
Project Area: Savannakhet Province, Lao PDR Version No.: 2.0.0
Target Group: People in Savannakhet Province



*1. This working group is expected to conduct activities as follows:
- Tourism promotion plan planning for the areas alongside the National Road No.9.
- Encourage related agencies to review regulations related to tourism if necessary.
- Focus marketing on national and regional, and international audience.
- Collaborate with neighboring countries.

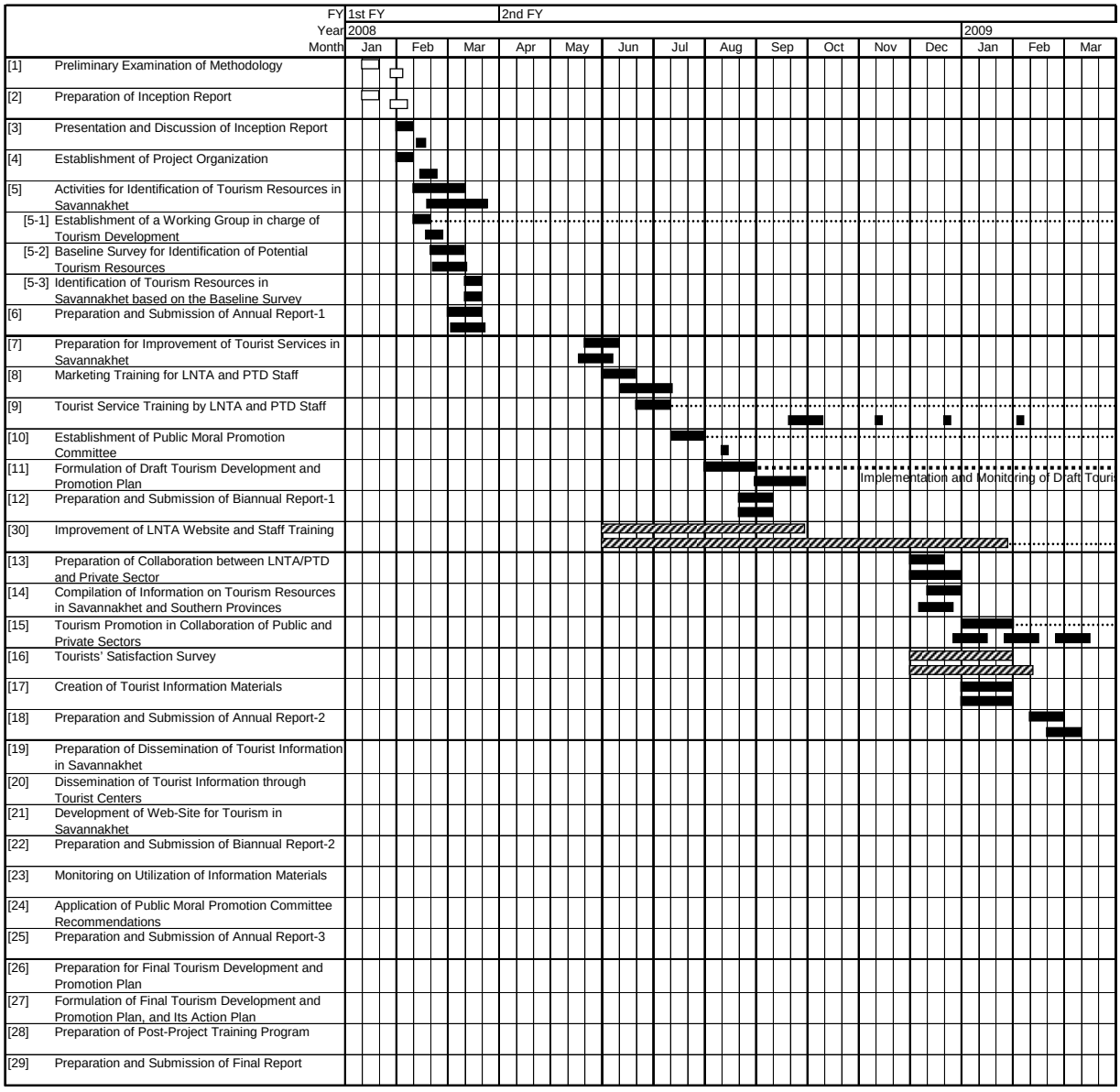
Working group is consisted of PTD and other authority concerned, JICA, representative of local tourism businesses, and other key stakeholders.

*2. Tourism resources which will be identified by baseline survey are considered to be feasible for successful marketing. These include natural, cultural and historical resources, as well as local specialties. For example: agro-tourism, weaving experience, local specialty products and tours.

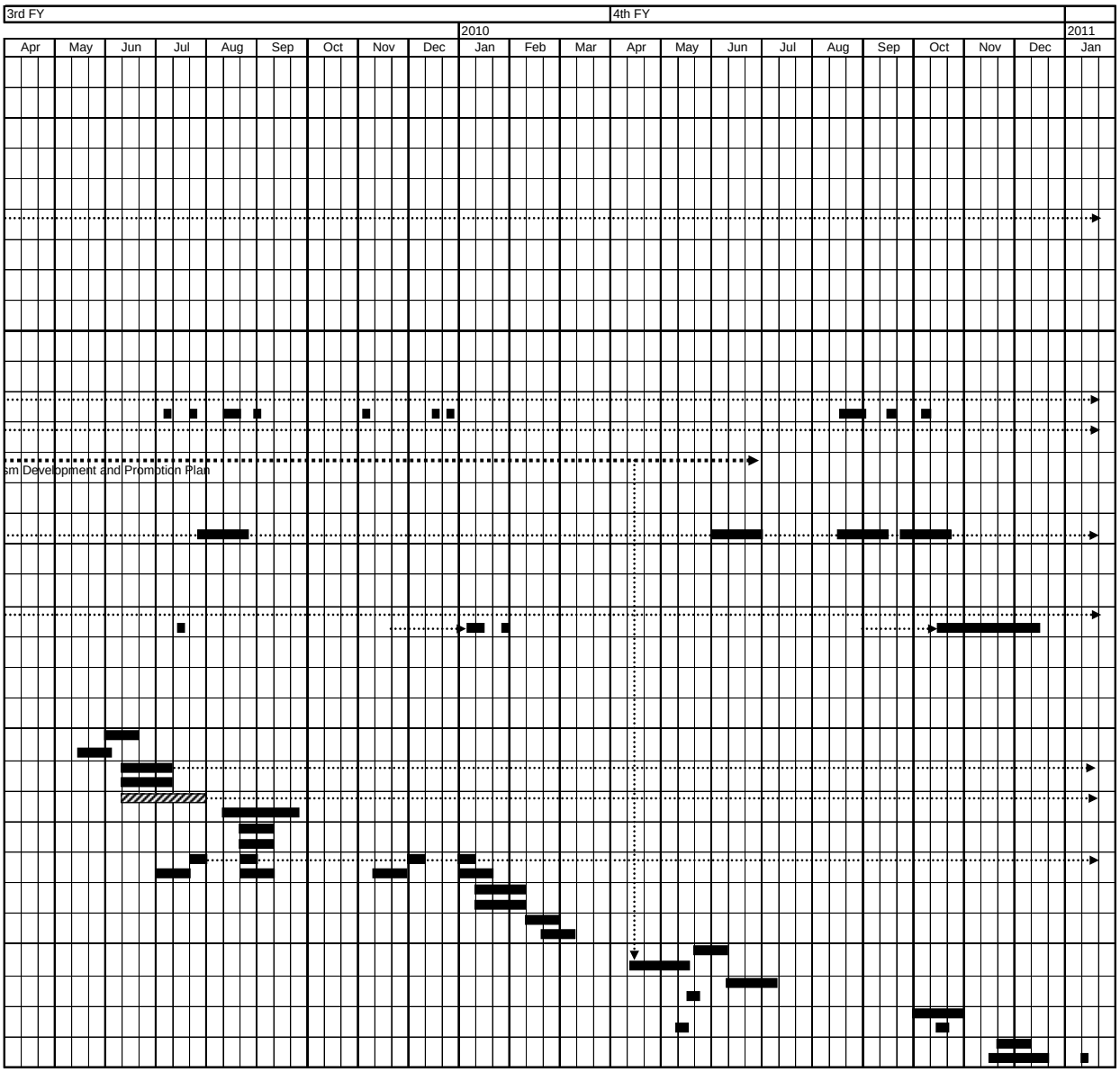
*3. This committee is expected to conduct activities as follows in full cooperation with concerned parties:
- Maintaining social order,
- Prevention of prostitution,
- Preservation of environment..

Not only LNTA/PTD but other stakeholder such as police, Women's Union, Department of Health, etc. must be included as committee members..

Appendix-3 Planned and Implemented Work Plan from January 2008 to January 2011



Appendix-3 Planned and Implemented Work Plan from January 2008 to January 2011 (Continued)



Appendix-4 Executive Summary of Savannakhet Province Tourism Development Plan 2011-2015

Part I: Evaluation of Tourism Development Plan 2006-2010

1. Tourism Development Policy in Savannakhet Province

2. Tourism Development Progress between 2006 and 2010

2.1 9 Projects Implemented

1. Improve tourist sites along Route No. 13
2. Construction of Dinosaur Museum in Sonnabouly District
3. Construction of access road to Stone House in Xayipouthong District
4. Construction of road side station along Route No. 9
5. Construction of souvenir shop and handicraft shop
6. Construction of 4-star hotel and update promotion materials
7. Construction of resort in Quang Tri, Vietnam
8. Construction of complex composed of hotel, shopping center and bus station.
9. Construction of vocational training center

2.2 Action Plan and Activities

- Several projects were undertaken by SNV, JICA and ADB to implement action plan 2006-2010.

2.3 Tourism Demand

Tourist Arrivals at international borders in Savannakhet Province between 2004 and 2009 are as follows:

	2004	2005	2006	2007	2008	2009*
Frontier Arrivals	114,391	135,686	165,360	330,667	474,826	589,173

2.4 Tourism Infrastructure

- Due to good land transportation, there are a lot of transit tourists from/to Thailand, Vietnam and other part of Laos. However, tourist attractions in Savannakhet are still so poor that economic benefit is limited.
- In Savannakhet, there are 12 tour companies among which 4 are locally based. In 2009, all 12 tour companies earned LAK 211,000,000.
- Eco-Guide Unit operates trekking programs. The numbers of tourists joined in 2006, 2007, 2008 and 2009 were 366, 318, 571 and 418 respectively.
- In 2010, there are 20 hotels in Savannakhet. The total number of rooms is 911.
- In 2010, there are 107 guest houses in Savannakhet. The total number of rooms is 1,651.

2.5 Tourism Products

- 104 Tourist Sites (56 natural sites, 24 historical sites, 24 cultural sites) are currently identified in Savannakhet Province.
- 5 tour circuits are established under JICA Project.
- Tourist Satisfaction Survey was conducted in 2008 with 503 tourists in Savannakhet to understand evaluation of tourist sites, services and their behavior in terms of expenditure and length of stay.

2.6 Good Practices and Issues

(1) Advantage

- The number of domestic and Thai tourists has been increased.
- The number of arrivals has been increased 37% annually for the past 5 years.
- Basic infrastructure such as Route No.9 and No. 13 is in good condition.
- Cooperation among neighboring countries, with donors and the Government for supporting tourism development is progressed.
- Existence of unique tourist sites in Savannakhet.
- Many historical, natural and cultural tourist sites in the Province.

(2) Issues

- Lack of human resources in tour companies and PTD
- Lack of knowledge on tourism management
- Non existence of service units in tourist sites
- Non existence of on site tourist information
- No accurate tourist information and data
- Lack of tourism promotion for domestic tourism
- Poor access roads to the tourist sites
- Lack of awareness among tourist site villagers
- Non existence of cooperation among tour companies and other tourism related industries

(3) Lesson Learned

- Increased cooperation with other departments, local communities, etc.
- Collection system of tourism tax from tourist sites, tour companies and other tourism related industries.
- Increased cooperation with international organizations and neighboring countries in order to promote tourism in Laos.

Part II: Tourism Development Plan 2011-2015

1. Outline of Savannakhet Province

1.1 Geography

Savannakhet is located in the middle of Laos and borders Khammouan Province to the north, Salavan Province to the south, Vietnam to the east and Thailand to the west. Savannakhet Province is composed of 15 Districts, 1,012 Villages and 134,646 households. Savannakhet is the second largest province 21,774 km^2 after Vientiane Province.

1.2 Population and Economy

The population of Savannakhet Province is 858,582. It is the second densely inhabited province after Champasak. Savannakhet has 11 ethnic groups among all 47 found in Las PDR: Lao, Phou Thai, Thai Dam, Ka Tang, Mang Korn, Ja Lee, La Va, Suoi, Pai Ko, Ka Leu and Ta Oiy. 65% of population in Savannakhet is famers. The average member of family is 6.4.

Savannakhet Province is rich in agriculture, forestry and mining. Between 2006 and 2010, GDP per capita has been constantly increasing (12.6% on average). GDP per capita in 2010 is estimated at around USD 897.

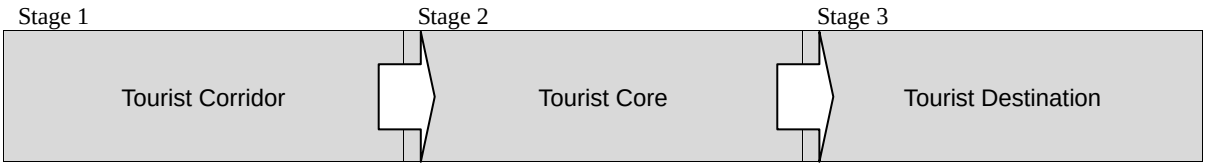
	2005	2006	2007	2008	2009	2010
GDP per Capita (USD)	319	443	525	587	799	897

2. SWOT Analysis

Strengths	Weaknesses	Opportunities	Threats
· Regional tourist growth (arrivals) · Increase in Thai visitor market share (Thais comprise 50%) · 37% arrival growth rate over the past 5 yrs · Favorable infrastructure and access: Rd #9 (EWEC) and Rd #13 · Support (political will and donor funding) to develop Savannakhet tourism industry · Differentiation via historical theme; potential SVK branding/identity · Cultural, natural and historical attractions	· Lack of understanding of tourist/visitor profiles · Lack of "brand identity" for SVK · Attraction information – tourists have a hard time figuring out what SVK has to offer and information at attractions is unavailable · Lack of quality/reliable tourism data and statistics · Little marketing/promotion outside of SVK · Poor "Last mile" connections to attractions · Limited private sector involvement in destination marketing	· Grow domestic and regional interest · Leverage high volume and growth rate (37%); 2nd largest entry point into Laos · Incrementally transition "transit-only tourists" to tourists · Emergence of regional and border tourism	· Limited capacity among many officials to plan and market the tourism sector · Inaction and/or resources spent on low impact activities - missing out on SVK's potential from high tourist volume · Competition from other provinces; ability to compete for tourist's time · Reduced funding for development and promotion

3. Tourism Development Strategy

3.1 Vision



The development vision of Savannakhet is to transfer it from the current position to tourist core along the tourist corridor, then to tourist destination in future.

3.2 Trend of Tourist Arrivals

(1) Global Perspective

In 1990, the number of worldwide tourists reached 455 million, with generated revenues of USD 264 billion. In 2005, the number of tourists had grown to 805 million with generated revenues of USD 640 billion. The projection for 2020 is about 1.56 billion international tourists, with expected revenue of USD 1.55 trillion.

(2) Regional Perspective

As GMS countries opened their borders for travel, trade and investment in early 1990s, new travel patters and trends emerged involving border tourism. The borderland areas of GMS saw rapid increases in the number of regional visitors. By 2004, the number of border area visitors reached 24 million, a rise by 19% in that year alone. As the most countries allow border pass holders to stay for at least 72 hours, trends of day-trippers or weekend visitors have emerged. Currently, border area visitors constitute the largest tourist group in GMS, accounting for 60% of all visitors in GMS. Thus, understanding and studying the travel patterns and preferences of this group becomes increasingly important.

(3) Lao PDR Perspective

The number of tourists to Lao PDR has been increasing with an average growth rate of 20.5% from 1990-2008. In 2000-2001 the number of visitors slightly decreased due to the SARS threat but the market rebounded quickly after 2004. The number of tourists in Lao PDR continued to increase up to 2008 with 1,736,787 tourist arrivals generating USD 276 million.

3.3 Consistency with National Development Plans

The following upper level plans were reviewed to ensure that the plan is in line with the national development goals:

1. National Growth and Poverty Eradication Strategy (NGPES)
2. National Socio-Economic Development Plan (NSEDP) 2006-2010
3. LNTA National Tourism Strategy 2006-2020

3.4 Tourism Development Phasing

Key steps of the tourism development in Savannakhet are as follows:

1. Tourist Corridor
2. Tourist Core
3. Tourist Destination

Stage 1	Stage 2	Stage 3
Tourist Corridor	Tourist Core	Tourist Destination
Tourist Corridor connects 2 ore more tourist destinations. Tourists spend little time stopping along the Corridor.	Tourists take time to visit attractions while en route to their destination and take advantage of shopping, dining and exchange of information. However, length of stay is limited in a few days.	Tourists are willing to travel to the location which appeals its historical, cultural and/or natural attractions. Tourists stay longer.
Increased Volume	Increased Volume Expenditure Stay (hours)	Increased Volume Expenditure Stay (days)

3.5 Goals and Objectives

- Ensure tourism products are in line with market needs, interests and demands.
- Focus on and track core tourism metrics: increasing tourist volume, length of stay and expenditure.
- Provide a clear path for Savannakhet to progress from tourist corridor, to tourist core to tourism destination.
- 5.4 Take an incremental approach to tourism development. Small but strategically placed steps/actions can yield large benefits when tourist volumes are high.
- 5.5 Foster effective partnerships and alliances with stakeholders to advance sustainable tourism development.
- 5.6 Improve quality of tourism services/products to meet different market segments needs.
- 5.7 Proactively encourage pro-poor tourism and inclusion of local communities.

3.6 Strategic Targets

Positioning: to strengthen/stabilize tourist core by 2011, and to become a tourist destination by 2015

Tourist Volume: to maintain 11.2% arrival growth rate until 2012, and to increase the rate by 1%

annually from 2012 to 2015

Tourist Expenditure: to increase by 5% per year, to double 2009 expenditure in 2012 generating USD 31.2 million, and to double 2012 expenditure in 2015 generating USD 43.8 million

Length of Stay: to extend length of stay to 3 days by 2012 and 4 days by 2015

3.7 Demand Projection

	2009	2010 E	2011 E	2012 E	2013 E	2014 E	2015 E
Tourist Arrivals	598,100	655,400	802,200	892,900	1,070,500	1,126,400	1,252,400
Expenditure (USD in million)	20.6	22.9	28.0	31.2	37.4	39.4	43.8

3.8 Strategy for Increasing Tourist Arrivals

- Making Savannakhet a more attractive destination;
- Increasing the percentage of return visitors due to satisfied tourist experiences (developing attraction sites and ease of access);
- Improved targeting of new and existing markets and products;
- Enhanced shopping and entertainment venues and options; and
- Implementing a clear branding/image strategy.

3.9 Strategy for Increasing Tourist Expenditure

- Setting up souvenir shops and dining facilities in the vicinity of the popular attractions;
- Improving supply chain linkages for local handicraft producers and providing them with access to sell goods at popular tourist shopping facilities;
- Arranging tourist visits to the manufacturing facilities;
- Savannakhet Province marketing itself through direct advertising in regions from which it hopes to attract the tourists (radio, TV, travel magazines etc.);
- Forming relationships with tour operators in source markets, enticing them to include the Province on travel itineraries; and
- Hosting FAM Trips.

3.10 Strategy for Extending Length of Stay

- Attracting transit tourists.
- Establishing branding image of Savannakhet for tourists.

3.11 Tourism Development Strategies

- Destination branding
- Consolidated and linked actions (marketing, tourism product development, improved services, transportation, accommodation, entertainment and shopping, restaurants and food/beverage services, tourism management, human resource development, and coordination and partnership).

3.12 Marketing and Promotion

- Brand/Identity Development
- Tour Circuit Development
- Information Dissemination

- Events and Fairs
- MICE Market Development
- FAM Trips
- Provincial Profiles and Brochures

3.13 Tourism Product Development

(1) Flagship Attractions

- Identification of flagship attractions and products by market segment (Thai tourists, international tourists, etc.).

(2) Information

- Improvement of quality and dissemination of its tourist attraction information for tour operators, hotels, tourist information centers and tourist sites.

(3) Services

- Construction of roadside service stations to cater to in-transit tourists along EWEC at Muang Phine and Phalanxay.
- Improvement of the availability of tourism information across all districts.
- Development and strengthening of the transport services to the final destination (buses, taxis, tuk-tuk, sontew, etc.) to facilitate tourist length of stay and ease of access to attractions.

(4) Transportation

- Tourists need logistics/details regarding how to reach attractions independently.
- Tourism information should be provided on notice boards at bus stations and other tourist hubs.
- Tuk-tuk service and availability of local transport should be improved, including for buses arriving in the evening and night time.

(5) Accommodation

- Encourage the development of accommodations at strategic locations for tourism development.
- Improve the reporting of occupancy levels and marketing data by accommodation businesses/providers.
- Provide tourism information services at accommodation locations.
- Provide training for owners, managers and staff of accommodation businesses.

(6) Entertainment and Shopping

- Foster connectivity between buyers and sellers, strengthen the role of associations, and encourage public-private partnerships that will develop entertainment and shopping in the Province.
- Provide training in branding, packaging, marketing and pricing of products.
- Re-zone the existing night market area to become a “walking street”.
- Develop an evening handicraft market in Kaysone Phomvihan district.
- Develop night market entertainment. This could include traditional music and dance performances, similar to the Chiang Mai, Thailand Night Bazaar or other outdoor events. Ensure that night market development is linked with promotion of handicraft and local product sales.
- Develop a theme/representation from all of Laos, rather than exclusively focusing on Savannakhet.

For many people travelling along EWEC, it will be their only experience in Laos, and as many of them are of a souvenir buying nature it would maximize the spending/visitor if more was made available to them. SVK as the "Cross-roads" in Laos could add to the "trading" dimension of such a theme.

- Organize monthly or twice-monthly events at the handicraft/night market. Timing should attempt to coincide with major festivals in Savannakhet and public holidays in Thailand and Vietnam.
- Prioritize necessary physical improvements such as landscaping, benches and seating, signage, etc.

(7) Restaurants

- Savannakhet Province should work towards developing better quality dining options and encouraging restaurant owners to open establishments near town centers or areas to be developed. For example, Night Market area should provide incentive for new restaurants and food & beverage establishments which further reinforces surrounding tourism infrastructure.

(8) Tourism Management

- Leadership and Direction
- Role of Industry Associations
- Pro-poor Tourism
- Tourism Data and Statistics
- Environmental Sustainability

(9) Resources

- Human resource management
- Financial Resources

(10) Coordination

- Coordination of Donor Activities
- Develop a Provincial Public Private Partnership Strategy

4. Tour Circuit Development and Road Improvement

4.1 Tour Circuit Development

- Savannakhet Historical Downtown 1st Priority
- Savannakhet Outskirt 1st Priority
- Champhone Circuit 2nd Priority
- Ho Chi Minh Trail (Route.9) 3rd Priority
- Mekong River South (Xayphouthong) 4th Priority
- Other Districts

4.2 Road Improvement

- Linking tourist sites with 2 provinces of Laos and 2 provinces of Thailand through 2nd and 3rd Friendship Bridge.
- Linking tourist sites with 5 provinces of Laos and 11 provinces of Thailand through 1st, 2nd and 3rd Friendship Bridge.
- Linking tourist sites with 2 provinces of Laos, 2 provinces of Vietnam and 2 provinces of Thailand

through 2nd and 3rd Friendship Bridge.

- Linking tourist sites with 5 provinces of Laos, other provinces in North-Easter Thailand and middle provinces of Vietnam.

4.3 Phased Promotion Plan

- Nomination of coordinators and personnel in charge of each tourist circuit.
- Conducting field surveys by stakeholders.
- Hosting familiarization (FAM) trips by inviting media, stakeholders and other relevant organizations in the tourism sector.
- Supporting private sector for mutual cooperation and partnership.
- Hosting annual meetings to discuss issues among stakeholders in the tourism sector and other relevant organizations.
- Holding exhibitions.

5. Tourism Development Action Plan

(1) Savannakhet Outskirts and Historic Downtown

- Historic Downtown Development
- Dong Natad Provincial Protected Area and That Ing Hang Stupa
- Bungva Lake and Lotus Garden

(2) Champhone Circuit and Xonnabouly District

- Sui Lake
- Monkey Forest- Hotay Pidok
- Taleo Old Village and Temple
- Turtle Lake
- Ong Mang NPA

(3) Tourism Development along Route No. 9

- Dong Phouvieng NPA
- Phin-Tad Hay-Norn Nyang
- Virabouly Weaving Center
- Sepon Tourism Development
- Old Sepon and Ban Don Tourism Development

(4) Mekong River South (Xayphouthong- Songkhone)

- That Phone
- Stone House and Fruit Island
- Lahanam Cotton Weaving

(5) Thapangthong District

- Field survey

(6) Training

- PTD staff and District coordinators
- Public awareness

- Short-term training for tourist service improvement

(7) Tourism Promotion Activities

- Creation of information and promotion materials
- Organization of FAM Trips
- Events and festivals
- Investment seminars
- Market surveys

(8) Regional Cooperation Projects

- Savannakhet-Mukdahan-Quang Tri (Laos-Thailand-Vietnam)
- Central 5 provinces

6. Priority Projects 2011-2015

Area and Project	Component	Indicative Cost (LAK in million)
A. Champhone Circuit		19,470
1. Tourist Facility Development at Soui Lake		3,560
	1-1. Visitor Center	500
	1-2. Road Improvement and Parking	3,000
	1-3. Training of Working Staff and Villagers	50
	1-4. On-Site Information	10
2. Monkey Forest-Hotay Pidok Trail Development		8,060
	2-1. Monkey Forest-Hotay Pidok Trail	3,000
	2-2. Old-Fashioned Bridge over the Xe Champhone River	5,000
	2-3. Training of Working Staff and Villagers	50
	2-4. On-Site Information	10
3. Hotay Pidok Tourism Development		3,050
	3-1. Village Road Improvement	3,000
	3-2. Training of Working Staff and Villagers	50
4. Taleo Old Village Tourism Development		1,750
	4-1. Taleo Old Temple Restoration	200
	4-2. Village Road Improvement	1,200
	4-3. Visitor Center	300
	4-4. Training of Working Staff and Villagers	50
5. Turtle Lake Tourism Development		3,050
	5-1. Village Road Improvement	3,000
	5-2. Training of Villagers	50
B. Mekong River South Circuit		12,840
1. That Phone Tourism Development		2,360
	1-1. Visitor Center	300
	1-2. Village Road Improvement	2,000
	1-3. Training of Working Staff and Villagers	50
	1-4. On-Site Information	10
2. Stone House & Fruits Island Tourism Development		4,360
	2-1. Village Road Improvement	4,000
	2-2. Visitor Center	300
	2-3. Training of Working Staff and Villagers	50
	2-4. On-Site Information	10
3. Kong Phanang Tourism Development		3,060
	3-1. Village Road Improvement	3,000
	3-2. Training of Villagers	50
	3-3. On-Site Information	10
4. Lahanam Cotton Weaving Tourism Development		3,060

4-1. Village Road Improvement	3,000
4-2. Training of Villagers	50
4-3. On-Site Information	10
C. Ho Chi Minh Trail Circuit	3,060
1. Phine-Tad Hay Tourism Development	0
2. Virabouly Weaving Center Tourism Development	0
3. Old Sepon and Ban Don Tourism Development	3,060
3-1. Sepon River Cruise Development	1,000
3-2. Village Road Improvement	2,000
3-3. Pong Cave Trekking Development	10
3-4. Training of Villagers	50
D. Historic Downtown of Savannakhet	10,000
1. Development of Tourist Streets	6,000
2. Improvement of Pedestrian Sidewalks	4,000
E. Common Activities	600
1. Production of Promotion Materials	500
2. Promotion Activities	100
Grand Total LAK in million	45,970

7. Implementation, Monitoring and Evaluation

7.1 Implementation

This Savannakhet Province Tourism Development Plan 2011-2015 was formulated in consultation with selected provincial tourism stakeholders in a participatory manner.

The plan is to be distributed to the stakeholders and to be implemented in collaboration. As development proceeds and additional source market data comes to light, the plan is to be reviewed and updated on a regular basis. The actions will be implemented through the annual work plans of the PTD and key partners.

7.2 Follow-Up and Monitoring

Monitoring is to be made periodically by all the stakeholders in order to obtain successful outcome.

7.3 Evaluation

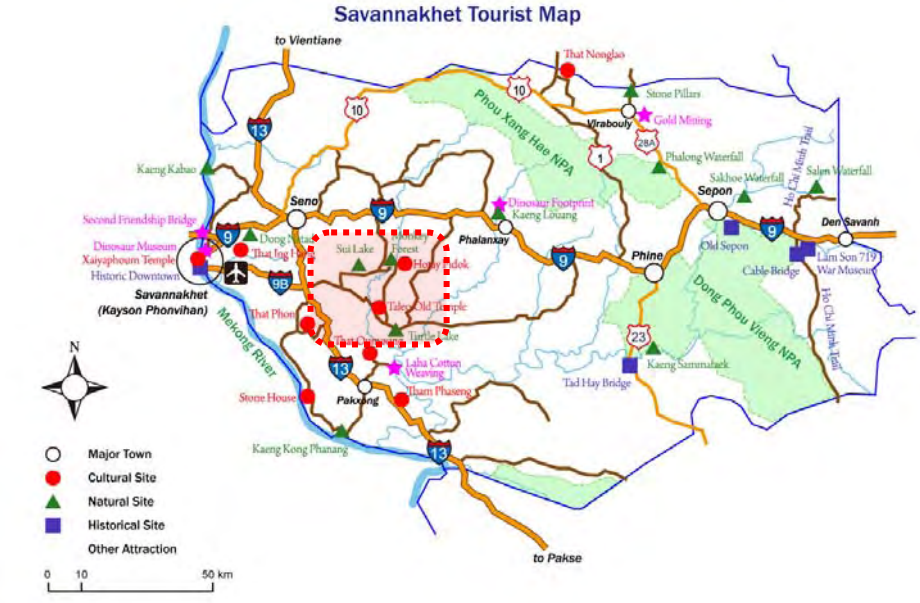
Key indicators for evaluation of performance are as follows:

- Increase in visitor arrivals
- Increase in length of stay
- Increase in revenue generated by tourism
- Increase in visitor numbers to tourist sites
- Increase in accommodation occupancy
- Trends in business activity such as new and improved accommodation, restaurants, entertainment venues, tour operators, tourism attractions, etc.
- Increase in employment from tourism
- Development of new tourism projects
- Level of visitors' satisfaction
- Level of exposure in the media, including guidebooks and travel websites

Appendix-5 Proposed Priority Tourism Projects in Savannakhet Province 2011-2015

The following priority projects were identified based on the practices conducted under the EWEC Tourism Promotion Project, with a view to strengthening the position of Savannakhet to be "Tourist Destination". Components in this document, however, are limited in those to be carried out mainly by the public sector, though cooperation with the private sector is essential to obtain satisfactory results. Note that the costs are still indicative.

A. Champhone Circuit



1. Tourist Facility Development at Soui Lake (Total: LAK 3,560 million)

1-1. Visitor Center (LAK 500 million)

- Wooden Building (approximately 80 square meters)
- Tourist Information
- Boat Service for Fishing, Bird Watching, etc.
- Local Guides
- Clean WC
- Audio-Visual Displays

1-2. Road Improvement and Parking (LAK 3,000 million)

- Environmentally friendly pavement along the bank of Soui Lake

1-3. Training of Working Staff and Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, Birds, Plants, Nature, Agriculture, etc.)
- Food Service (Hygiene, Menu, Hospitality, etc.)
- Hospitality for Souvenir Shop

1-4. On-Site Information (LAK 10 million)

- Interpretation boards (Lake, history, civil work by Souphanovong, agriculture, nature, etc.)

- Signs for/at fishing points, bid watching points, etc.

2. Monkey Forest-Hotay Pidok Trail Development (Total: LAK 8,060 million)

2-1. Monkey Forest-Hotay Pidok Trail (LAK 3,000 million)

- Environmentally Friendly Trail between Monkey Forest and Hotay Pidok
- Permeable pavement by using natural stones/gravels (Total length: approximately 2 km)
- Tree Planting along the trail
- Auxiliary facilities (Parking, Signs, Viewpoints, etc.)

2-2. Old-Fashioned Bridge over the Xe Champhone River (LAK 5,000 million)

- Construction of bridge (span: 150 m)
- Bridge piers: Concrete
- Bridge girders: Steel
- Finishing: Wood

2-3. Training of Working Staff and Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, Birds, Plants, Nature, Agriculture, etc.)

2-4. On-Site Information (LAK 10 million)

- Interpretation boards (Forest, history, medical plants, nature, etc.)
- Signs forest trekking, etc.

3. Hotay Pidok Tourism Development (Total: LAK 3,050 million)

3-1. Village Road Improvement (LAK 3,000 million)

- Environmentally friendly pavement (Total length: 2 km)
- Installation of drainage

3-2. Training of Working Staff and Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, History, Culture, Local Products, etc.)
- Food Service (Hygiene, Menu, Hospitality, etc.)
- Hospitality for Souvenir Shop

4. Taleo Old Village Tourism Development (Total: LAK1,750 million)

4-1. Taleo Old Temple Restoration (LAK 200 million)

- Emergency protection (Supporting the north building wall to prevent from collapse, Restoration of newly added elements to the original ones, etc.)
- Restoration of surrounding walls

4-2. Village Road Improvement (LAK 1,200 million)

- Culturally friendly pavement of access road to the Old Temple from both the main roads (Total length 800 m)

4-3. Visitor Center (LAK 300 million)

- Wooden Building (approximately 80 square meters)
- Tourist Information
- Local Guides
- Clean WC

4-4. Training of Working Staff and Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, History, Culture, Local Products, etc.)
- Food Service (Hygiene, Menu, Hospitality, etc.)
- Hospitality for Souvenir Shop

5. Turtle Lake Tourism Development (Total: LAK 3,050 million)

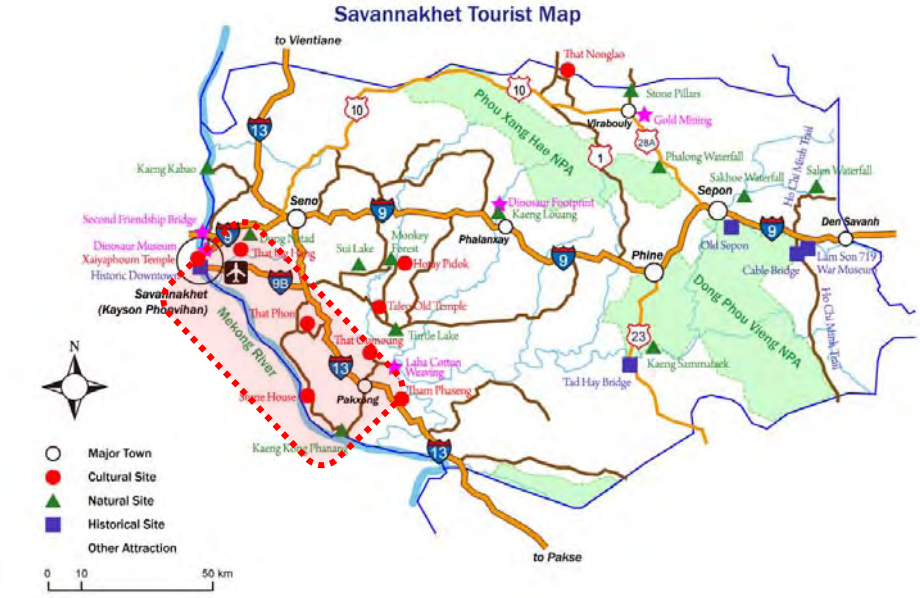
5-1. Village Road Improvement (LAK 3,000 million)

- Environmentally friendly pavement (Total length: 2 km)
- Installation of drainage

5-2. Training of Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, History, nature, Culture, Local Products, etc.)
- Food Service (Hygiene, Menu, Hospitality, etc.)
- Hospitality for Souvenir Shop

B. Mekong River South Circuit



1. That Phone Tourism Development (Total: LAK 2,360 million)

1-1. Visitor Center (LAK 300 million)

- Tourist Information
- Local Guides
- Clean WC

1-2. Village Road Improvement (LAK 2,000 million)

- Environmentally friendly pavement (Total Length: 1.5 km)
- Installation of drainage

1-3. Training of Working Staff and Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, History, Local Products, Agriculture, etc.)

1-4. On-Site Information (LAK 10 million)

- Signs rice field walking, etc.

2. Stone House & Fruits Island Tourism Development (Total: LAK 4,360 million)

2-1. Village Road Improvement (LAK 4,000 million)

- Environmentally friendly pavement for Stone House Village and Fruits Island (Total Length: 2.0 km)
- Parking at the entrance of Stone House
- Installation of drainage
- Improvement of Boat Pier (Provision of steps to the boat)

2-2. Visitor Center (LAK 300 million)

- Wooden Building (approximately 80 square meters)
- Tourist Information
- Local Guides
- Clean WC

2-3. Training of Working Staff and Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, History, Local Products, Agriculture, Fishing, etc.)
- Food Service (Hygiene, Menu, Hospitality, etc.)
- Hospitality for Souvenir Shop

2-4. On-Site Information (LAK 10 million)

- Signs for boat cruising, Fruits Island walking, etc.

3. Kong Phanang Tourism Development (Total: LAK 3,060 million)

3-1. Village Road Improvement (LAK 3,000 million)

- Environmentally friendly pavement from the main road to Kong Phanang (Total Length: 2 km)
- Parking
- Improvement of path and steps to Kong Phanang (Note: in the rainy season, they are under the water)

3-2. Training of Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, History, Local Products, Agriculture, Fishing, etc.)
- Hospitality for Souvenir Shop

3-3. On-Site Information (LAK 10 million)

- Signs for Kong Phanang walking, etc.

4. Lahanam Cotton Weaving Tourism Development (Total: LAK 3,060 million)

4-1. Village Road Improvement (LAK 3,000 million)

- Environmentally friendly pavement (Total Length: 2 km)
- Parking
- Installation of drainage

4-2. Training of Villagers (LAK 50 million)

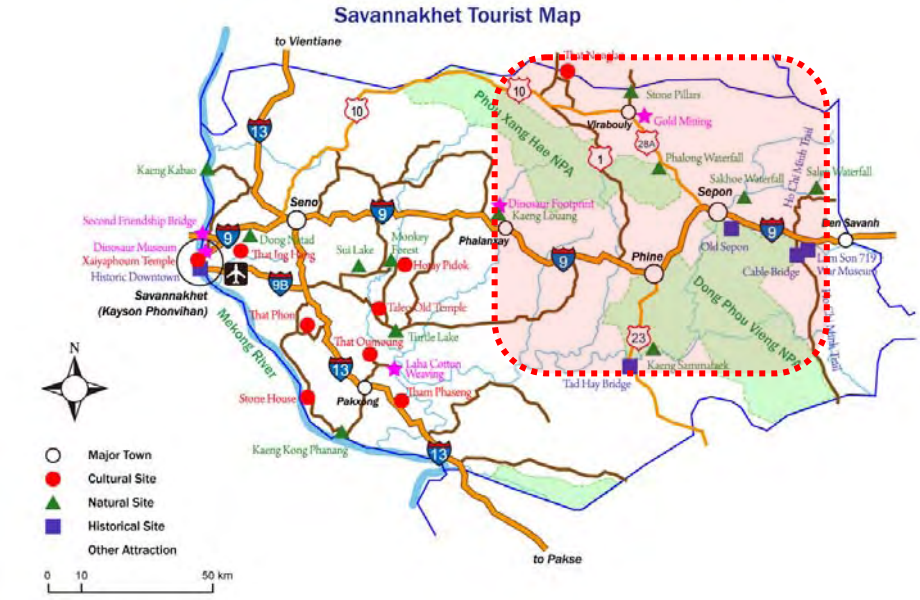
- Local Guides (English, History, Local Products, etc.)

- Hospitality for Souvenir Shop

4-3. On-Site Information (LAK 10 million)

- Signs for village walking, etc.

C. Ho Chi Minh Trail Circuit



1. Phine-Tad Hay Tourism Development (currently undertaken by STDP)
2. Virabouly Weaving Center Tourism Development (currently undertaken by STDP and Gold Mining Company)
3. Old Sepon and Ban Don Tourism Development (Total: LAK 3,060 million)

3-1. Sepon River Cruise Development (LAK 1,000 million)

- Improvement of steps to boats
- Organization of boat service group

3-2. Village Road Improvement (LAK 2,000 million)

- Environmentally friendly pavement (Total Length 1.5 km)
- Parking
- Installation of drainage

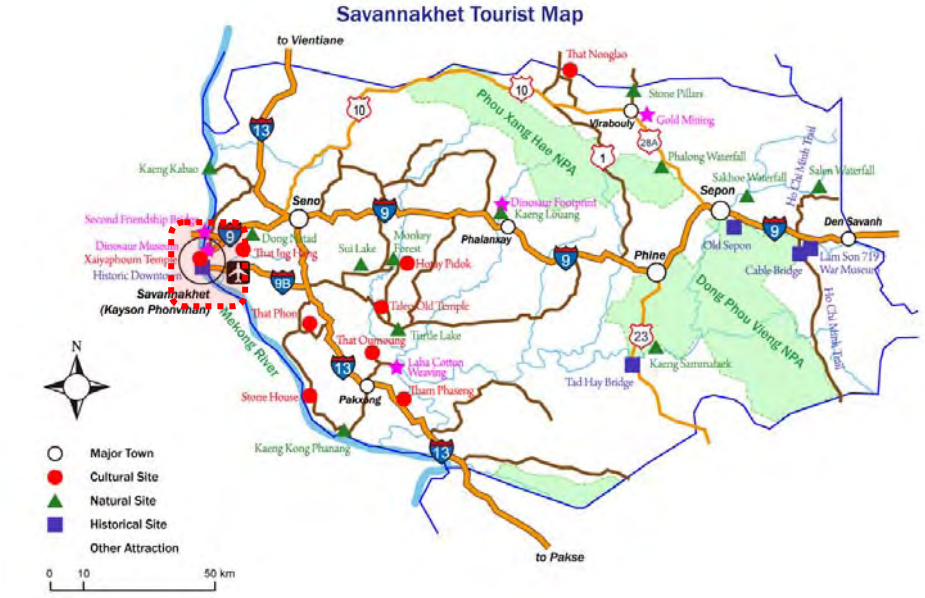
3-3. Pong Cave Trekking Development (LAK 10 million)

- Installation of signs and interpretation boards for trekking

3-4. Training of Villagers (LAK 50 million)

- Local Guides (English, History, Local Products, Agriculture, Fishing, Trekking, etc.)
- Boat Service (Safety, Hospitality, etc.)
- Food Service (Hygiene, Menu, Hospitality, etc.)
- Hospitality for Souvenir Shop

D. Historic Downtown of Savannakhet (Total: LAK 10,000 million)



1. Development of Tourist Streets (LAK 6,000 million)
    - Designation of Areas to be developed as tourist zone
    - Definition of rules and guidelines
    - Provision of incentives (tax reduction and exemption similar to SEZ)
    - Improvement of Urban Amenities (street lamps, signs, street furniture, art works, etc.)
    - Tree planting
    - Underground cabling
2. Improvement of Pedestrian Sidewalks (LAK 4,000 million)
    - Environmentally friendly pavement for wider areas than above component
    - Parking

E. Common Activities (LAK 600 million)

1. Production of Promotion Materials (LAK 500 million)
    - Posters, Brochures, etc.
    - VCD, DVD, etc.
2. Promotion Activities (LAK 100 million)
    - FAM Trips for media and tour companies in major source countries
    - Participation in Tourism Fairs in major source countries

Appendix-6 Proposed Priority Road Improvement Projects for Tourism in Savannakhet

Savannakhet Outskirts

Creation of another circular route for tourists (**)

- SO-1: That Ing Hang – Phonsim – Route No. 9B (14 km)

Champhone Circuit

Improved circular tourist route (***)

- CH-1: Nakhou – Dong Dokmai – Soui – Dong Muong (20 km)
- CH-2: Xe Champhone – Nong Lamchan – Thouat – Xiangxoum – Taleo (20 km)
- CH-3: Kengkok – Taleo (9 km)

Improved access to/from Route No.9 (**)

- CH-4: Taleo – Done Deng – Sonnabouly – Ban X (45 km)
- CH-5: Nong Lamchan – Ban X (15 km)
- CH-6: Ban X– Route No.9 (12 km)

Creation of linkage with Mekong River South Circuit (*)

- CH-7: Kengkok –Ban Y – Lao – That Oumoung (21 km)

Creation of another circular route (*)

- CH-8: Route No.13 –Nateuy Nua - Bak – Ban Y (14 km)

Mekong River South Circuit

Improved circular tourist route (***)

- MR-1: Savannakhet – Pakha – Xayphouthong (37 km)
- MR-2: Xayphouthong – Vat Sisaket – That Phone – Route No.13 (22 km)
- MR-3: Xayphouthong – Stone House (16 km)
- MR-4: Stone House – Kongphanang – Pakxon (40 km)

Improved access to/from Route No. 13 (**)

- MR-5: Route No.13 – Mouangkhai – Vat Sisaket (14 km)
- MR-6: Route No.13 – Sivilay – Stone House (14 km)

Ho Chi Minh Trail Circuit

Improved access to tourist sites (***)

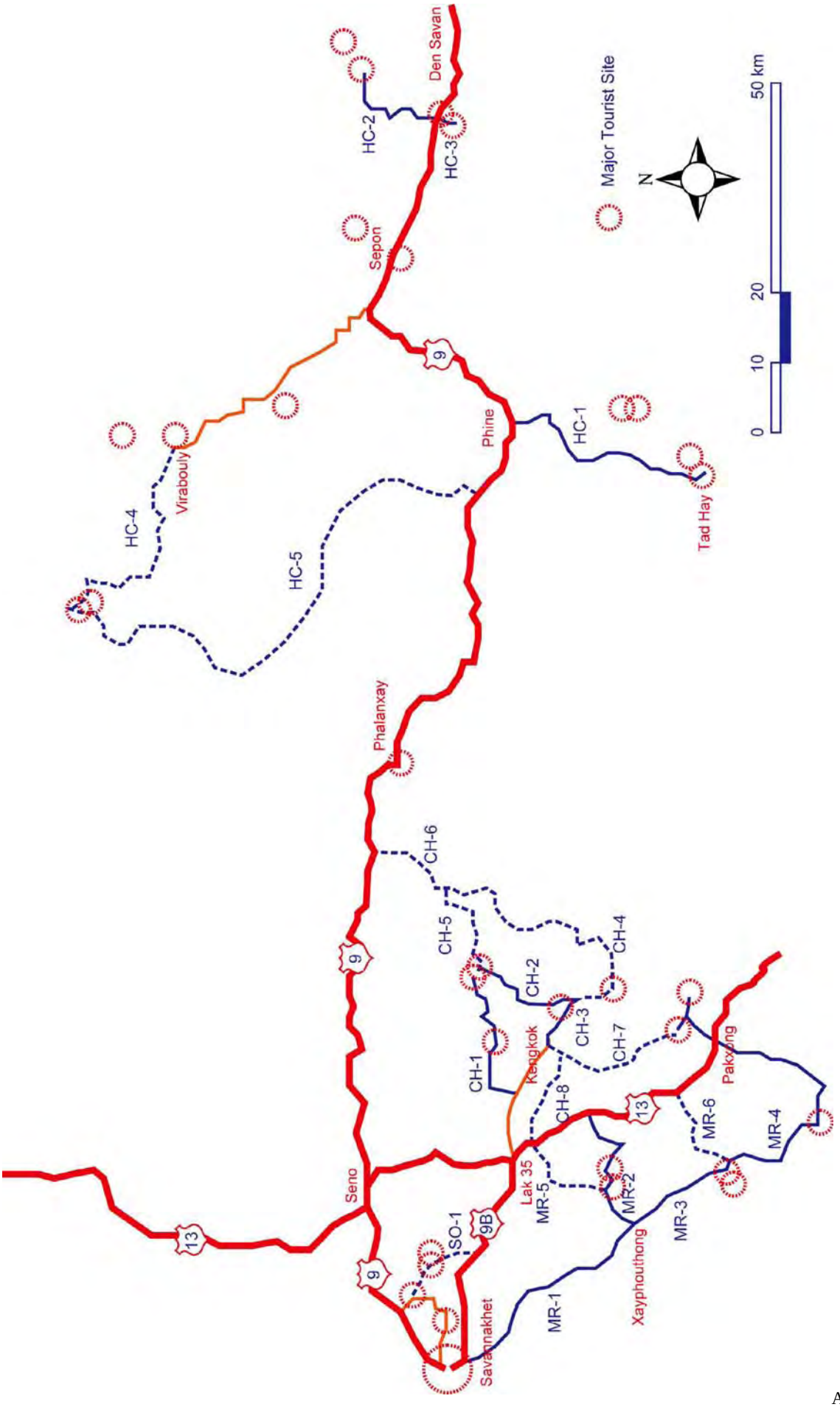
- HC-1: Rout No.9 (Phine) – Tad Hay (34 km)
- HC-2: Route No.9 (Ban Dong) – Tad Salen (22 km)
- HC-3: Route No.9 (Ban Dong) – Ban Dong Gnai (2 km)

Improved access to tourist sites (**)

- HC-4: Virabouly – That Nanglao (36 km)

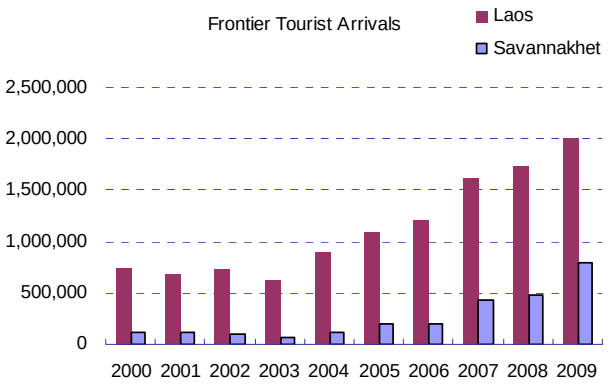
Improved circular route (*)

- HC-5: Rout No.9 (Xethamouk) – (Phou Xang Hae) – Route No.10 – That Naglao (72 km)


Major Tourist Site
N
0
10
20
50 km
Den Savan
HC-2
HC-3
Sepon
9
Phine
HC-1
Tad Hay
Viraboully
HC-4
HC-5
Phalanxay
CH-6
CH-5
CH-4
CH-2
CH-3
CH-7
CH-1
CH-8
Kengkok
Pakxong
13
MR-6
MR-4
Lak 35
MR-5
MR-2
MR-3
Seno
SO-1
9B
MR-1
Xayphouthong
Savannakhet

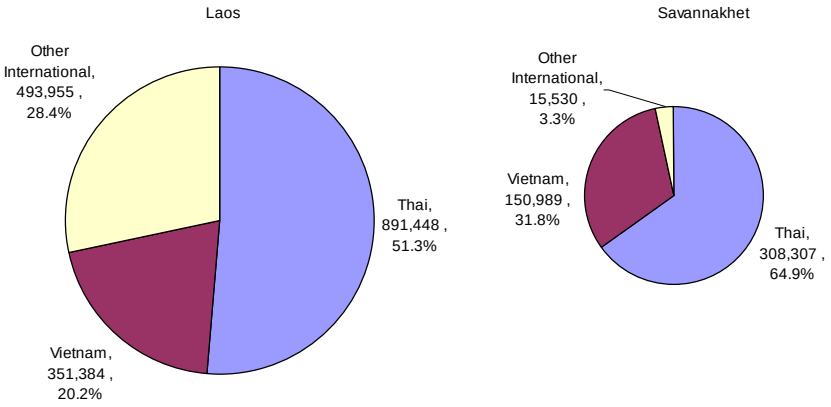
Appendix-7 Extract of Tourism Statistics 2000-2009

Figure A5.1 Tourist Arrivals in Laos and Savannakhet (2000-2009)



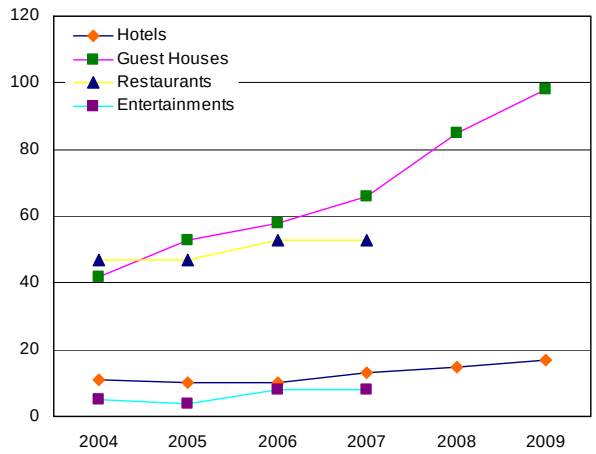
Source: LNTA, PTD Savannakhet

Figure A5.2 Percentages of Tourists by Nationality (2008)



Source: LNTA, PTD Savannakhet

Figure A5.3 Numbers of Hotels, GH, Restaurants and Entertainments in Savannakhet (2004-2009)



Source: PTD Savannakhet